EPSON

VP-880

取扱説明書

機能・操作方法など、本製品を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

BPS0029-00

取扱説明書の種類と使い方

スタートアップガイド
セットアップの方法および本製品を使用する上で必要となる主な情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。
Windows での使用方法やプリンタの仕様、コントロールコード、英数カナ文字コード、漢字コードなど詳細については、取扱説明書（PDF マニュアル）に記載されています。

取扱説明書（PDF マニュアル）
本製品を使用する上で必要となるすべての情報と困ったときの対処方法について詳しく説明しています。

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。
それぞれのマークには次のような意味があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい操作を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 *　用語の説明を記載していることを示します。

関連した内容の参照ページを示しています。

もくじ

Windows からの印刷

使用可能な用紙と給排紙

プリンタ設定値の変更

オプションと消耗品

困ったときは

付録

サービス・サポートのご案内

Windows からの印刷

Windows でのセットアップ

ここでは本製品に添付のEPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されているプリンタドライバ、EPSON プリンタウィンドウ!3（プリンタ監視ユーティリティ）のインストール手順について説明します。

- 本製品のプリンタドライバは CD-ROM で提供しています。3.5 インチのフロッピーディスクからインストールする場合は、以下のページを参照してください。
  本書 228 ページ「フロッピーディスクを作成する」
- Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバは、プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM に収録されていません。以下のページを参照してください。
  本書 225 ページ「Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバについて」

システム条件の確認

プリンタドライバの動作条件

対象 OS および空きハードディスクの最低条件は以下の通りです。

対象 OS*	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista
空きハードディスク	50MB 以上

* 各 OS の必要条件を満たしていること。

本製品を USB 接続で使用する場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- USBに対応していて、コンピュータメーカーによりUSB ポートの動作が保証されているコンピュータ
- Windows 98/Me/2000/XP/Vista がプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでに Windows 98/Me/2000/XP/Vista がインストールされているコンピュータ）またはプレインストールされていて Windows Me/2000/XP/Vista にアップグレードしたコンピュータ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作条件

EPSON プリンタウィンドウ !3 はプリンタの状態を監視して、エラーメッセージなどを表示するユーティリティです。プリンタドライバのインストール後、引き続きインストールすることができます。

対象 OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Vista
監視可能なプリンタの接続形態	パラレル /USB 接続でのローカルプリンタ Windows 共有プリンタ*

* Windows 95/98/Me 環境で共有プリンタを監視する場合、サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。

ポイント

- お使いのコンピュータが双方向通信機能をサポートしていない場合、EPSON プリンタウィンドウ！3 は使用できません。
- NECの PC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0 でのローカルプリンタの監視はできません。

プリンタソフトウェアのインストール

本製品を使用するために次のソフトウェアをインストールします。

- プリンタドライバ
- EPSON プリンタウィンドウ !3*

* プリンタの状態をコンピュータの画面上で監視したい場合にインストールします。必須ではありません。

1 プリンタの電源がオフになっていることを確認します。

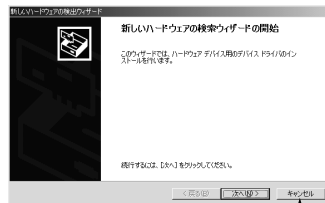
2 コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

ポイント

- Windows 起動時に次のような画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

<例 1 > Windows 98 の場合

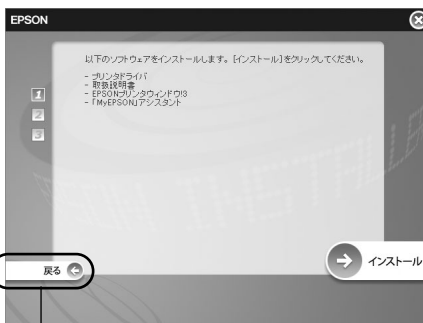
クリックします

<例 2 >Windows 2000 の場合

クリックします

- Windows NT4.0/2000/XP/Vista の場合、管理者権限（Administrators）のあるユーザーでログオンする必要があります。

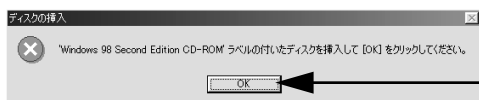
❸ **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

❹ **［おすすめインストール］をクリックします。**

❺ **インストールするソフトウェアを確認して［インストール］ボタンをクリックします。**
ソフトウェアのインストールが始まります。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールしない場合は、［選択画面］ボタンをクリックしてEPSON プリンタウィンドウ !3 のチェックを外してください。

- Windows 2000/XP/Vista をお使いの場合は、インストールの途中で［デジタル署名が見つかりませんでした］というダイアログまたは［Windows ロゴテスト］などのダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］ボタンをクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本製品に添付のプリンタソフトウェアであれば問題なくお使いいただけます。
- オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM（または FD）を要求する画面が表示された場合は、画面に従って以下の手順でインストールを進めてください。

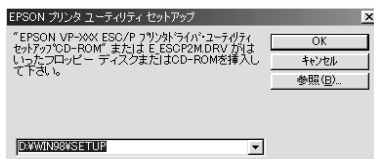
①オペレーティングシステム（OS）のセットアップディスクまたはインストールディスクの CD-ROM（または FD）をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックします。

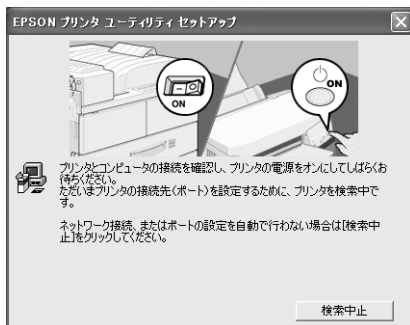
＜例＞ Windows 98 Second Edition の場合

②以下の画面が表示されたら、セットした CD-ROM（または FD）のドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

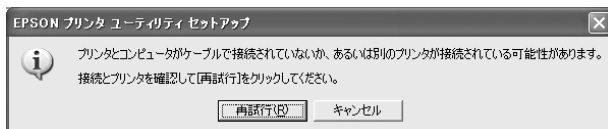
＜例＞

＜入力例＞ CD-ROM が D ドライブの場合

OS	入力例
Windows 95	D:¥WIN95
Windows 98	D:¥WIN98
Windows NT 4.0	D:¥I386

③ CD-ROM をセットした場合、オペレーティングシステムの CD-ROM を取り出し、再び「EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットして、［OK］ボタンをクリックします。

Windows 95/NT4.0 をお使いの場合は、❽ へお進みください。

❻ **以下の画面が表示されたら、プリンタの電源をオンにします。**
プリンタの接続先の設定を行います。以下の画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

ポイント

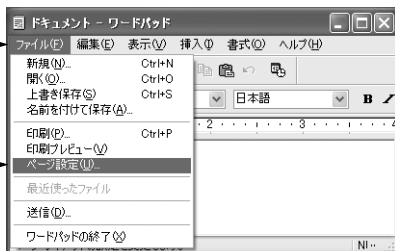
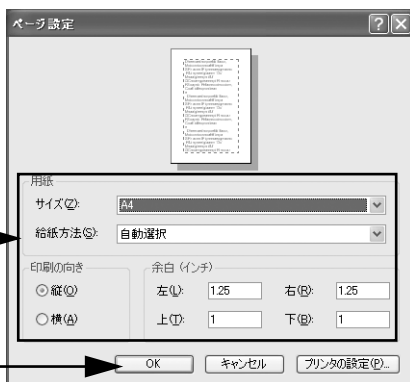
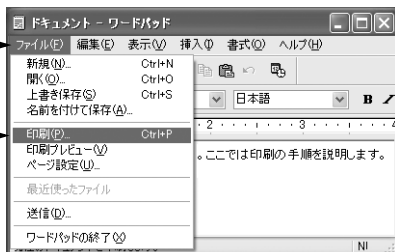
❼ の画面の表示後、約 3 分経過しても、プリンタの接続が確認できない、あるいは印刷先のポートが認識できない場合は、以下のような画面が表示されます。

次の点を確認し、[再試行] ボタンをクリックしてください。
- プリンタの電源がオンになっているか
- 推奨ケーブルが正しく接続されているか

❼ **以下のような画面が表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。**
表示される画面はご利用の環境によって異なります。
再起動を促すメッセージが表示された場合は、Windows を再起動してください。

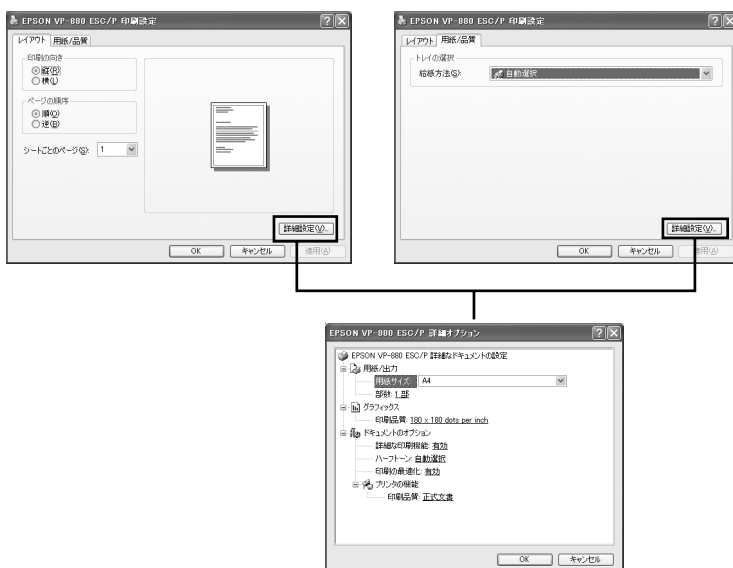
以上でプリンタソフトウェアのセットアップは終了です。
Windows での印刷についての詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 13 ページ「印刷手順」

印刷手順

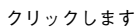
印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なりますので、ここでは基本的な印刷手順を説明します。

1 アプリケーションソフトを起動し、[ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

2 用紙サイズや余白、印刷の向きについて設定して、[OK] ボタンをクリックします。

3 データを作成したら、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

4 出力したいプリンタが選択されていることを確認し、［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックします。

5 各項目を設定して［OK］ボタンをクリックします。

本書 18 ページ「プリンタドライバの設定項目」

> **ポイント**
> ［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズと合わせます。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

印刷データがプリンタに送られ、印刷が始まります。

プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定方法

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

＜例＞ Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows 98 で［プリンタ］フォルダから開いた場合

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、この方法で設定します。プリンタドライバを開く方法は、アプリケーションソフトによって異なります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。基本的な方法は、［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させ、［プロパティ］ボタンをクリックします。

［スタート］メニューからの開き方

Windows の［スタート］メニューからプリンタドライバのプロパティを開きます。ここでの設定はアプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定しておくと便利です。ここでは、代表的な方法を説明します。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］フォルダを開きます。

- Windows Vista の場合
  ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。
- **Windows XP の場合**
  ［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
- Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合
  ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックしてから、表示されたメニューで Windows 95/98/Me の場合は［プロパティ］を、Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］または［プロパティ］を、Windows 2000/XP/Vistaの場合は［印刷設定］または［プロパティ］と表示されるダイアログで［詳細設定］ボタンをクリックします。

ポイント

- Windows NT4.0/2000/XP/Vista で［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー（PowerUsers）以上の権限が必要です。
- Windows NT4.0/2000/XP/Vista で［印刷設定］を変更するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。

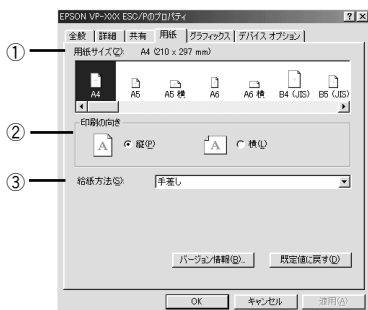
プリンタドライバの設定項目

印刷を実行する前に、給紙方法、用紙サイズなどプリンタ固有の機能をプリンタドライバで設定します。

用紙サイズ、給紙方法の設定

用紙サイズや給紙方法の設定は、以下の画面で行います。

Windows 95/98/Me

［用紙］ダイアログ

Windows NT4.0

［ページ設定］ダイアログ

Windows 2000/XP/Vista

［レイアウト］ダイアログ

［用紙 / 品質］ダイアログ

クリックして表示します

［詳細オプション］ダイアログ

EPSON VP-880 ESC/P 詳細オプション

EPSON VP-880 ESC/P 詳細なドキュメントの設定

用紙/出力

① 用紙サイズ: A4

⑥ 部数: 1 部

グラフィックス

印刷品質: 180 x 180 dots per inch

ドキュメントのオプション

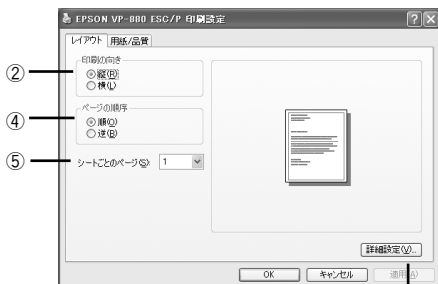
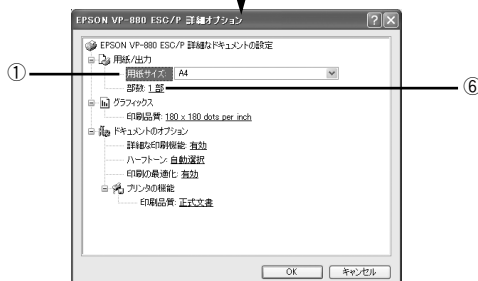
詳細な印刷機能: 有効

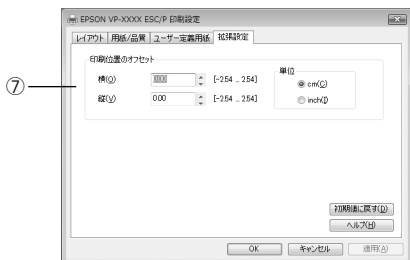
ハーフトーン: 自動選択

印刷の最適化: 有効

プリンタの機能

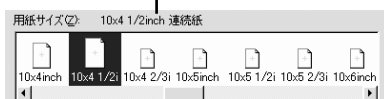
印刷品質: 正式文書

OK キャンセル

Windows Vista

［拡張設定］ダイアログ

① 用紙サイズ

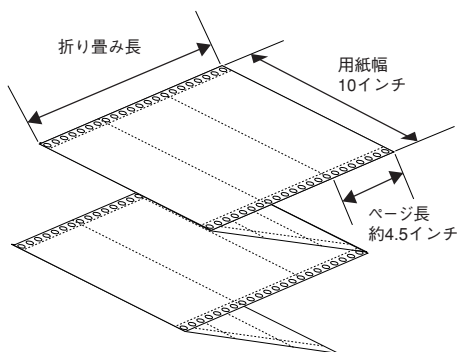
アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。作成した文書のサイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは、必ず一致させてください*。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷されることがあります。

* 連続紙の場合は、縦方向の長さを一致させてください（横方向の幅は一致していなくても問題ありません）。横方向の幅は、アプリケーションソフトのマージン設定や印字フォーム設定で、実際の用紙の印字幅を超えないように定義してください。

用紙サイズの詳細を表しています

用紙サイズ一覧にないサイズは、ユーザー定義サイズとして登録することができます。

本書 26 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」

ポイント

- 「10 × 4 1/2inch 連続紙」（Windows 95/98/Me）/「連続紙 10 × 4 1/2inch」（Windows NT4.0/2000/XP/Vista）とは、以下の状態のことを示します。

- 上記の選択肢は「ページ長が約 4.5 インチ」であることを示しますので、用紙の折り畳み長や、折り畳み枚数の単位が異なっても設定できます。
- 「10 × 4 1/2inch 連続紙」などの帯分数は、「4 ＋ 1/2 インチ」のページ長であることを示します。
- 4 インチ未満で折り畳まれた連続紙を使用すると紙送り精度に影響します。連続紙のページ長が 4 インチ未満の場合は、複数ページごとに折り畳まれ、折り畳み長が 4 インチ以上の連続紙を使用してください。

② 印刷の向き

印刷する方向を縦 / 横のどちらかをクリックして選択します。
使用するアプリケーションソフトによっては、アプリケーションソフトの設定が優先されます。

③ 給紙方法

給紙方法一覧から、用紙の給紙方法（装置）を選択します。

手差し	単票紙をプリンタの用紙ガイドから手差し給紙する場合に選択します。
プッシュトラクタ	プッシュトラクタを使用して連続紙を給紙する場合に選択します。
カットシートフィーダ 1 カットシートフィーダ 2	単票紙をオプションのカットシートフィーダビン 1 またはカットシートフィーダビン 2 から給紙する場合に選択します。
自動選択 （Windows NT4.0/2000/XP/Vista のみ）	［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダでのプリンタドライバ（［印刷設定］-［用紙 / 品質］-［給紙方法］）で設定されている給紙方法に従います。

- カットシートフィーダから給紙する場合は、給紙方法を必ずカットシートフィーダ 1 または 2 に指定してください。［自動選択］では、手差し給紙が優先されます。
- Windows NT4.0/2000/XP/Vista の［給紙方法］で［自動選択］を選択している場合、プッシュトラクタから連続紙を給紙するときは、［デバイスの設定］ダイアログの［プッシュトラクタ］で使用する用紙サイズを指定してください。［デバイスの設定］ダイアログは、［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本製品のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックすると表示されます。

④ ページの順序（Windows 2000/XP/Vista のみ）

印刷するページの順序を選択します。

順	最初のページから順番に印刷します。
逆	最後のページから順番に印刷します。

⑤ シートごとのページ（Windows 2000/XP のみ）

1 枚の用紙に何ページ分を印刷するかを指定します。たとえば、1 を指定すると 1 枚の用紙に 1 ページが印刷され、2 を指定すると 1 枚の用紙に 2 ページ分が並べて印刷されます。
Windows Vista では［境界線を引く］をチェックすると、ページとページの間に境界線を印刷できます。

⑥ 部数（Windows 2000/XP/Vista のみ）

印刷する部数を指定します。2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。部単位で印刷しない場合は、ページごとに部数分ずつ印刷します。

⑦ 印刷位置のオフセット（Windows Vista のみ）

印刷開始位置を設定します。

横	横方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は左方向、プラス値は右方向にオフセットします。 設定可能範囲は-2.54cm（-1.00inch）から2.54cm（1.00inch）です。
縦	縦方向の印刷開始位置を指定します。マイナス値は上方向、プラス値は下方向にオフセットします。 設定可能範囲は-2.54cm（-1.00inch）から2.54cm（1.00inch）です。
単位	上記の入力値の単位をcm またはinchのどちらかに選択できます。

入力値をプリンタドライバをインストールした直後の状態に戻すときは［初期値に戻す］をクリックします。

グラフィックス、印刷品質の設定

グラフィックイメージの印刷に関する設定は、以下の画面で行います。

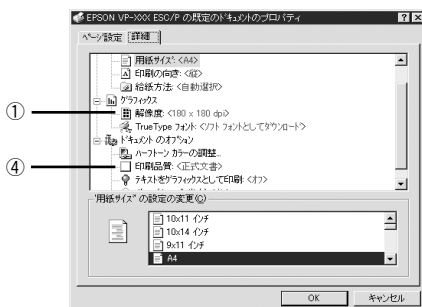
Windows 95/98/Me

［グラフィックス］ダイアログ

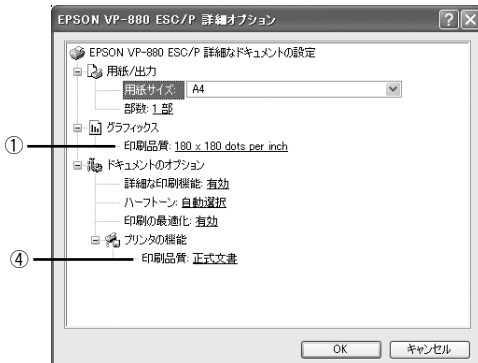
［デバイスオプション］ダイアログ

Windows NT4.0

［ページ設定］ダイアログ

［詳細］ダイアログ

Windows 2000/XP/Vista

［用紙 / 品質］ダイアログ

［詳細オプション］ダイアログ

① 解像度または印刷品質

グラフィックイメージの出力解像度（細かさ）を選択します。
解像度は、水平解像度×垂直解像度で示しています。解像度は dpi* で表し、数字が大きくなるほど解像度は高くなります。
一般に解像度が高い方が高品質のグラフィックを印刷できますが、印刷時間は長くなります。

*　dpi（Dots Per Inch）：1 インチ当たりのドット数

② ディザリング（Windows 95/98/Me のみ）

グラフィックイメージの細かさを設定します。ディザリング処理をすることで、グレースケールや中間色を疑似的に表現できます。
ここでの設定は、白黒印刷の場合のみ有効です。

なし	ディザリング処理をしません。グレースケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。
粗く	粗いディザパターンイメージを用いて処理します。粗くして印刷した紙をコピーすると、中間色がつぶれて真っ黒になってしまいますので、コピーを取る場合はディザリングは [粗く] にしないことをお勧めします。
細かく	細かいディザパターンイメージを用いて処理します。
ラインアート	黒、白、グレー階調の間にくっきりとした境目があるグラフィックスを印刷するときに適しています。
誤差拡散法	写真のような無段階に階調（ 色調 ）が変化する画像に適した処理です。細かい微妙な部分まで表現できるようになります。

③ 濃度（Windows 95/98/Me のみ）

グラフィックスの明暗を増減するときに使用します。印刷を薄くするときは［明］の方向へ、印刷を濃くするときは［暗］の方向へスライドバーのつまみをドラックするか、つまみの左右をクリックします。

④ 印刷品質

［正式文書］または［ドラフト］のどちらかを選択します。
［ドラフト］よりも［正式文書］の方が表現力のある高品質な印刷結果になりますが、印刷時間は長くなります。
ドラフト（高速印字）で印刷する場合は、操作パネルの［高速印字］スイッチを押して（高速印字ランプ点灯）から印刷してください。

インストール可能なオプション（Windows Vista のみ）

この画面は、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］のプリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］（または［管理者として実行］-［プロパティ］）を選択して表示させせます。

本書 16 ページ「［スタート］メニューからの開き方」

Windows Vista

［デバイスの設定］ダイアログ

① インストール可能なオプション

すべての印刷に共通な各種設定ができます。

印字開始位置の設定	ドライバ優先	それぞれの用紙ごとにプリンタドライバで設定されている位置から印刷します。 プリンタの操作パネルから設定した印字開始位置は無効になります。 通常はこの設定で使用します。
	プリンタ優先	プリンタの操作パネルで設定した位置から印刷します。プリンタドライバで設定 されている印字開始位置は無効になります。 プリンタの設定値で印刷したいときに選択します。
印字領域指定	標準	EPSON インパクトプリンタの一般的な印字領域にて印刷します。 通常はこの設定で使用します。
	最大	プリンタで印刷できる最大の印字領域に印刷します。用紙の種類によっては［標準］と変わらないことがあります。
パケット通信設定	自動	プリンタのパケット通信設定が［自動］のときに選択します。
	オフ	プリンタのパケット通信設定が［オフ］のときに選択します。

［パケット通信設定］は、通常、変更する必要はありません。プリンタのパケット通信設定を変更したときのみ、その設定と合わせてください。設定が異なると、正常に印刷されないことがあります。

用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として登録することができます。

使用頻度の高い用紙サイズはあらかじめ［連続紙 10 × xx インチ］のように定義されています（1 インチは 2.54cm で、トラクタの穴 2 つ分の長さに該当します）。ユーザー定義サイズとして用紙登録する前に、適合する用紙サイズがないことをご確認ください。
連続紙の場合は、縦方向の長さが一致していれば、横方向の幅は一致していなくてもかまいません（横方向の幅は、アプリケーションソフトのマージン設定や印字フォーム設定で、実際の用紙の印字幅を超えないように定義します）。

Windows Vista の場合

1 プリンタドライバの［ユーザー定義用紙］画面で用紙情報を入力します。

用紙名	登録したい用紙の名称を入力します。31 文字まで入力できます。 プリンタドライバにあらかじめ登録されている用紙名やすでにユーザー定義用紙として登録済みの用紙名は登録できません。
単位	［用紙サイズ］、［余白］の値の単位を選択します。
用紙サイズ	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の大きさが表示されます。新しく登録したい用紙の大きさを設定します。 入力できる範囲は 2.54cm（1.00inch）から、本機で印刷できる最大用紙サイズまでです。
余白	［用紙］の表示欄で選択されている用紙の余白が表示されます。新しく登録したい用紙の余白を設定します。 ［右余白］と［左余白］の合計が用紙の幅未満になるように設定します。 ［上余白］と［下余白］の合計が用紙の高さ未満になるように設定します。

2 ［用紙の保存］をクリックします。

任意の用紙サイズが登録され、［用紙］欄に追加されます。以降は、「用紙サイズ」リストから選択できるようになります。

3 ［OK］をクリックします。

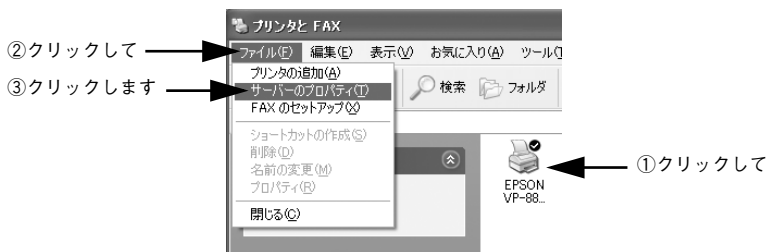
任意の用紙サイズが登録され、［用紙］欄に追加されます。以降は、「用紙サイズ」リストから選択できるようになります。

Windows 95/98/Me の場合

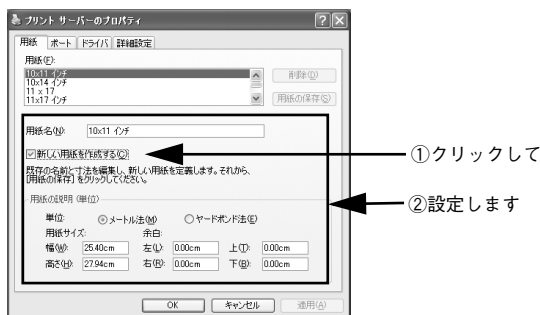
1. **プリンタドライバの［用紙］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

2. **登録したい用紙の［幅］と［長さ］を入力してから、［OK］ボタンをクリックします。**
数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。

Windows NT4.0/2000/XP の場合

1. ［プリンタ］（または［プリンタとFAX］）フォルダ内の本製品のアイコンをクリックしてから [ファイル] メニューの [サーバーのプロパティ] を選択します。

2. ［新しい用紙を作成する］チェックボックスをチェックしてから、以下の項目を設定します。

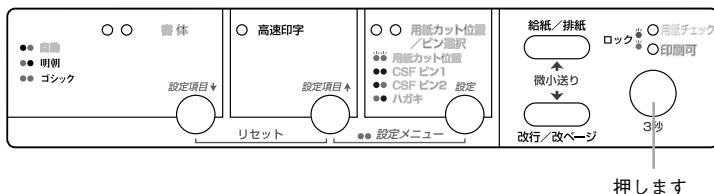
用紙の説明：テキストボックスに登録する用紙の名称を入力します。ここで入力した名称がユーザー定義の用紙サイズの名称になり、プリンタドライバの［用紙サイズ］一覧に表示されます。

寸法：　単位と用紙サイズを設定します。

3. 入力が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。

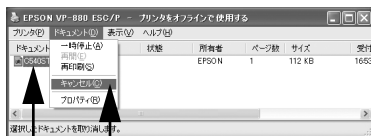
windows Vista でもこの方法でユーザー定義用紙サイズを登録できます。

印刷の中止方法

プリンタ側からの中止方法

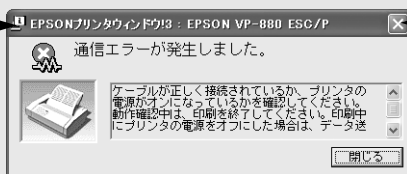
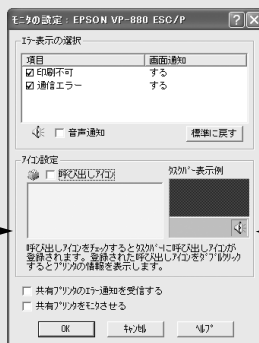
1 **プリンタの［印刷可］スイッチを押します。**
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

2 **プリンタの電源を入れ直します。**
または［書体］スイッチと［高速印字］スイッチを同時に押して、プリンタバッファをクリアしてください。

コンピュータ側からの中止方法

1 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**
削除する印刷データをクリックして［ドキュメント］メニューの［キャンセル］または［印刷中止］をクリックします。

2 **プリンタの電源を入れ直します。**
または［書体］スイッチと［高速印字］スイッチを同時に押して、プリンタバッファをクリアしてください。

EPSON プリンタウィンドウ !3

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

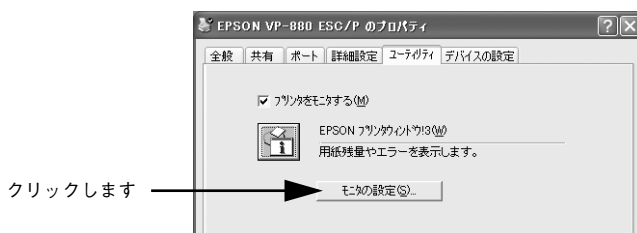
EPSON プリンタウィンドウ !3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をお使いいただく前に

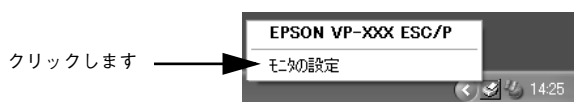
Windows 95/98/Me で共有プリンタを監視する場合は、サーバ側とクライアント側において、コントロールパネルのネットワークおよび現在のネットワーク構成に、IPX/SPX 互換プロトコルあるいは TCP/IP プロトコルが設定されている必要があります。

モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタさせるかなどを設定します。
［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本製品のアイコンを右クリックしてプリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］タブの［モニタの設定］ボタンをクリックします。

［方法 2］

［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、タスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、右クリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

① エラー表示の選択

選択項目にあるエラーまたはワーニングを通知するかを選択します。通知が必要な項目にチェックを付けます。チェックマークを付けたエラーまたはワーニングが発生したときにポップアップウィンドウでお知らせします。

② 音声通知

エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ ［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻します。

④ アイコン設定

［呼び出しアイコン］にチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると［モニタの設定］ダイアログおよび［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。

⑤ 共有プリンタのエラー通知を受信する

ネットワーク上のほかのコンピュータにローカル接続された共有プリンタを利用している場合に、エラーを通知するかどうか選択できます。

⑥ 共有プリンタをモニタさせる

ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

本書 36 ページ「プリンタを共有するには」

Windows Vista で［共有プリンタをモニタせさる］の設定を変更するときは、以下の手順で［モニタの設定］画面を開き、変更してください。

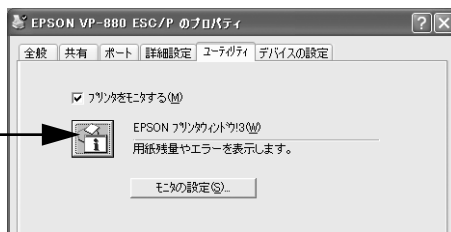
1. **［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。**
2. **［プリンタ］で本機のアイコンを右クリックし、［管理者として実行］-［プロパティ］の順にクリックします。**
3. **プログラムの実行を許可する確認画面で［続行］をクリックします。**
4. **［ユーティリティ］タブをクリックし、［モニタの設定］をクリックします。**

1 台のコンピュータに複数ユーザーが同時にログオンしている環境で、プリンタの監視が同時に行われたとき、通信エラーメッセージが表示されることがあります。

プリンタの状態を確認するには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確認するために、次のいずれかの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開きます。

［方法 1］

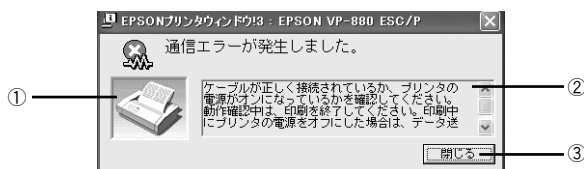
［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本製品のアイコンを右クリックしてプリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］タブの［EPSON プリンタウィンドウ !3］アイコンをクリックします。

［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダからプロパティダイアログを開いてください。アプリケーションソフトのメニューからでは、EPSON プリンタウィンドウ !3 は起動できません。

［方法 2］

タスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、右クリックして、メニューからお使いのプリンタ名をクリックします。

初期設定では、呼び出しアイコンは設定されていません。以下のページを参照して呼び出しアイコンを設定してください。
本書 31 ページ「モニタの設定」

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの状態を表示します。

① プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況と解決策をメッセージでお知らせします。

③ ［閉じる］

ウィンドウを閉じます。

共有プリンタを監視できない場合は

以下の設定がされているかを確認してください。

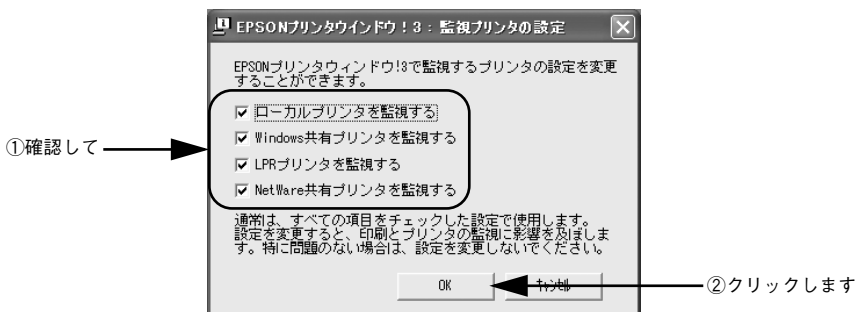
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタが共有設定されていて、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］がチェックされていること。

Windows 95 でお使いの場合、環境によってはプリンタの監視に失敗する場合があります。その場合は、エプソン販売のホームページの「サポート」内のFAQ をご覧ください。エプソン販売のホームページアドレスはスタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみお使いください。
Windows XP Professional x64/Vista x64 に、この機能はありません。

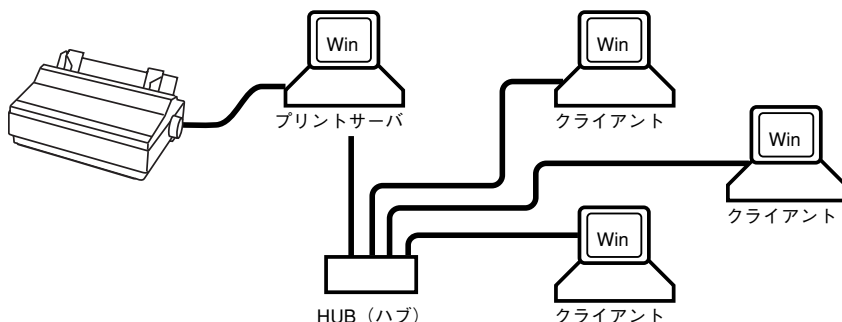
1. **監視プリンタの設定ユーティリティを起動します。**
Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］または［すべてのプログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2. **監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外し、［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。**

以上で設定は終了です。

3. **機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。**
この後は画面の指示に従ってください。

プリンタを共有するには

Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。特別なネットワークインターフェイスカードやプリントサーバ機器を使用しないで、Windows の標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。

プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いの Windows に応じた設定手順に従ってください。

本書 37 ページ「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
本書 40 ページ「プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP/Vista）」

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。

本書 42 ページ「クライアントの設定」

ポイント

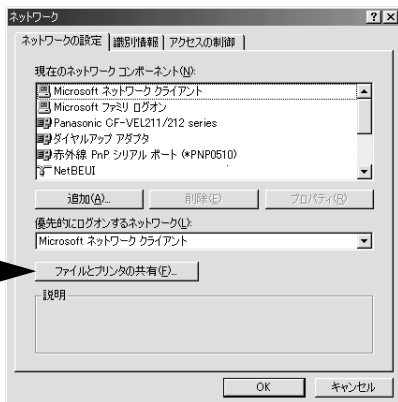
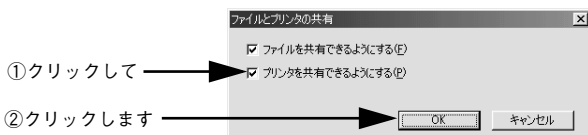
- プリンタ共有の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントとなるコンピュータが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 画面は Microsoft ネットワークの場合です。
- 共有プリンタに印刷を実行して通信エラーが発生する場合は、[ユーティリティ] ダイアログで [プリンタをモニタする] のチェックマークを外します。この場合、EPSON プリンタウィンドウ！3 は使用できません。

プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）

Windows 95/98/Me でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. ［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

3. ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- OS のセットアップディスクまたはインストールディスクの［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me の CD-ROM（または FD）をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 **お使いの機種のアイコンをクリックして、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。**

8 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK］ボタンをクリックします。**
必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。

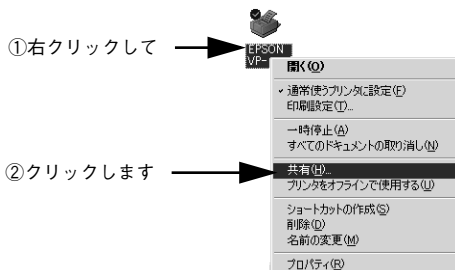
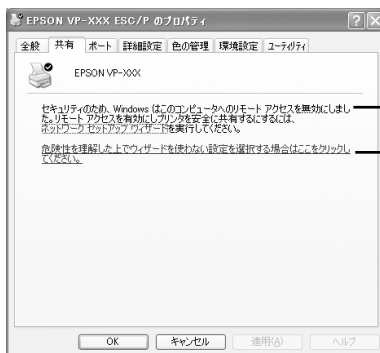
エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や−（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。次に、各クライアント側で設定してください。
本書 42 ページ「クライアントの設定」

プリントサーバの設定（Windows NT4.0/2000/XP/Vista）

Windows NT4.0/2000/XP/Vista のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1. **Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。**
   - **Windows Vista の場合**
     ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。
   - **Windows XP の場合**
     ［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。
   - **Windows 2000/NT4.0 の場合**
     ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

2. **本機のアイコンを右クリックして、［共有］をクリックします。**

3 ［共有する］/［このプリンタを共有する］を選択して、［共有名］を入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

- Windows Vista では、管理者権限のあるユーザでログインし、プリンタ共有を設定してください。
- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。
- ［代替ドライバ］/［ほかのバージョンのWindows のドライバ］は選択しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。次に、各クライアント側で設定してください。

本書 42 ページ「クライアントの設定」

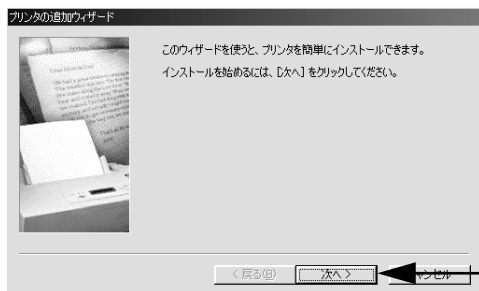
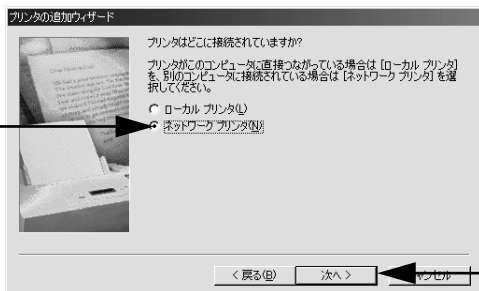
クライアントの設定

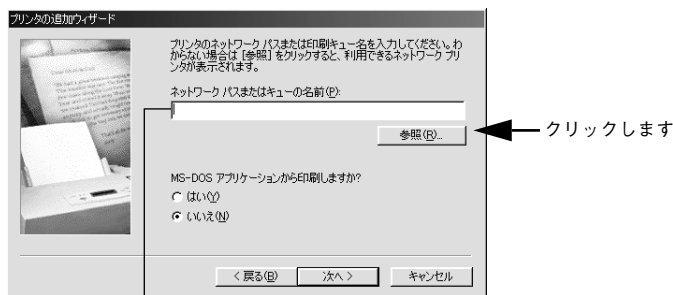
Windows NT4.0/ 2000/XP の場合、管理者権限のあるユーザー（Administrators）でログオンする必要があります。

Windows 95/98/Me クライアントでの設定

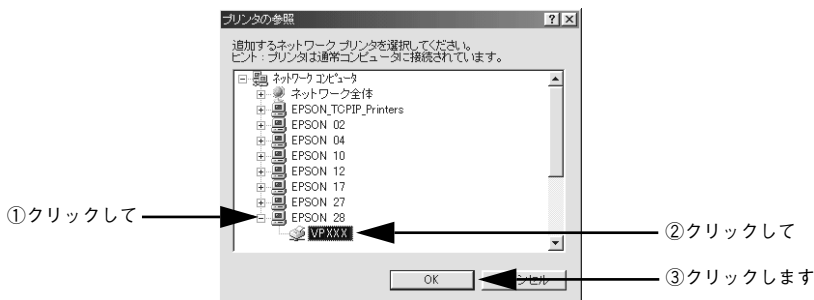
Windows 95/98/Me が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

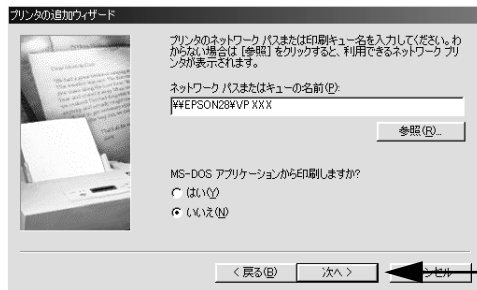
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3. ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 **［参照］ボタンをクリックします。**

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

5 **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［＋］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。**

<例>

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

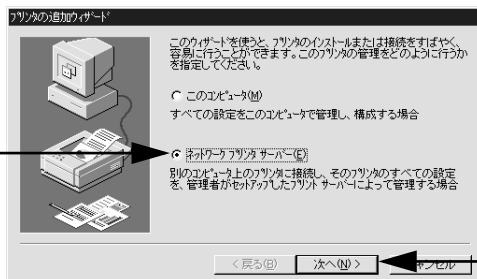
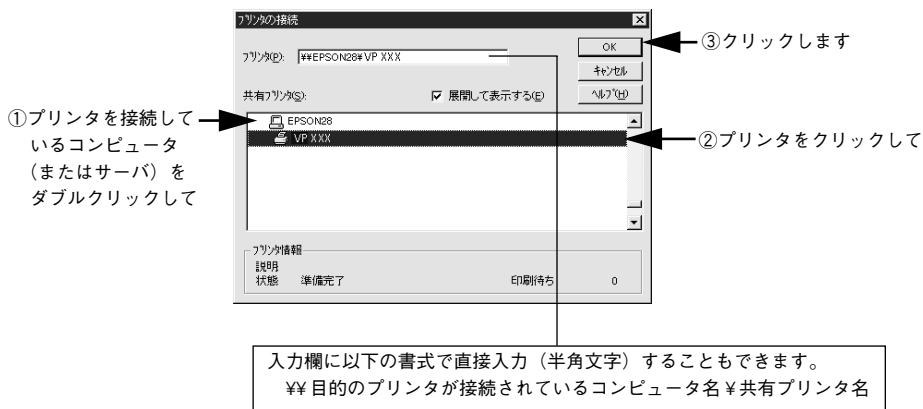
この後は、50 ページの 5 に進みます。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

3 ［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

この後は、50 ページの 5 に進みます。

Windows 2000/XP クライアントでの設定

Windows 2000/XP が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

❶ Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。

- **Windows 2000 の場合**

  ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

- **Windows XP の場合**

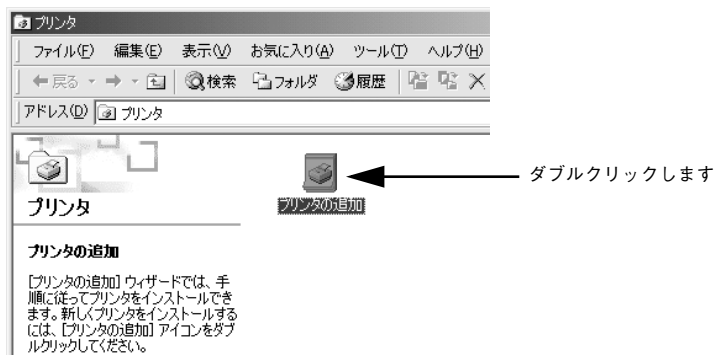
  ［スタート］-［プリンタと FAX］の順にクリックします。

ポイント

Windows XP の場合は［プリンタとその他のハードウェア］画面で［プリンタを追加する］をクリックしてプリンタの追加ウィザードを起動することもできます。起動後最初に表示された［プリンタの追加ウィザードの開始］画面で［次へ］をクリックして、❸ へ進んでください。

2 **プリンタの追加ウィザードを起動します。**

- **Windows 2000の場合**

① [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

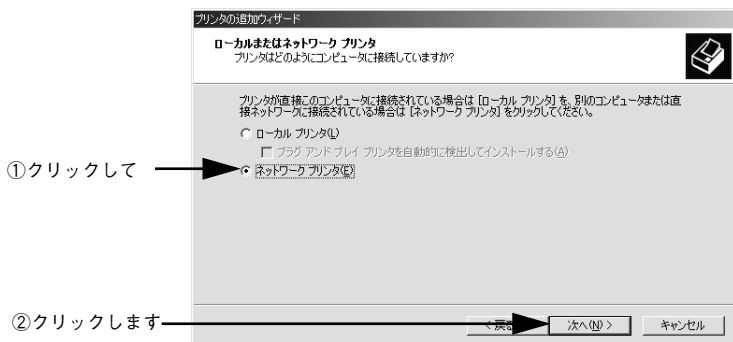
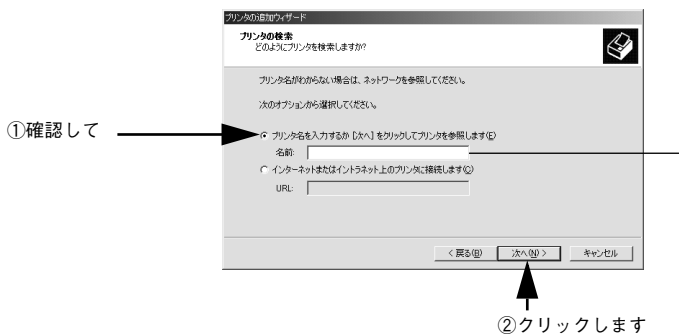
- **Windows XP の場合**

① [プリンタのタスク] の [プリンタのインストール] をクリックします。

② [プリンタの追加ウィザードの開始] 画面で [次へ] ボタンをクリックします。

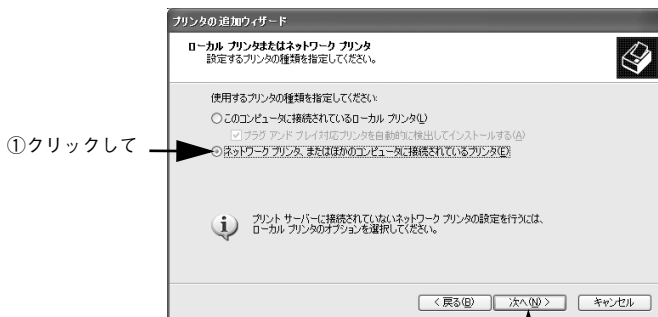
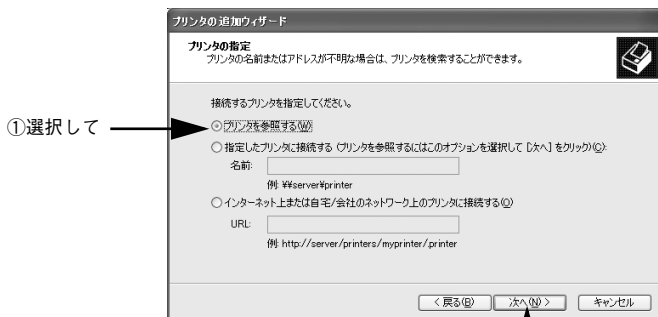
3 使用する共有プリンタを探します。

- Windows 2000の場合

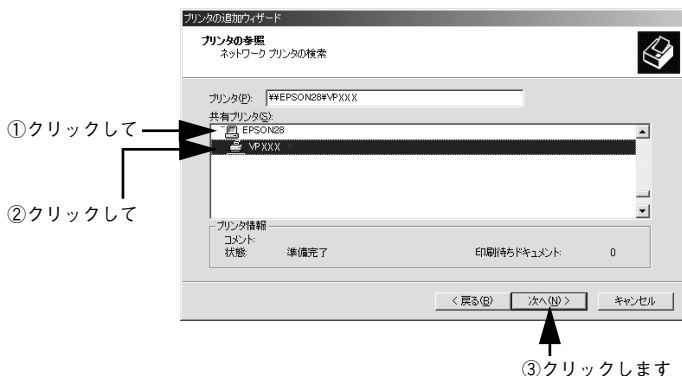
①［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

②［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］が選択されていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックします。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

- **Windows XP の場合**

① ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

② ［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

ネットワーク上のプリンタの場所がわかっている場合は、［指定したプリンタに接続する］をクリックして［名前］ボックスに直接入力できますが、ここではわからないことを前提に説明を進めます。

4 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

<例> Windows 2000

ポイント

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- すでにプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、画面の指示に従って選択してください。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

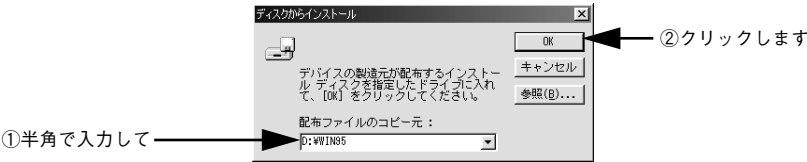
ポイント

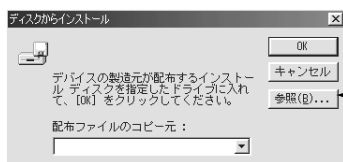
プリンタを直接接続しているコンピュータにプリンタドライバがインストールされていて、そのコンピュータとお使いのコンピュータの OS が同じ場合、プリンタドライバは自動的にインストールされ、上の画面は表示されません。また、以降の手順も必要ありません。

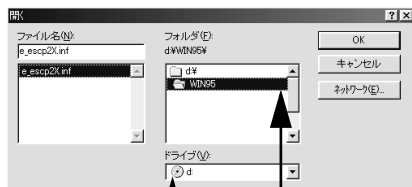
6 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMからプリンタドライバをインストールします。

7 EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

8 プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。

	Windows 95	Windows 98	Windows Me	Windows NT4.0	Windows 2000/XP	Windows Vista	Windows XP x64 Edition/Vista x64 Edition
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ						
入力例	D:¥WIN95 E:¥WIN95	D:¥WIN98 E:¥WIN98	D:¥WINME E:¥WINME	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000	D:¥WINVISTA E:¥WINVISTA	D:¥WINVISTA_XP64 E:¥WINVISTA_XP64

入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。

②［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

<例>

Windows 2000/XP/Vista をお使いの場合は、インストールの途中で［デジタル署名が見つかりませんでした］などのダイアログまたは［Windows ロゴ テスト］のダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］または［続行］ボタンをクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本製品に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

9 お使いのプリンタ名をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

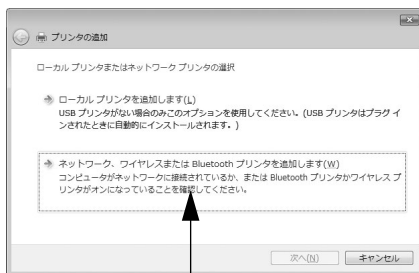
10 この後は、画面の指示に従って設定してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 をインストールする手順は以下のページを参照してください。
本書 36 ページ「EPSON プリンタウィンドウ !3 のみのインストール手順」

Windows Vista クライアントでの設定

1. ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックして［プリンタ］を開きます。

2. ［プリンタのインストール］をクリックします。

3. ［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］をクリックします。

4. 共有プリンタが自動的に接続されます。共有プリンタのアイコンをクリックし、［次へ］をクリックします。

共有プリンタが検索されないときは、[探しているプリンタはこの一覧にありません］をクリックします。以下の画面が表示されますので、手動で指定してください。

5 共有プリンタ名を確認し、[次へ］をクリックします。

6 ［完了］をクリックします。

以上で終了です。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。パラレル接続の場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能を確認してください。

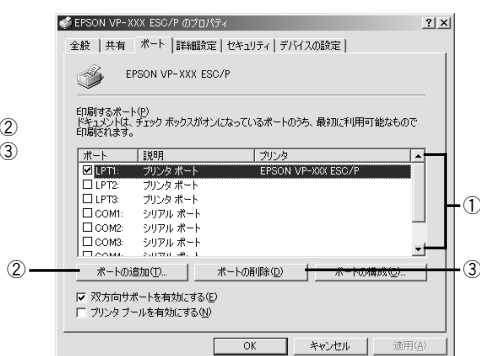
1. Windows の［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。
   - **Windows Vistaの場合**
     ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］の順にクリックします。
   - **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**
     ［スタート］-［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。
   - **Windows XP の場合**
     ［スタート］-［プリンタとFAX］の順にクリックします。

2. 本機のプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして設定を変更します。

変更後［OK］ボタンをクリックすると設定は終了です。

< Windows 95/98/Me >

<Windows NT4.0/2000/XP >

ここで説明する以外の項目については、通常設定変更の必要はありません。

① 印刷先のポート

プリンタを接続したポート (インターフェイス) を選択します。表示されるポートの種類は、ご利用のコンピュータによって異なります。パラレルインターフェイスケーブルをコンピュータのポートに接続した場合は、LPT1 の設定でご使用ください。

PRN	EPSON PC シリーズ /NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
LPT	通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の LPT1 を選択します。
COM	シリアルポートに接続している場合に選択します。このポートに接続する場合は、シリアルポートの通信設定とプリンタの通信設定を合わせる必要があります。
EPT	EPSON プリンタでは使用しません。
EPUSBx	USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
USBx	USB ポートです。Windows 2000/XP/Vista をご利用で USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
FILE	印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。
¥¥サーバ名など¥プリンタ名など	ネットワーク上のパスを指定したポートです。パスによって指定されたネットワークプリンタに出力します。

② ［ポートの追加］

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

③ ［ポートの削除］

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

プリンタソフトウェアの削除

プリンタドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）する必要があります。

プリンタソフトウェアを削除するには

Windows の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ /EPSON プリンタウィンドウ !3/USB プリンタデバイスドライバ）を削除する手順を説明します。

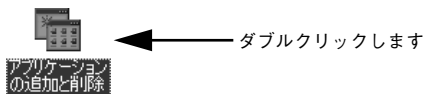
- USBプリンタデバイスドライバは、Windows 98/Me で本製品を USB接続している場合にインストールされるデバイスドライバです。
- Windows NT4.0/2000/XP/Vista上のEPSON プリンタウィンドウ !3 を、複数のユーザーで使用している環境で、EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除する場合は、すべてのユーザー環境において［呼び出しアイコン］の設定をオフ（チェックなし）にしてから削除してください。
  本書 32 ページ「［モニタの設定］ダイアログ」

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**
   - Windows 95/98/Me/NT4.0/2000
     ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックします。
   - Windows XP/Vista
     ［スタート］-［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 ［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］を開きます。

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 の場合**

［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

- **Windows XP の場合**

［プログラムの追加と削除］をクリックします。

- Windows Vista の場合

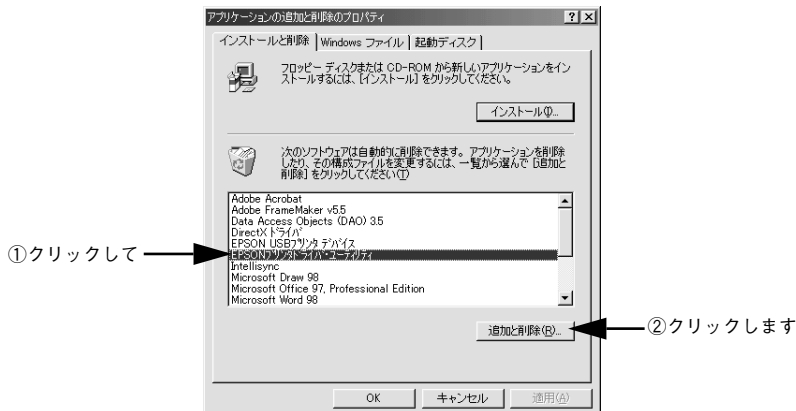
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択して削除します。**

- **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP の場合**

  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［追加と削除］/［変更 / 削除］の順にクリックします。

  ☞ 本書 60 ページ「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」

＜例＞ Windows 98の場合

- **Windows Vistaの場合**

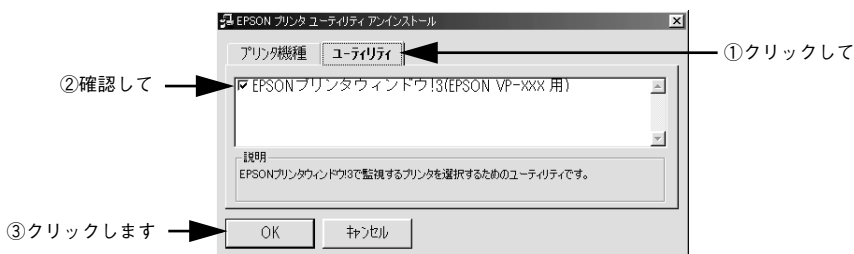
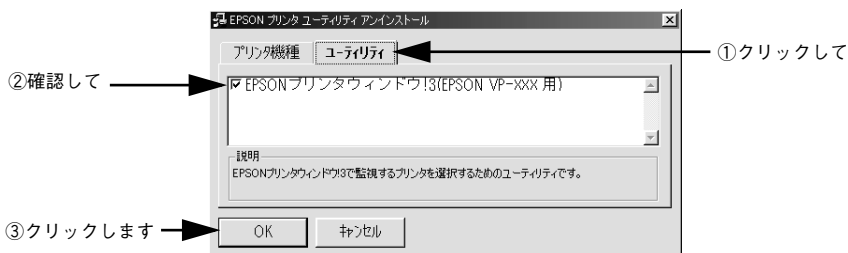
  ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］-［アンインストールと変更］の順にクリックします。

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

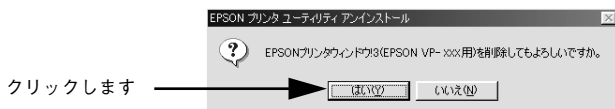
以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 60 ページ手順 4 から続けてください。

5 **［プリンタ機種］タブをクリックし、お使いの機種のアイコンを選択します。**

6 [ユーティリティ] タブをクリックし、[EPSON プリンタウィンドウ !3 (VP-880 用)] にチェックマークが付いていることを確認して [OK] ボタンをクリックします。

7 EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除確認のメッセージで、[はい]ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除が始まります。

8 プリンタドライバの削除確認のメッセージで、[はい] ボタンをクリックします。

プリンタドライバの削除が始まります。

ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを [通常使うプリンタ] として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを [通常使うプリンタ] に設定します。メッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

9 終了のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。

以上でプリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除(アンインストール)は終了です。

ポイント

プリンタソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 のみの削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。
60 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。

❻ ［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSON プリンタウィンドウ !3（VP-880 用）］にチェックマークが付いていることを確認して［OK］ボタンをクリックします。

❼ EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除確認のメッセージで、［はい］ボタンをクリックします。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除が始まります。

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

8 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

以上で EPSON プリンタウィンドウ !3（VP-880 用）の削除（アンインストール）は終了です。

プリンタソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

使用可能な用紙と給排紙

使用可能な用紙

本製品では一般的な連続紙や単票紙のほかに、複写紙やラベル、ハガキなどの用紙も使用できます。説明をよくお読みいただき正しい用紙をご使用ください。

- カットシートフィーダ（オプション）で使用できる用紙の詳細については、以下のページを併せてお読みください。
  本書 136 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- 給紙ミスや紙詰まりを防止するために以下の項目をご参照ください。
  本書 156 ページ「用紙詰まりの予防」

連続紙（連続複写紙）

- プッシュトラクタでプリンタ前面、後方から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、後方、底面から給紙します。
- 上質紙*、再生紙あるいは複写紙（ノンカーボン紙）を使用してください。
- 最大 5 枚までの複写紙（オリジナル +4 枚）を使用することができます。
- スプロケット穴は真円形のものを使用してください。
- 再生紙は一般室温環境（湿度 15 ～ 25℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。

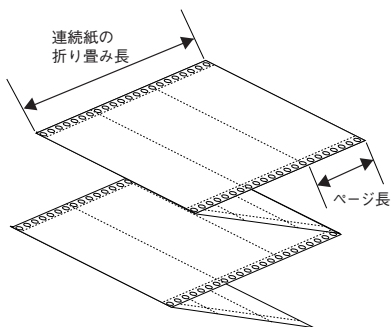
* 上質紙：上質紙や事務用普通紙（複写紙などで使用するもの）を総称して表記します。

- 用紙の表面 / 裏面ともに、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちおよびのり付けのない連続紙を使用してください。
- 印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。
- 綴じ穴は、直径 5mm 以下のものをご使用ください。
- 連続紙（連続複写紙）の切り口が乱れた用紙や切り残しのある用紙は、ミシン目にそって正しく切り直してから使用してください。

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	101.6 ～254mm {4 ～ 10 インチ}	
ページ長	101.6 ～558.8mm {4 ～ 22 インチ}	
折り畳み長	101.6 ～558.8mm {4 ～ 22 インチ}	
用紙厚	0.065 ～0.1mm	0.1 ～ 0.39mm
用紙連量*	45 ～ 70kg （坪量 52 ～ 82g/m^2）	34 ～50kg < 1 枚当たり > （坪量 40 ～ 58g/m^2）

* 連量：四方判（788x1091mm^2）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

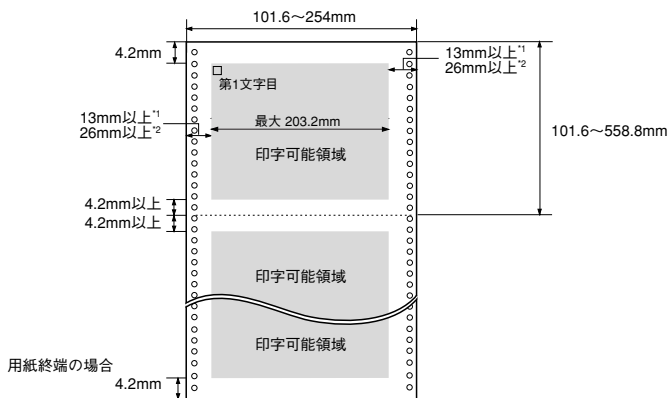
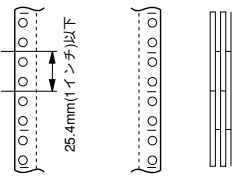
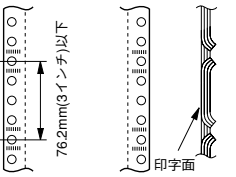
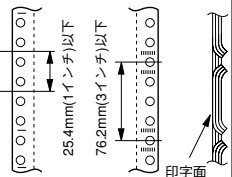
ポイント

ページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）が 101.6mm ｛4 インチ｝未満の場合、用紙の折り畳み長は 101.6mm ｛4 インチ｝以上の用紙をお使いください。

連続複写紙の推奨組み合わせ

構成枚数と連量（kg）は次の表の通りです。

	1P	2P	3P	4P	5P
1 枚目	45 ～70	50	50	43	43
2 枚目	－	43	34	34	34
3 枚目	－	－	43	34	34
4 枚目	－	－	－	43	34
5 枚目	－	－	－	－	43

印字領域

以下の領域に印刷することができます。

*1 用紙幅が 241.3mm より大きい場合は、13mm 以上になります。
*2 用紙幅が 254mm の場合は、26mm になります。

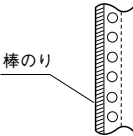
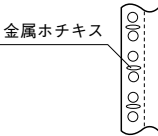
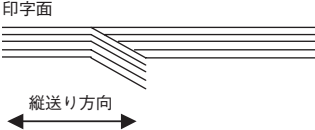
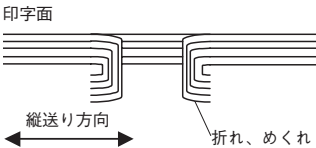
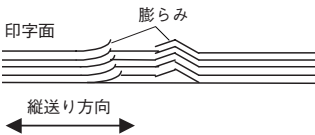
連続複写紙の綴じ方

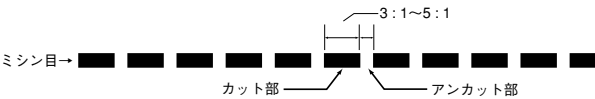
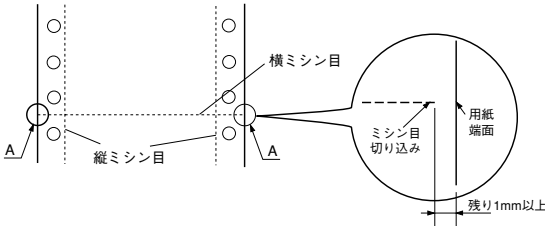
複写紙を使用する場合は、必ず以下の綴じ方の連続紙を使用してください。本製品で最も推奨する綴じ方は両側点のり綴じ（千鳥綴じ）です。

名称	両側点のり綴じ（千鳥綴じ）	両側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）	片側点のり綴じ（千鳥）＋片側紙ホチキス綴じ（ダブルギャザー）
綴じ方	25.4mm(1インチ)以下	76.2mm(3インチ)以下 印字面	25.4mm(1インチ)以下 76.2mm(3インチ)以下 印字面

注意

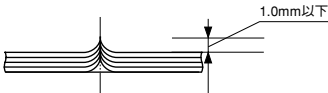
次の綴じ方をしている用紙や、折れ、めくれ、印字面への膨らみのある用紙は使用しないでください。

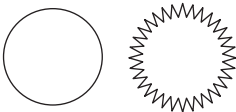
- 棒のり綴じ
- 金属ホチキス
- 紙ホチキス（シングルギャザー）
- 片側のみ綴じたもの（片側フリー）
- テープホチキス

ミシン目の入れ方

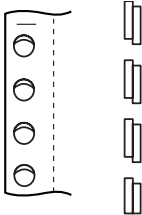
- ミシン目のカット、アンカットの比率は約３：１～５：１としてください。

- 横ミシン目の両端部 A のアンカット寸法は 1mm 以上としてください。

- 縦ミシン目と横ミシン目との交点はカットしないでください。

×：交点カット	○：交点アンカット
交点カット ミシン目	交点アンカット ミシン目

折り畳み部分のふくらみ

連続紙の折り畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、1.0mm 以下のものを使用してください。

スプロケット穴の形状

スプロケット穴の形状は以下のような真円形のものを使用してください。

スプロケット穴の形状

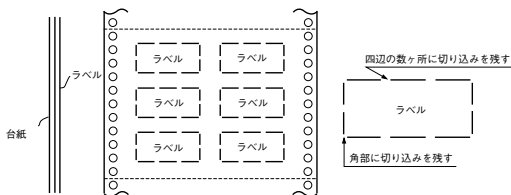
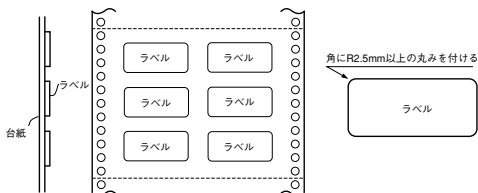
スプロケット穴が次のようにずれているものは使用できません。

ラベル連続紙

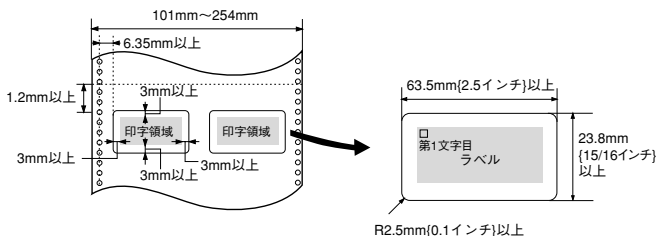
- ラベル紙は、プッシュトラクタでプリンタ前面から給紙するか、プルトラクタでプリンタの前面、底面から給紙します。プリンタ後方から給紙することはできません。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- プリンタ底面または後方からラベル紙を引き抜かないでください。
- 使用しないときは、プリンタから取り外してください。
- 台紙または印字領域以外の部分には印字しないでください。
- 単票ラベル紙は使用できません。
- ティアオフ機能は使用しないでください。
- アジャストレバーを設定して印刷してください。
  本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 254mm ｛4 ～ 10 インチ｝
台紙ページ長	101.6 ～ 558.8mm ｛4 ～ 22 インチ｝
台紙折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm ｛4 ～ 22 インチ｝
用紙厚（台紙を含む）	0.16 ～ 0.19mm（台紙0.07 ～ 0.09mm）
ラベル連量	55kg（坪量62g/m^2）

ラベル紙の種類

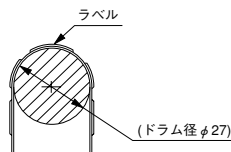
ラベル紙にはカストリ＊なしの用紙とカストリありの用紙があります。カストリなしの用紙を使用することをお勧めします。

- 台紙全体がシールに覆われているラベル紙（カストリなし）

- 台紙全体がシールに覆われていないラベル紙（カストリあり）
ラベルの角に R2.5mm 以上の丸みが付いているラベル紙を使用してください。

＊ カストリ：ラベル以外の粘着シールをはぎとること。

印字領域と使用可能なラベルサイズ

- ラベル紙を取り外すときは、フロントプッシュトラクタの位置で切り離してから、必ず［改行 / 改ページ］スイッチを押して排紙してください。［給紙 / 排紙］スイッチは使用しないでください。ラベルが台紙からはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- ティアオフ機能は使用しないでください。ラベル紙が後方に送られるときに、ラベルがはがれてプリンタ内部に貼り付くことがあります。
- ラベル紙をプリンタに取り付けたまま放置しないでください。丸まって用紙が詰まることがあります。

ポイント

次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径 ：φ27mm
巻付角度 ：180˚
巻付時間 ：24 時間
周囲温度 ：40 ℃
周囲湿度 ：30%

ハガキ

- ハガキは、郵便ハガキ（通常ハガキ）または往復郵便ハガキを使ってください。
- 郵便ハガキは、用紙ガイド（前 / 後）、カットシートフィーダ B（オプション）から給紙します。
- 往復郵便ハガキは、用紙ガイド（後）またはカットシートフィーダ B から給紙します。
- 往復郵便ハガキは、中央に折り跡がないものを使ってください。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- アジャストレバーをハガキ（レバー位置：2）に設定して印刷してください。また、プリンタドライバの用紙サイズを「はがき」にするなど、必要な設定を行ってください。

本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

項目		詳細	
品質		上質紙＜郵便ハガキ（通常ハガキ）＞	往復郵便ハガキ
用紙幅	用紙ガイド（前）	100 ～ 148mm {3.9 ～ 5.8 インチ}	―
	用紙ガイド（後）、カットシートフィーダ B	100 ～ 148mm {3.9～ 5.8 インチ}	
用紙長	用紙ガイド（前）	148mm {5.8 インチ}	―
	用紙ガイド（後）、カットシートフィーダ B	100 ～ 200mm {3.9 ～ 7.8 インチ}	
用紙厚		0.22mm	
用紙連量		165kg（坪量 192g/m2）	

＊ ハガキ下端から 13.5mm の位置まで印字できますが、下端 22 ～ 13.5mm の範囲は、紙送り精度の保証ができません。

単票紙（単票複写紙）

- 用紙ガイド（前 / 後）、カットシートフィーダA/B（オプション）から給紙します。単票複写紙は用紙ガイド（前）から給紙します。カットシートフィーダで使用できる用紙については、以下のページを参照してください。
  本書 136 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙）を使用してください。
- 最大 5 枚までの複写紙（オリジナル ＋ 4 枚）を使用することができます。
- 一般室温環境（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 30 ～ 60%）で使用してください。
- ミシン目の入った用紙は使用できません。

- 用紙の表面 / 裏面ともに、染み、ピンホール、汚れ、しわ、破れ、複写紙のめくれ、反りや毛羽立ちおよびのり付けのない連続紙を使用してください。
- 印字領域内に穴などの段差がないものを使用してください。
- 綴じ穴は、直径 5mm 以下のものをご使用ください。

項目		一般紙	複写紙
品質		上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	用紙ガイド（前）	100 ～ 257mm {3.9～ 10.1 インチ}	
	用紙ガイド（後）	100 ～ 257mm {3.9 ～ 10.1 インチ}	―
	カットシートフィーダ A	182 ～ 216mm {7.2 ～ 8.5 インチ}	―
	カットシートフィーダ B	100 ～ 216mm {3.9 ～ 8.5 インチ}	―
用紙長	用紙ガイド（前 / 後）	100 ～ 364mm {3.9～ 14.3 インチ}	
	カットシートフィーダ A	210 ～ 364mm {8.2 ～ 14.3 インチ}	―
	カットシートフィーダ B	100 ～ 364mm {3.9 ～ 14.3 インチ}	―
用紙厚	用紙ガイド（前 / 後）	0.065 ～ 0.14mm	0.12 ～ 0.39mm
	カットシートフィーダ A/B	0.07 ～ 0.14mm	―
用紙重量（連量）	用紙ガイド（前 / 後）	45 ～ 78kg（坪量 52 ～ 90g/m²）	34～50kg<1枚当たり>（坪量 40 ～ 58g/m²）
	カットシートフィーダ A/B	55 ～ 78kg（坪量 64 ～ 90g/m²）	―

単票複写紙の推奨組み合わせ

構成枚数と連量（kg）は次の表の通りです。

	1P	2P	3P	4P	5P
1 枚目	45 ～70	50	50	43	43
2 枚目	―	43	34	34	34
3 枚目	―	―	43	34	34
4 枚目	―	―	―	43	34
5 枚目	―	―	―	―	43

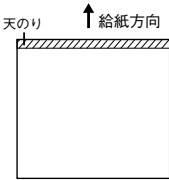
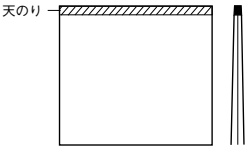
使用できる定形用紙

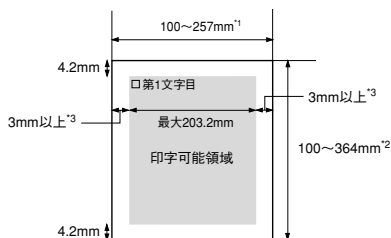
用紙サイズ	用紙ガイド（後）*1	用紙ガイド（前）	カットシートフィーダ（A/B）*1
A4（210 × 297mm）	縦長	縦長	縦長
A5（148 × 210mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2
A6（105 × 148mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長 *2
B4（257 × 364mm）	縦長	縦長	縦長
B5（182 × 257mm）	縦長、横長	縦長、横長	縦長、横長

*1 複写紙は使用できません
*2 カットシートフィーダ B のみ

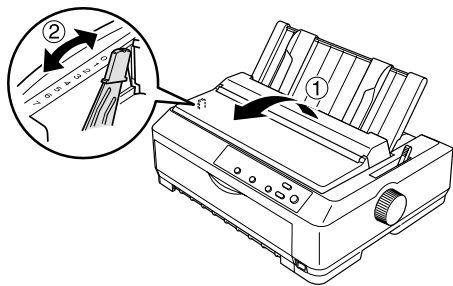
単票複写紙の綴じおよび給紙方向

用紙の上端全面、あるいは側端全面がのり付けされた用紙を使用してください。また、綴じてある方から給紙してください。

単票複写紙（天のり）

- 単票複写紙は、天のり綴じの用紙を使用してください。

- 綴じののり付けは、用紙一端面全面にあるものを使用してください。
- のり付け部が波打ったり硬くなったりしていないものを使用してください。

印字領域

*1 カットシートフィーダ A（オプション）使用の場合　182 〜 216mm
　カットシートフィーダ B（オプション）使用の場合　100 〜 216mm
*2 カットシートフィーダ A（オプション）使用の場合　210 〜 364mm
*3 用紙幅が 209.2mm 以下の場合
（用紙幅が 209.2mm より大きい場合、最大印字領域（203.2mm）を引いた値を均等配置）

アジャストレバーの設定

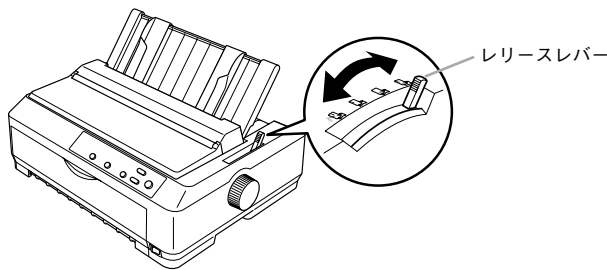
給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。
アジャストレバーの操作は、プリンタカバーを開けてから行ってください。

用紙の種類・枚数（紙厚）		アジャストレバーの設定値*					
		0	1	2	3	4	5
1 枚紙	連続紙 （0.065 ～ 0.10mm）	○					
	単票紙 （0.065 ～ 0.14mm）	○	○				
複写紙	2 枚紙（～ 0.18mm）	○	○				
	3 枚紙（～ 0.25mm）		○	○			
	4 枚紙（～ 0.32mm）			○	○		
	5 枚紙（～ 0.39mm）				○	○	○
ハガキ	165kg（0.22mm）			○			
ラベル	（0.07 ～0.19mm）			○			
紙厚		0.06～ 0.12mm	0.12 ～ 0.19mm	0.19 ～ 0.26mm	0.26～ 0.32mm	0.32 ～ 0.36mm	0.36 ～ 0.39mm

* 設定値 6、7は使用しません。

- 厚紙や特殊紙に印刷する場合は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定する際、必ず印刷可能領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいときに印刷可能領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 表の値は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

気温 5 ℃以下または 35 ℃以上の環境下でのご使用は、印字品質が低下する場合があります。アジャストレバーの設定を 1 段階下げて印字すると、品質の低下を軽減できる場合があります。

給紙経路の設定方法

給紙経路に合わせてレリースレバーを切り替えます。

使用する用紙と給紙経路

	給紙経路	レリースレバーの設定	給紙方法
単票紙		CUT	用紙ガイド（前後）またはカットシートフィーダ（オプション）から給紙します。
連続紙		FF-PUSH	プッシュトラクタを使用して、プリンタ後方から給紙します。給紙経路によっては、トラクタなどの部品を付け替える必要があります。
		FF-PUSH	プッシュトラクタを使用して、プリンタ前面から給紙します。給紙経路によっては、トラクタなどの部品を付け替える必要があります。
		FF-PULL	プルトラクタを使用して、プリンタ前面、後方、底面から給紙します。トラクタなどの部品を付け替える必要があります。

連続紙のセットと排紙

本製品は、トラクタユニットを付け替えることで、プッシュトラクタ（前）、プッシュトラクタ（後）、プルトラクタ、プッシュプル（前）、プッシュプル（後）、プッシュプル（前後）6つの給紙方法で連続紙を給紙することができます。

☞ 本書 77 ページ「給紙経路の設定方法」

工場出荷時は、プッシュトラクタ（前後）位置にトラクタユニットが取り付けられています。

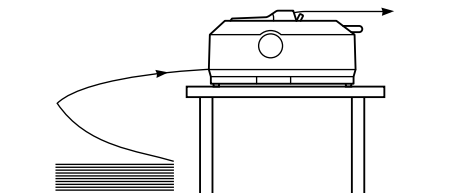
操作上のご注意

印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

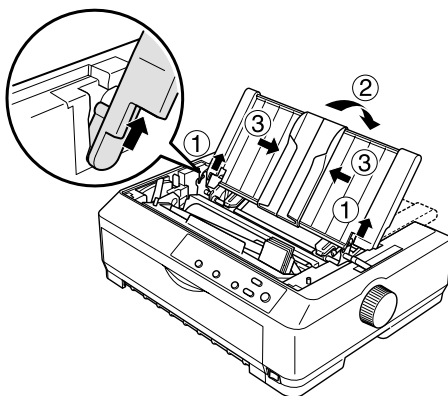
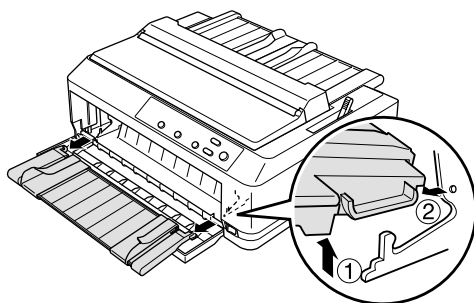
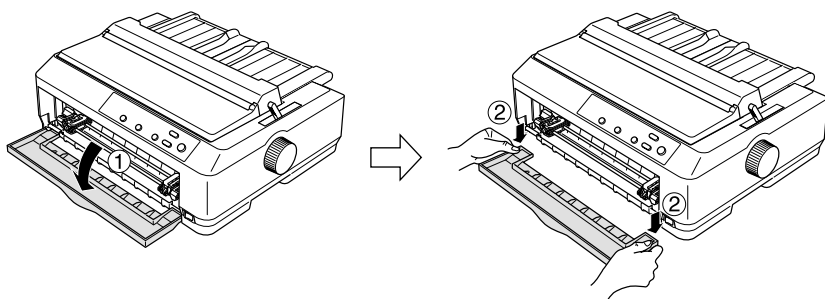
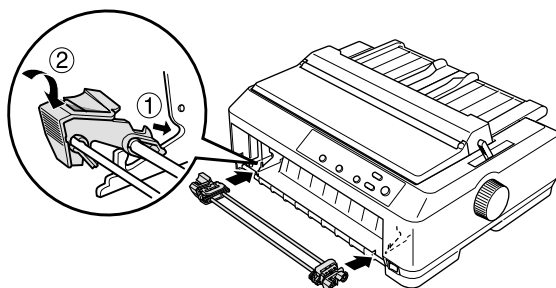
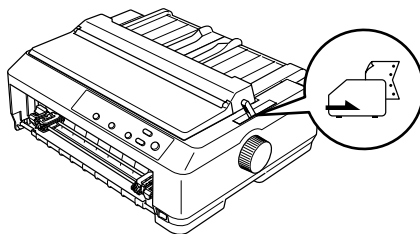
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、連続紙がプリンタ内に給紙された状態で、トラクタから用紙を外して引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、［給紙 / 排紙］スイッチを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。
- プリンタの動作中に用紙をカットする。

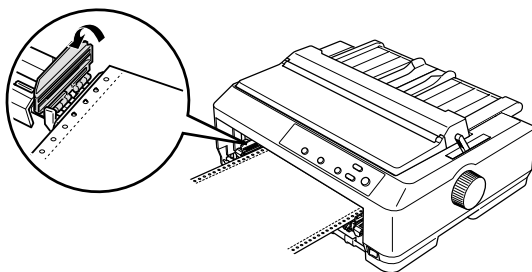
連続紙のセット（プッシュトラクタ）

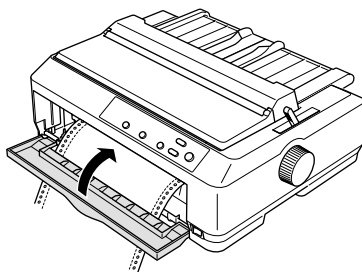
プッシュトラクタ（前）からの給紙

プリンタ前方から連続紙を給紙します。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから、以下の作業を行ってください。

- **用紙ガイド（後）を装着している場合**
  用紙ガイドを斜め奥に引き上げ①、後ろに倒してから②、エッジガイドを中央に移動させます③。

- **用紙ガイド（前）を装着している場合**
  用紙ガイドを斜め上にしてから引き抜きます。

2 フロントカバーを取り外します。

3 トラクタユニットをプッシュトラクタ（前）位置に取り付けます。

4 レリーズレバーをプッシュトラクタ（前）（FF-PUSH）側に設定します。

5 連続紙をトラクタユニットにセットします。

本書 97 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

> **ポイント**
> 連続紙がたるんだり、きつく張りすぎている場合は、スプロケットの位置を調整してください。連続紙のスプロケットの穴が変形しない程度の位置が理想です。

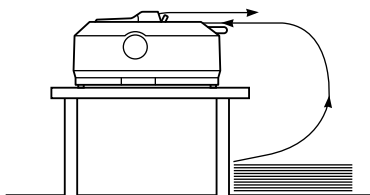
6 フロントカバーを取り付けて閉じます。

7 ［電源］スイッチをオンにします。

［電源］ランプと［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

- プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。

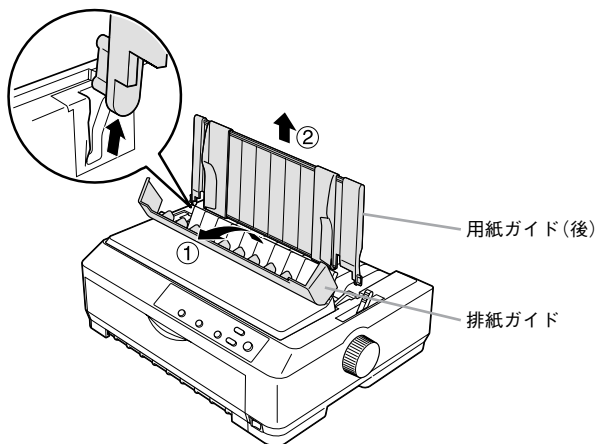
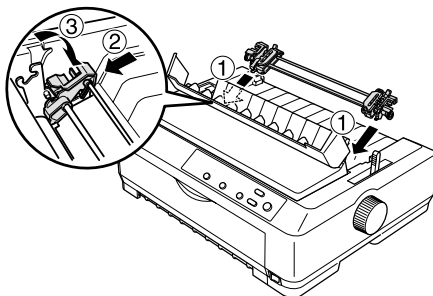
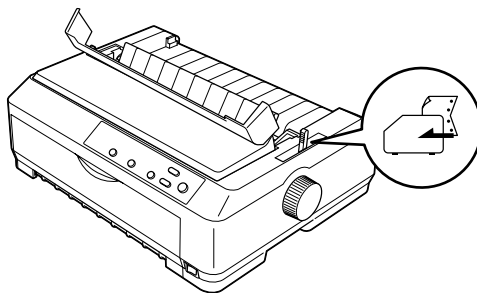
- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 104 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  ☞ 本書 103 ページ「自動ティアオフ機能」

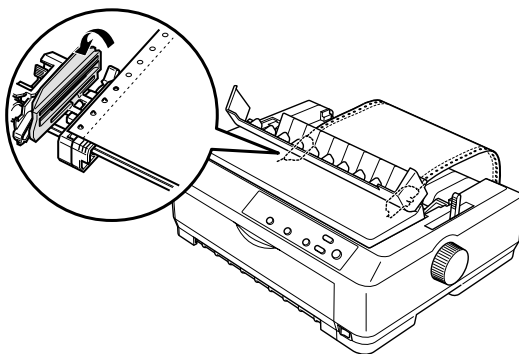
プッシュトラクタ（後）からの給紙

プリンタ後方から連続紙を給紙します。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

プッシュトラクタ（後）からラベル紙を給紙することはできません。

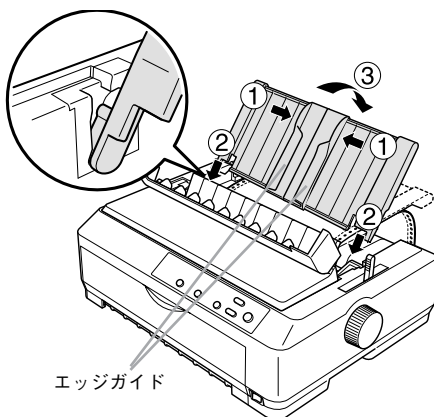
- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから、用紙ガイド（後）を外します。

プリンタカバーの排紙ガイドを手前に起こし、用紙ガイドを取り外します。

2 トラクタユニットをプッシュトラクタ（後）位置に取り付けます。

3 レリースレバーをプッシュトラクタ（後）（ FF-PUSH ）側に設定します。

4 連続紙をトラクタユニットにセットします。

本書 97 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

ポイント	連続紙がたるんだり、きつく張りすぎている場合は、スプロケットの位置を調整してください。連続紙のスプロケットの穴が変形しない程度の位置が理想です。

5 **左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置に移動させてから①、用紙ガイド（後）を取り付け②、後ろに少し引いて倒します③。**

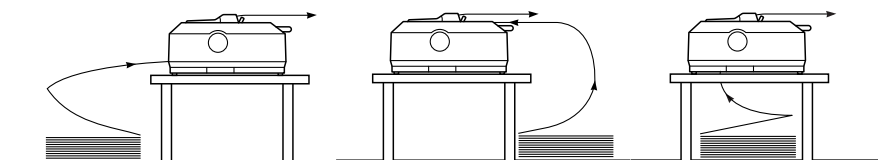
用紙ガイドは排紙される連続紙がプリンタに引き込まれるのを防止します。

6 **［電源］スイッチをオンにします。**

［電源］ランプと［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

- プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。

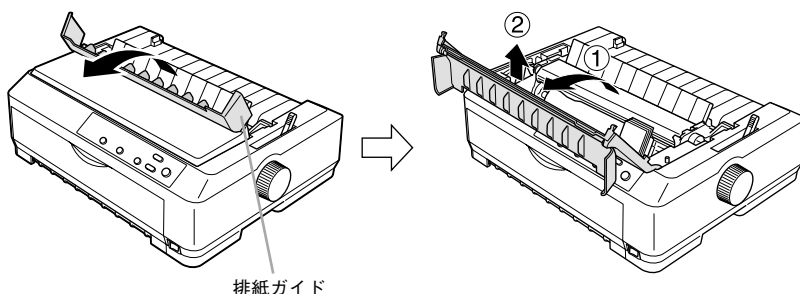
- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
  本書 104 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  本書 103 ページ「自動ティアオフ機能」

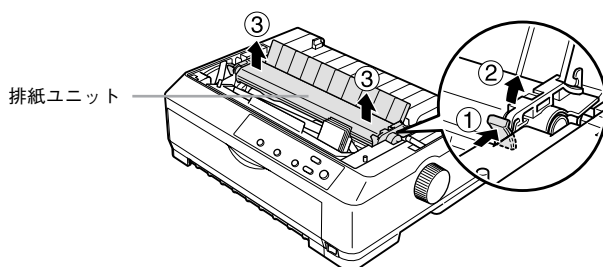
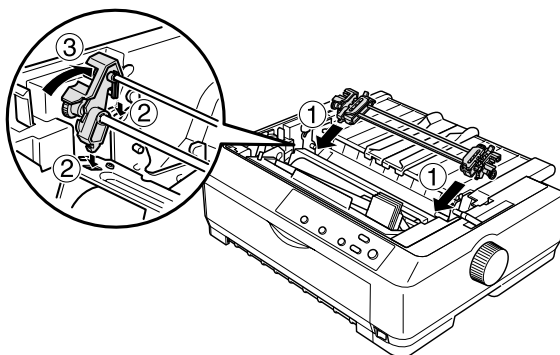
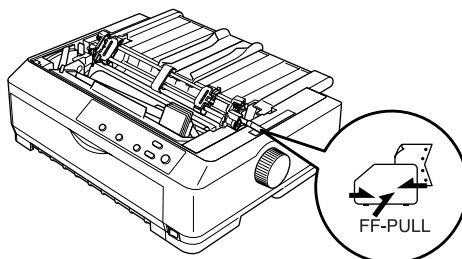
連続紙のセット（プルトラクタ）

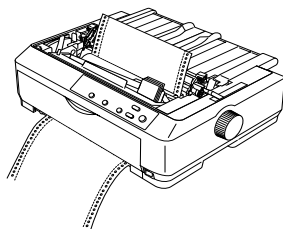
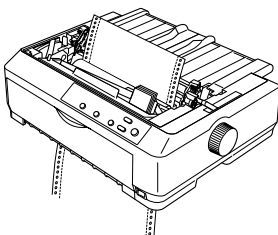
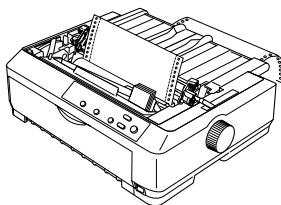
プリンタの前面、後方、底面から連続紙を給紙します。
連続紙をスムーズに給紙するために以下のような配置でプリンタをお使いください。

プリンタ後方からラベル紙を給紙することはできません。

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

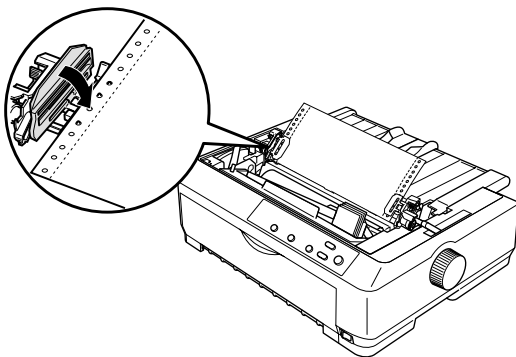
1 プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから、プリンタカバーを取り外します。

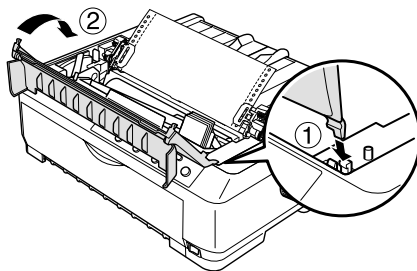
排紙ガイドを手前に倒してから、プリンタカバーを手前に起こして上に引き抜きます。

2 **排紙ユニットを取り外します。**

排紙ユニット両側のレバーを後方に押しながら、そのまま回転させるようにして取り外します。

3 **トラクタユニットをプルトラクタ位置に取り付けます。**

4 **レリーズレバーをプルトラクタ（FF-PULL）位置に設定します。**

5 **連続紙をプリンタに差し込みます。**

使用したい給紙経路から連続紙を差し込み、1 ページ目のミシン目がリボンと同じ位置になるまで引き出します。
プリンタ後部から連続紙を差し込む場合は、印刷位置目盛りを目安にして差し込みます。

印刷位置目盛りについては以下のページを参照してください。
本書 107 ページ「給紙位置（横方向）の調整」

6 **連続紙をトラクタユニットにセットします。**

印刷位置を合わせ、連続紙がたるんでいる場合は、後ろから少し引いてたるみを取ります。
本書 97 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

プルトラクタに用紙をセットするときは、紙送りノブは絶対に使用しないでください。用紙がたるんでいる場合は微小送り機能を使用してください。
本書 104 ページ「用紙位置の微調整」

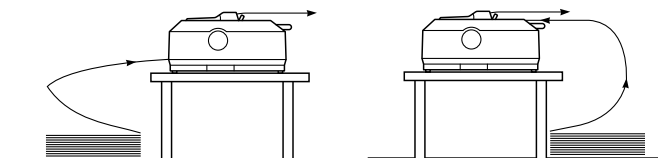
7 プリンタカバーを取り付けます。

8 ［電源］スイッチをオンにします。

［電源］ランプと［印刷可］ランプが点灯します。印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

- プリンタの電源スイッチがオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。
- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

- 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。
  本書 104 ページ「用紙位置の微調整」
- ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
  本書 103 ページ「自動ティアオフ機能」

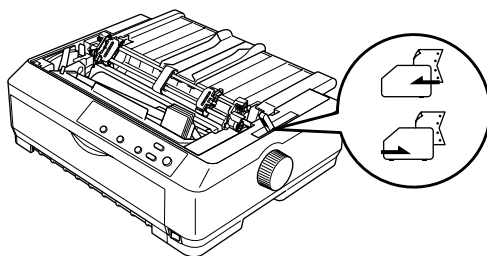
連続紙のセット（プッシュ / プルトラクタ）

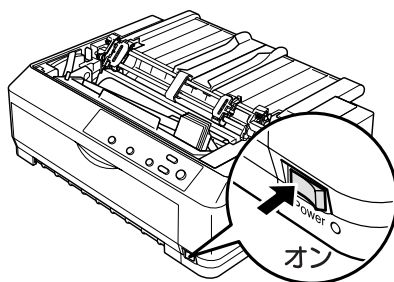
プリンタの前面、後方から連続紙を給紙します。
後方からの給紙の場合は、プッシュトラクタ（前）を外してプルトラクタ位置に取り付けます。
前面からの給紙の場合は、プッシュトラクタ（後）を外してプルトラクタ位置に取り付けます。
これによりプッシュ + プルトラクタで紙送りができ、連続紙の紙送り精度を向上させることができます。オプションのトラクタユニットをプルトラクタ位置に取り付けると、プルトラクタを取り付けたまま、プッシュトラクタ（前）とプッシュトラクタ（後）からも給紙することができます。
連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンタをお使いください。

プリンタ後方からラベル紙を給紙することはできません。

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンタを配置してください。
- 連続紙がひっかからないよう、プリンタに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

1 プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから、トラクタユニットをプッシュトラクタ、プルトラクタの位置に取り付けます。

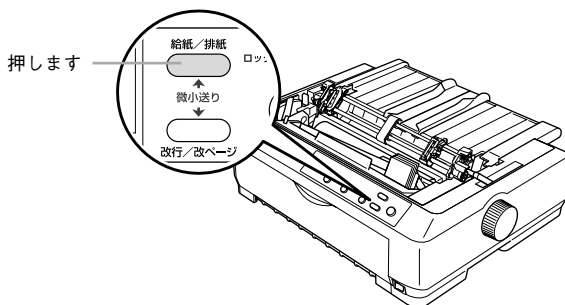
- プッシュトラクタ位置への取り付け
  本書 79 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」
- プルトラクタ位置への取り付け
  本書 86 ページ「連続紙のセット（プルトラクタ）」

2 **レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（FF-PUSH）またはプッシュトラクタ（後）（FF-PUSH）側に設定します。**

3 **［電源］スイッチをオンにします。**

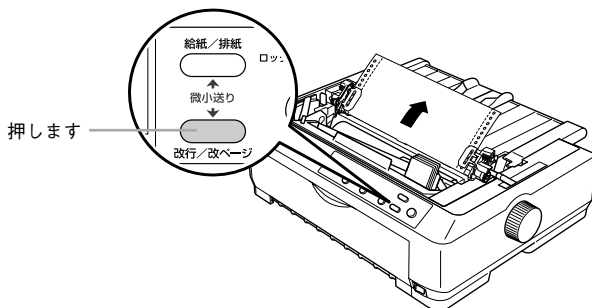
［電源］ランプと［印刷可］ランプが点灯します。

4 連続紙をプリンタに差し込み、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を給紙します。

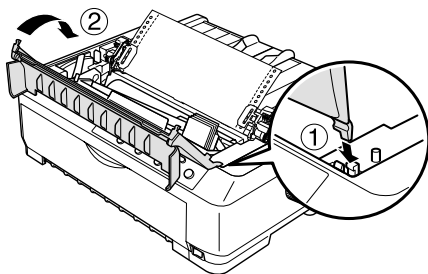
以下を参照して、使用したい給紙経路から連続紙を差し込みます。

- プッシュトラクタ（前）から給紙する場合
  本書 79 ページ「プッシュトラクタ（前）からの給紙」
- プッシュトラクタ（後）から給紙する場合
  本書 83 ページ「プッシュトラクタ（後）からの給紙」

プリンタ後部から連続紙を差し込む場合は、印刷位置目盛りを目安にして差し込みます。

ポイント

- 印刷位置目盛りについては以下のページを参照してください。
  本書 107 ページ「給紙位置（横方向）の調整」
- プルトラクタに用紙をセットするときは、紙送りノブは絶対に使用しないでください。用紙がたるんでいる場合は微小送り機能を使用してください。
  本書 104 ページ「用紙位置の微調整」

5 ［改行 / 改ページ］スイッチを数秒押して用紙を 1 ページ分送って、プルトラクタにセットします。

6 **プリンタカバーを取り付けて閉じます。**

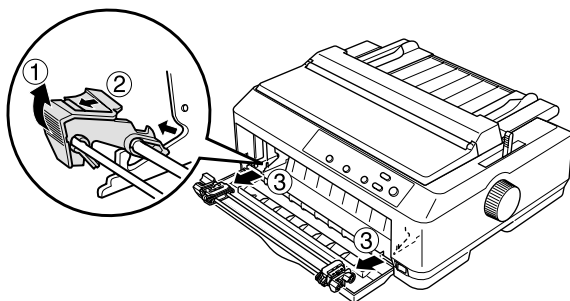
印刷データを受信すると連続紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

 注 意	• プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。 • 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。 • 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源をオフにしてから紙送りノブを回して用紙を取り除き、新しい連続紙をセットし直して給紙してください。

 ポイント	• 給紙位置の調整については、以下のページを参照してください。 本書 104 ページ「用紙位置の微調整」 • ティアオフ機能を使用すると連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。 本書 103 ページ「自動ティアオフ機能」

トラクタユニットの付け替え

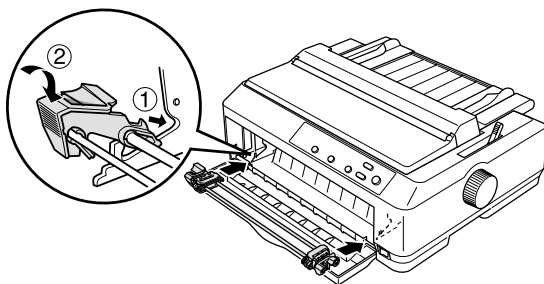
トラクタユニットは自由に付け替えることができます。給紙経路に合わせて取り付け位置を変えてください。
連続紙の給紙方法を変更しない場合は、トラクタユニットの付け替えを行う必要はありません。以下のページを参照して連続紙をセットしてください。
本書 79 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」
本書 86 ページ「連続紙のセット（プルトラクタ）」

トラクタユニットの取り外し

1. **トラクタユニットの左右のレバーをつまみ、上に持ち上げるようにして取り外します。**
トラクタユニットがどの位置に取り付けられていても同じ手順で取り外せます。イラストはプッシュトラクタ（前）に取り付けられているトラクタユニットを取り外す場合の例です。

次にトラクタユニットを以下の 3 つの位置に取り付けます。
- プッシュトラクタ（前）位置 95 ページ
- プッシュトラクタ（後）位置 95 ページ
- プルトラクタ位置 96 ページ

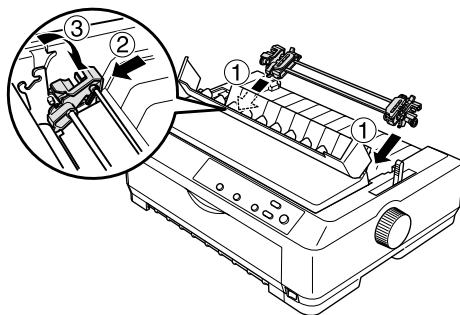
プッシュトラクタ（前）位置への取り付け

1. フロントカバーを開け、用紙ガイド（前）を取り外します。

2. トラクタユニットの左右のレバーを持ち、図のように取り付けます。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（前）を、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
本書 79 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」

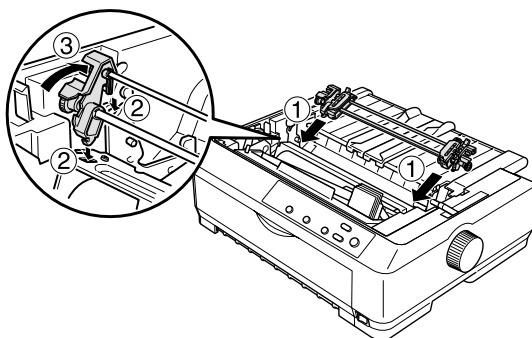
プッシュトラクタ（後）位置への取り付け

1. 用紙ガイド（後）を取り外します。

2. トラクタユニットを両手で持ち①、図のくぼみにはめ②、後ろに倒して取り付けます③。
細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（後）は、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
本書 79 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」

プルトラクタ位置への取り付け

1. **用紙ガイド（後）、排紙ユニットを取り外します。**

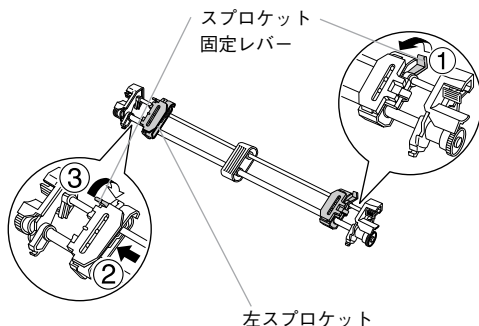
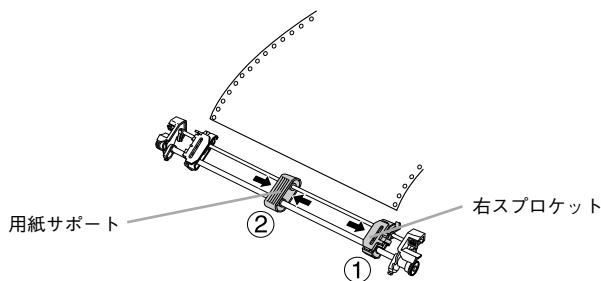
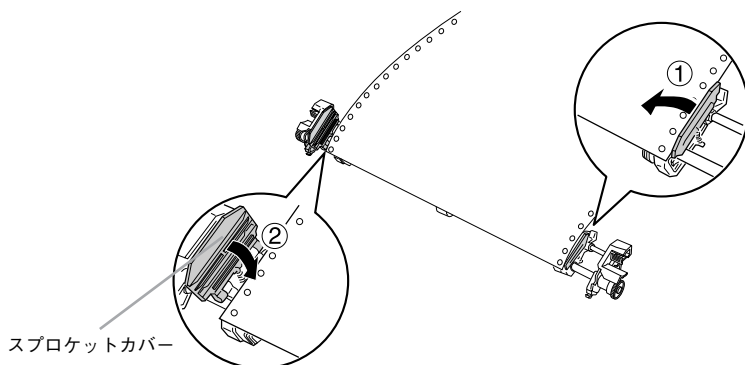
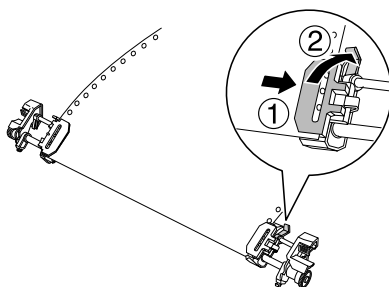
2. **トラクタユニットを両手で持ち①、トラクタのツメをプリンタの穴に引っかけるようにして②、後ろに倒して取り付けます③。**
   細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

以上で付け替え作業は終了です。用紙ガイド（後）は、用紙をセットした後に取り付けます。用紙のセット方法については、以下のページを参照してください。
本書 86 ページ「連続紙のセット（プルトラクタ）」

トラクタユニットへの連続紙のセット

トラクタユニットに連続紙をセットします。セット方法は、トラクタユニットをどの位置につけても基本的には同じです（トラクタの向きにより少し違います）。

1 **左右のスプロケット固定レバーを手前（前に取り付けた場合は後ろ）に倒してから、左のスプロケットを左側に移動して固定します。**

左のスプロケットの位置は使用する用紙によって違います。以下のページを参照して、位置を決めてください。

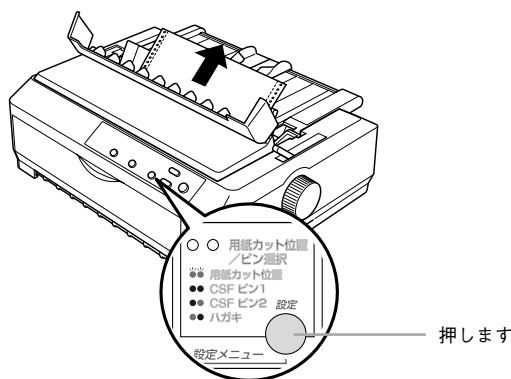
本書 107 ページ「給紙位置（横方向）の調整」

2 **右のスプロケットを用紙幅に合わせ、用紙サポートを左右のスプロケットの中央に移動します。**

3 左右のスプロケットカバーを開けます。連続紙の左右3つの穴と左右のスプロケットのピンを合わせて用紙をセットしてから、左右のスプロケットカバーを閉じます。

4 右のスプロケットを連続紙がぴんと張るようにしてから、スプロケット固定レバーを後ろ（前に取り付けた場合は手前）に倒して固定します。

連続紙のスプロケットの穴が変形していないことを確認してください。変形している場合は、スプロケットの位置を調整してください。

以上でトラクタユニットへの連続紙のセットは終了です。

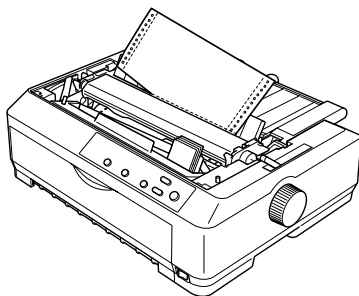
排紙の仕方

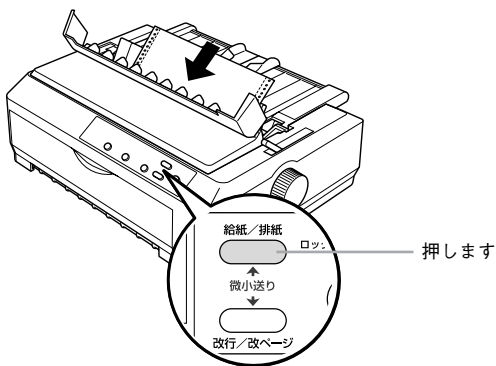
プッシュトラクタでの排紙

1. **印刷が終了したら、［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。**

   ［用紙カット位置］ランプが点灯します。

- 上記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。ティアオフ機能が自動に設定されていると、印刷終了後、自動的にミシン目カット位置まで連続紙を送ります。
  本書 103 ページ「自動ティアオフ機能」
- 切断するミシン目が用紙ガイドのペーパーカッターとずれているときは、［給紙 / 排紙］スイッチまたは［改行 / 改ページ］スイッチを押してミシン目位置を調整してください。
  本書 104 ページ「用紙位置の微調整」

2 **印刷が終了したページをミシン目で切り離します。**

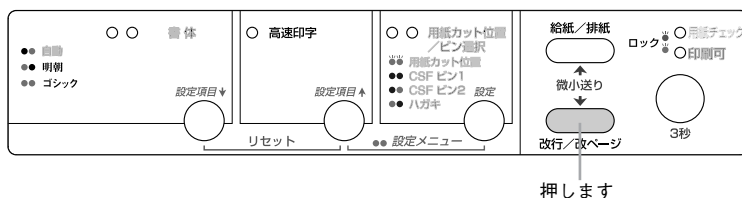
細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。

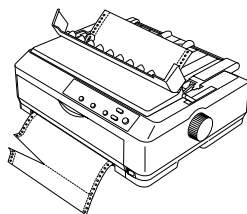
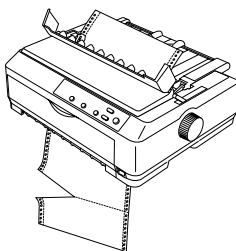
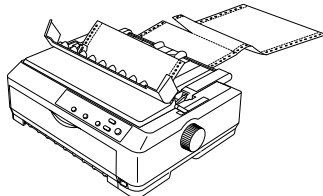
3 **［給紙 / 排紙］スイッチを押してトラクタユニットまで連続紙を戻します。**

［給紙 / 排紙］スイッチは印刷が終了したページを切り離してから押してください。また、2 回以上押さないでください。

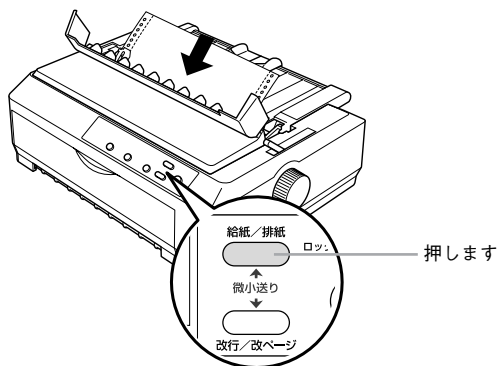
プルトラクタでの排紙

プルトラクタから排紙するときは、必ず［改行 / 改ページ］スイッチを使用して、プリンタ上面から排紙してください。ティアオフ機能（［用紙カット位置］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチ）は使用しないでください。

ラベル紙を、［用紙カット位置］スイッチ、［給紙 / 排紙］スイッチを使用するなどしてプリンタ後方 / 底面より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はトラクタユニット位置で用紙を切り離してから、［改行 / 改ページ］スイッチを押してプリンタ上面から排紙してください。

1. 印刷が終了したら、［改行 / 改ページ］スイッチを数秒押して改ページします。

2. 印刷が終了したページをミシン目で切り離します。

<プリンタ前部から給紙>

<プリンタ底部から給紙>

<プリンタ後部から給紙>

印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。

3 ［給紙 / 排紙］スイッチを押してトラクタユニットまで連続紙を戻します。

自動ティアオフ機能

連続紙を簡単かつ無駄なく切り離したいときは、自動ティアオフ機能を使用します。自動ティアオフを［オン］に設定すると、自動的に印刷の終了時に連続紙のミシン目を用紙カット位置まで送り、印刷再開時に給紙位置まで戻します。自動ティアオフ機能の初期設定は［オフ］に設定されています。初期設定を変更するときは、以下のページを参照してください。

本書 121 ページ「操作パネルからの設定」

連続ラベル紙は自動ティアオフ機能を使用しないでください。

- 自動ティアオフ機能は、設定したページ長（初期設定：11 インチ）を基に連続紙を送ります。使用する連続紙に合わせてプリンタドライバまたはプリンタ設定値のページ長を正しく設定してください。
- Windows で使用する場合は、プリンタドライバのページ長設定が有効となります。使用する連続紙に合ったページ長の用紙を選択してください。

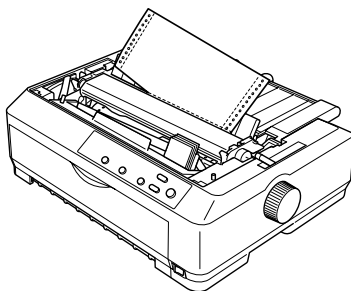
1 印刷を行います。

印刷が終わり約 3 秒経過すると、連続紙のミシン目を用紙カット位置まで自動的に送ります。［用紙カット位置］ランプが点灯します。

ミシン目が用紙カット位置に合わない場合、微小送り機能を使用して調整してください。

本書 104 ページ「用紙位置の微調整」

2 連続紙を切り離します。

細部をご覧いただくために、プリンタカバーを取り外した状態のイラストを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

3 **次の印刷を行います。**

連続紙が印刷開始位置へ自動的に戻り、印刷が始まります。

［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙を戻すこともできます。電源をオフにする場合は、必ず［用紙カット位置］スイッチを押して連続紙を戻してください。ただし、プルトラクタから給紙している場合は、［用紙カット位置］スイッチを押さないでください。

用紙位置の微調整

連続紙の用紙カット位置、給紙位置を微調整するときは、微小送り機能を使用します。微小送り機能では、1/180 インチ単位で前後両方向に用紙を動かすことができます。調整した給紙位置と用紙カット位置は、給紙装置ごとに独立したプリンタのメモリに記憶されます。［電源］スイッチをオフにしても設定した内容は保持されます。

用紙カット位置の微調整

連続紙をミシン目で切り離す際、排紙ユニットのペーパーカッターとミシン目がずれている場合は、次の手順で用紙カット位置を微調整できます。

給紙位置（縦方向）の微調整（DOS のみ）

単票紙や連続紙の給紙位置がずれて給紙された場合は、次の手順で給紙位置を微調整できます。

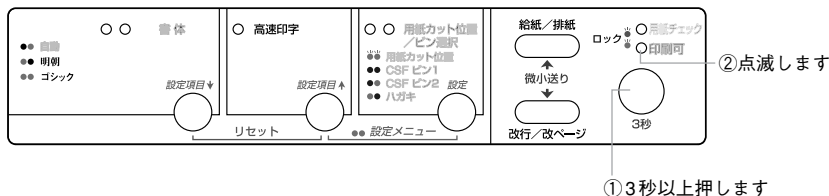
- プリンタドライバ経由で印刷している場合は、給紙位置の微調整はできません。お使いのアプリケーション上でマージンの設定を行ってください。
- 印刷結果を見て、微小送りで印刷位置を合わせることもできます。プレプリントされている枠線などに合わせて印刷する場合に便利です。

1 **給紙位置または用紙カット位置の調整の準備をします。**

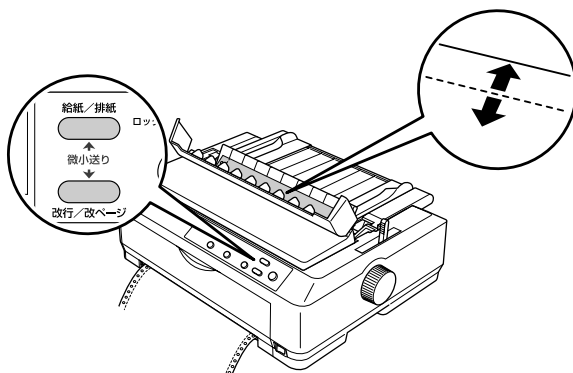
- 給紙位置を調整する場合は、用紙を給紙します。
  ☞ 本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」
  ☞ 本書 78 ページ「連続紙のセットと排紙」
- 用紙カット位置を調整する場合は、自動ティアオフ機能を使用して連続紙のミシン目を用紙カット位置へ送ります。

2 **［印刷可］スイッチを３秒以上押します。**

印刷可ランプが点滅し、ブザーが鳴るまで［印刷可］スイッチを押します。

印刷可ランプが消灯または点灯しているときは微小送りできません。［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを点滅させてください。

3 **［微小送り］スイッチを押して位置（縦方向）を合わせます。**

［⬆］スイッチを押すと、用紙は用紙ガイド側へ進みます。

［⬇］スイッチを押すと、用紙はリアプッシュトラクタ側へ進みます。

4 **用紙位置を確認します。**

⚠注意　プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、触らないでください。開けたプリンタカバーは印刷前に必ず閉じてください。

- 微調整できる範囲は以下の通りです。
  給紙位置：
  4.2 ～ 33.9mm（工場出荷時の基準位置は 8.5mm）
  用紙カット位置：
  － 25.4 ～＋ 25.4mm（工場出荷時の基準位置は 0mm）
- 給紙位置または用紙カット位置を微調整するとき、前後どちらの方向に用紙を動かしても、途中でブザーが鳴り一旦停止する位置があります。これは基準位置ですので微調整時の目安としてください。また、前後どちらの方向にも微調整できる限度があります。上限あるいは下限に達するとブザーが鳴り、用紙はそれ以上動かなくなります。
  カットシートフィーダ（オプション）の場合、給紙された位置から逆方向には 8.5mm までとなります。

5 ［印刷可］スイッチを押します。

微調整した給紙位置および用紙カット位置はプリンタのメモリに記憶されます。［電源］スイッチをオフにしても設定した内容は保持されます。

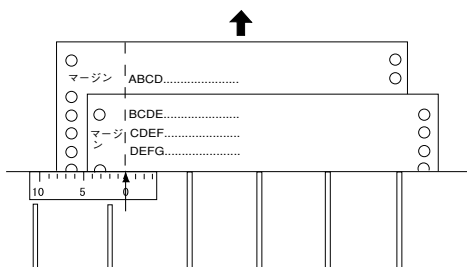
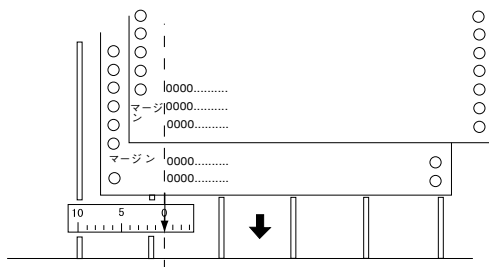
給紙位置（横方向）の調整

連続紙の給紙位置（横方向）を調整する場合は、フロントカバー裏またはプリンタ後部の印刷位置合わせの目盛りを目安にスプロケットを移動して調整します。

ポイント

プリンタドライバを経由して印刷している場合は、1 桁目の位置（スプロケットの穴の横にあるミシン目が目安）を［0］に合わせ、アプリケーション上で余白（マージン）を設定して印刷してください。

目盛りの［0］の位置が、1桁目の印刷開始位置です。目盛りの間隔は2.54mm｛1/10インチ｝になっています。連続紙の端を目盛りの［10］位置に合わせると、印刷開始位置までの余白（マージン）が25.4mm｛1インチ｝に設定されたことになります。

＜フロントカバー裏＞

＜プリンタ後部＞

単票紙のセットと排紙

単票紙は用紙ガイド（後）と用紙ガイド（前）から給紙することができます。
用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。
単票紙で印刷することが多い場合には、オプションのカットシートフィーダをご利用ください。単票紙を連続して給紙することができます。
本書 136 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」

操作上のご注意

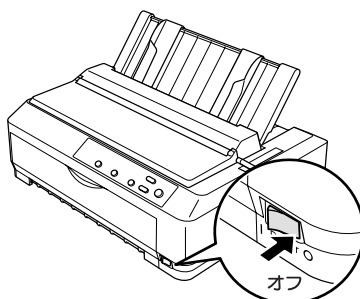
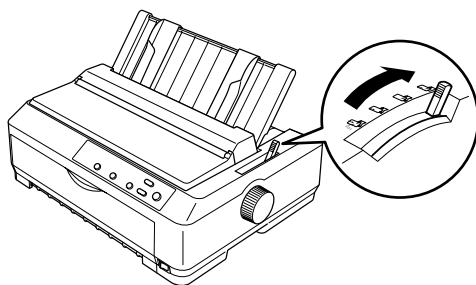
印刷開始位置がずれたりプリンタ内に用紙が詰まるなどの動作不良や、故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

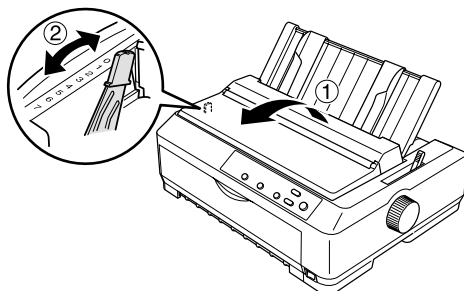
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、紙送りノブを回す。
- プリンタの［電源］スイッチがオンのとき、用紙を引き抜く。
- プリンタの［電源］スイッチがオフのとき、紙送りノブを使用して用紙をプリンタ内部に送る。

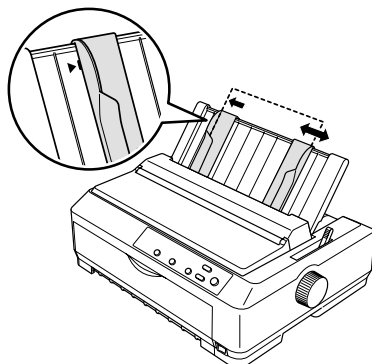
単票紙のセット

単表紙のセット方法は、給紙する場所によって異なります。
本書 108 ページ「用紙ガイド（後）から給紙する場合」
本書 111 ページ「用紙ガイド（前）から給紙する場合」

用紙ガイド（後）から給紙する場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2 **レリースレバーを単票紙側（）に倒します。**

3 **プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。**

本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **エッジガイド位置を単票紙のサイズに合わせて調整します。**

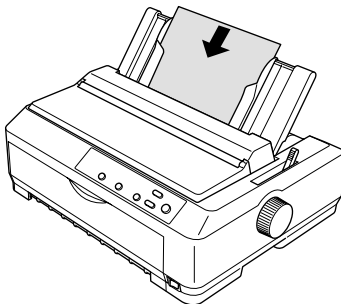
エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（）に合わせ、エッジガイド（右）を単票紙の幅に合わせます。

ポイント

- エッジガイド（左）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。
- B4 縦の単票紙をセットする場合は、エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）の左側にずらして紙幅に合わせてください。
- ハガキの場合は、ハガキモードに設定してください。

5 ［電源］スイッチをオンにします。

6 単票紙を手差し給紙します。

用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

注意

プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

ポイント

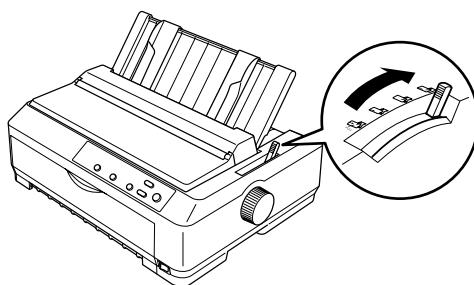
DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は微小送り機能を使用して微調整できます。
本書 104 ページ「用紙位置の微調整」

7 印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

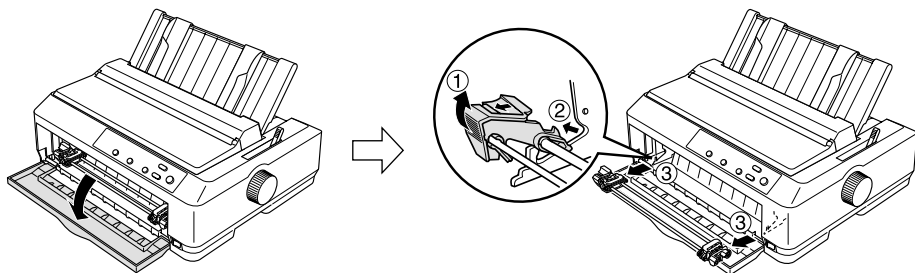
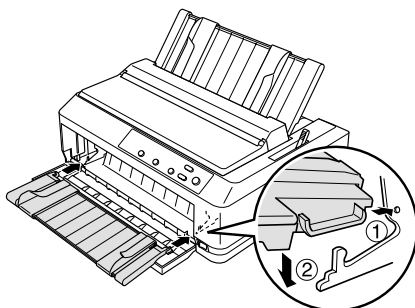
用紙ガイド（前）から給紙する場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. レリースレバーを単票紙側（CUT）に倒します。

3. プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせて、アジャストレバーを設定します。

本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

4 **用紙ガイド（前）を取り付けます。**

①トラクタユニットを前に取り付けている場合は、フロントカバーを開け、トラクタユニットを取り外します。

②用紙ガイド（前）を取り付けます。

5 **エッジガイド位置を単票紙のサイズに合わせて調整します。**

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）に合わせ、エッジガイド（右）を単票紙の幅に合わせます。

- エッジガイド（左）の位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。
- B4縦の単票紙をセットする場合は、エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（▷|）の左側にずらして紙幅に合わせてください。
- ハガキの場合は、ハガキモードに設定してください。

6 ［電源］スイッチをオンにします。

7 単票紙を手差し給紙します。

用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回さないでください。

DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は微小送り機能を使用して微調整できます。

本書 104 ページ「用紙位置の微調整」

8 印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。

プリンタ内に用紙が残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

排紙の仕方

印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。
印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。

- プリンタの電源がオンになっているときは、紙送りノブを回して排紙しないでください。
- 印刷途中で排紙する場合は、[印刷可] スイッチを押して印刷を中断してから、[給紙 / 排紙] スイッチを押して排紙します。このとき、印刷データがバッファに残っている場合があります。残っている印刷データを消す場合は、[書体] スイッチを押したまま [高速印字] スイッチを押して、バッファをクリアしてください。

連続紙（プッシュトラクタ）と単票紙の切り替え

プッシュトラクタに連続紙をセットしたまま、連続紙の給紙と単票紙の給紙を切り替えて単票紙に印刷することができます。

オプションのカットシートフィーダとプッシュトラクタ（後）を使用する場合、連続紙をプッシュトラクタ（後）にセットしてからカットシートフィーダを取り付けてください。

連続紙から単票紙への切り替え

連続紙の先端がプッシュトラクタ（後）の位置にある場合は、4 へ進んでください。

1 **連続紙の印刷が終了したら、[改行 / 改ページ] スイッチを押して、ミシン目カット位置まで紙送りします。**

[改行 / 改ページ] スイッチは継続的に押すと改行し、数秒押し続けると改ページします。自動ティアオフ機能をオンに設定している場合は [改行 / 改ページ] スイッチを押す必要はありません。

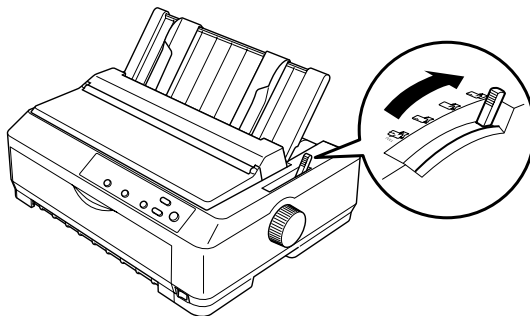
2 **連続紙を切り離します。**

印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使って必ずミシン目まで紙送りし、ミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。

3 **[給紙 / 排紙] スイッチを押します。**

セットした連続紙はトラクタの位置まで戻りますが、トラクタからは外れません。

ラベル使用時は [給紙 / 排紙] スイッチを押さないでください。

4 レリーススレバーを単票紙側（CUT）に設定します。

ポイント

連続紙と単票紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを設定してください。
本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

5 カットシートフィーダ（オプション）を使用しない場合は、用紙ガイド（後）を起こします。前から給紙する場合は、フロントカバーを開けます。

6 単票紙を用紙ガイド（前または後）またはカットシートフィーダ（オプション）にセットします。

用紙ガイド（前または後）にセットする場合は、エッジガイドを用紙幅に合わせてから、単票紙を奥まで差し込みます。約 2 秒後、用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。

本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」
本書 143 ページ「カットシートフィーダの使い方」

7 印刷を実行します。

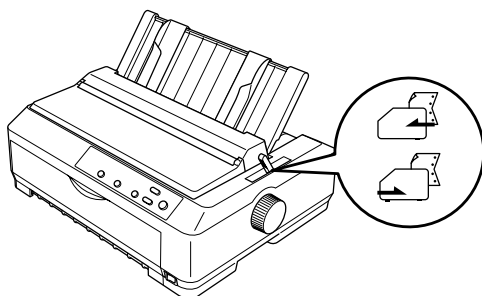
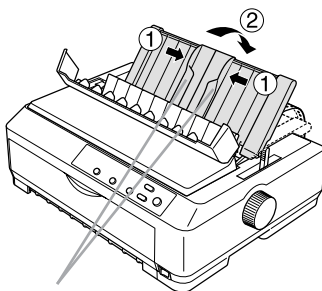
印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

単票紙から連続紙への切り替え

連続紙はあらかじめセットしておいてください。
本書 79 ページ「連続紙のセット（プッシュトラクタ）」

1. **単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。**
印刷途中の用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。

2. **［電源］スイッチをオフにします。**

3. **レリースレバーをプッシュトラクタ（前）（FF-PUSH）またはプッシュトラクタ（後）（FF-PUSH）側に設定します。**

4. **左右のエッジガイドを用紙幅の中央の位置まで移動します。用紙ガイド（後）は少し後ろに引いて倒します。**

エッジガイド

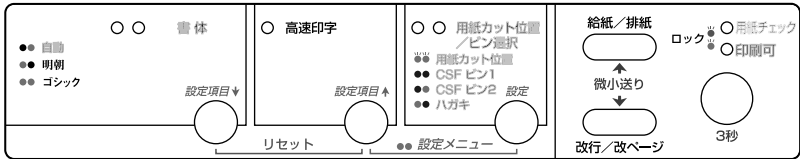
5. **［電源］スイッチをオンにします。**

6. **印刷を実行します。**
印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

プリンタ設定値の変更

プリンタ設定の方法

プリンタは設定された内容に従って動作します。プリンタの設定値を変更するには、次の2通りの方法があります。

- **操作パネルで設定する**
  本製品の持つすべての設定値を変更することができます。設定値の一覧表を印刷してから、操作パネル上のボタンを押して設定を変更します。

操作パネルのスイッチを 2 つ以上同時に押すと、スイッチを単独で押したときとは異なる機能が実行できます。

スイッチ	機能
［書体］＋［高速印字］	バッファをクリアします。 本書 29 ページ「印刷の中止方法」
［高速印字］＋［用紙カット位置 / ピン選択］ （［設定項目↑］＋［設定］）	プリンタ設定モードにします。 本書 124 ページ「設定値の変更の方法」
［改行 / 改ページ］＋［電源］オン	セルフテストを行います。 スタートアップガイド（紙マニュアル）「動作確認」
［給紙 / 排紙］＋［電源］オン	
［改行 / 改ページ］＋［印刷可］＋［電源］オン	プリンタ設定モードの項目制限（パネルロックアウト）を行います。 本書 125 ページ「操作パネルからの設定を制限する（パネルロックアウトモード）」
［給紙 / 排紙］＋［印刷可］＋［電源］オン	プリンタ設定モードの項目制限（パネルロックアウト）自体をオン / オフします。 本書 126 ページ「操作パネルからの設定制限（パネルロックアウト）をオン / オフする」
［改行 / 改ページ］＋［給紙 / 排紙］＋［電源］オン	16進ダンプ印刷します。 本書 127 ページ「16 進ダンプ印刷」

- **プリンタドライバで設定する**
  Windows でお使いの場合に通常の印刷で必要な設定は、アプリケーション上あるいはプリンタドライバから変更することができます。
  プリンタドライバからの設定は、操作パネルからの設定より優先されます。プリンタドライバから設定できない項目については操作パネルから設定します。

給紙方法の設定とプリンタ本体のレリースレバーの設定が合っていないと印字不良や紙詰まりの原因となります。正しく設定してください。

操作パネルからの設定

ここでは、操作パネルからのプリンタ設定値の変更の仕方について説明します。

ポイント

- プリンタドライバ上からも設定できる項目については、プリンタドライバでの設定が優先されます。
- Windows 環境でお使いの場合は、プリンタドライバの用紙サイズの設定が実際の用紙と合致していることを確認してください。

設定項目

操作パネルを使用して以下の設定値を変更することができます。
＊の付いている設定値が出荷時の初期設定です。

設定項目	設定値	説　明
文字コード表 *1	カタカナ＊	「カタカナコード表」の文字を使って英数カナ文字を印字します。国内の DOS アプリケーションソフトを使用するときは、ほとんどの場合このコード表を選択します。
	拡張グラフィックス	「拡張グラフィックスコード表」の文字を使って英数カナ文字を印字します。海外版のDOSアプリケーションソフトを使用するときはこのコード表を選択します。
	マルチリンガル	「マルチリンガルコード表」の文字を使って印刷します。
	マルチリンガルユーロ	「マルチリンガルユーロコード表」の文字を使って印刷します。
文字品位	高品位＊	英数カナ文字を高品位文字で印字します（DOS 環境下で有効）。
	ドラフト	英数カナ文字をドラフト文字で印字します（DOS 環境下で有効）。
フロントトラクタのページ長	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	フロントプッシュトラクタを使用して給紙した連続紙のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく機能するように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください（DOS 環境下で有効）。
リアトラクタのページ長	4、5.5、6、7、8、8.5、11＊、70/6、12、14、17 インチ	リアプッシュトラクタを使用して給紙した連続紙のページ長（ミシン目から次のミシン目までの長さ）を設定します。改ページ、ティアオフ機能、ミシン目スキップが正しく機能するように、使用する連続紙に合ったページ長を設定してください（DOS 環境下で有効）。

設定項目	設定値	説　明
ミシン目スキップ	オン	連続紙のミシン目の前後 25.4 mm｛1 インチ｝の範囲には印刷しません。DOS アプリケーションソフトで上下マージンが設定できない場合でも、ミシン目にかからないように印刷したい場合に設定します。
	オフ＊	連続紙使用時に、アプリケーションソフトで上下マージンをゼロに設定してページいっぱいに印刷すると、ミシン目に関係なく続けて印刷します。通常はアプリケーションソフトで上下マージンを設定しますので、［オフ］のまま印刷してもミシン目で印刷が途切れることはありません。 Windows の環境でお使いの場合は［オフ］にしてください。
自動ティアオフ	オン	印刷の終了や開始に合わせて自動的にティアオフ機能が働きます。 本書 103 ページ「自動ティアオフ機能」
	オフ＊	自動ティアオフ機能は働きません。連続ラベル紙を使用するときは必ず［オフ］に設定してください。
自動改行	オン	キャリッジリターン（CR）コードに対して、自動的に改行（LF）コードを付け加えます。使用するオペレーティングシステムやソフトウェアによっては、改行しないで同じ行に印刷し続ける場合がありますが、このような場合に改行させるには［オン］に設定します。
	オフ＊	キャリッジリターン（CR）コードに対して、改行（LF）コードを付け加えません。DOS や Windows などのオペレーティングシステムで印刷する場合は、［オフ］のまま使用します。
印字方向	双方向＊	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷しますので、より速く印刷できます。文字の高速印刷に適しています。
	単方向	プリントヘッドが右方向へ移動するときだけ印刷しますので、縦方向の印刷がより正確になります。グラフィックの印刷に適しています。
	自動	1 文字を数回に分けて印字する場合で、双方向より印字品質を向上させたいときに自動を選択します。
ESC/P スーパー	オン	ESC/P と PCPR201H（エミュレーションモード）を自動判別します。PCPR201H モードで印刷するときは［オン］に設定します。
	オフ＊	ESC/P で印刷するときは［オフ］に設定します。
ゼロスラッシュ	オン	「0」の書体を「ø」として印刷します [*1]。
	オフ＊	「0」の書体を「0」として印刷します。

設定項目	設定値	説　明
I/F[*2] 選択	自動＊	データを受信するインターフェイスを自動的に選択します。選択したインターフェイスに送られたデータが終了するか、インターフェイス固定解除時間の設定した時間になると、インターフェイスの選択が解除されます。［自動］では、最大 3 つのインターフェイスからデータを受信することができます。
	パラレル	標準のパラレルインターフェイスを使用します。
	USB	標準の USB インターフェイスを使用します。
	オプション	オプションのインターフェイスを使用します。オプションのインターフェイスカードが装着されている場合のみ選択できます。
I/F 固定解除時間	10 秒＊	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 10 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
	30 秒	インターフェイス（自動）のとき自動選択したインターフェイスに 30 秒間データが送られてこない場合にそのインターフェイスの選択を解除します。
双方向通信	オン＊	コンピュータとの双方向通信を行います。
	オフ	コンピュータとの双方向通信を行いません。
パケット通信	自動＊	双方向通信が設定されている場合、パケット通信を行います。通常は［自動］を設定してください。Windows プリンタドライバをお使いの場合は、［自動］のままでお使いください。
	オフ	パケット通信を行うと、ホストとの接続性や印字結果に支障がある（不具合が発生する）場合や、DOS アプリケーションソフトなどからの印字で通信がうまくいかない場合に［オフ］に設定してパケット通信を停止します。
手差し待ち時間	1 秒、1.5 秒＊、2 秒、3 秒	用紙を用紙ガイドにセットしてから印刷開始位置へ給紙するまでの時間を設定します。
ブザー鳴動	オン＊	ブザーが鳴ります。
	オフ	ブザーは鳴りません。
低騒音モード	オン	印字スピードを約 1/2 に落として、印字時に発生する音を低減します。
	オフ＊	通常の印字スピードで印字します。

*1 Windows で TrueType フォントを使用するときは無効です。
*2 I/F：インターフェイスを省略して I/F と表記します。

設定値の変更の方法

設定項目ごと印刷しながら設定を変更します。設定には単票紙（A4 縦、B5 縦）、または連続紙が必要です。
ここでは、A4 縦の用紙に印刷する手順を例に説明します。

設定一覧の印刷

1. **[電源] スイッチをオンにします。**

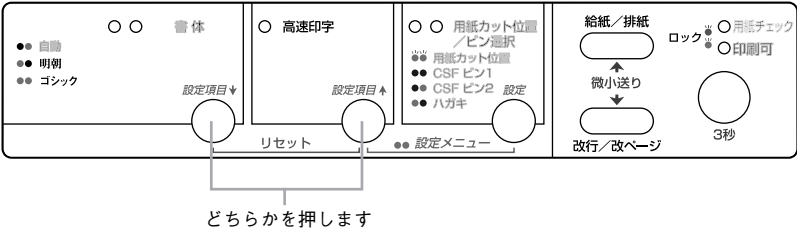
2. **[設定項目↑] スイッチと [設定] スイッチを同時に押します。**
ブザーが鳴り、［用紙カット位置 / ビン選択］ランプが 2 つとも点灯したら、スイッチから指を離してください。

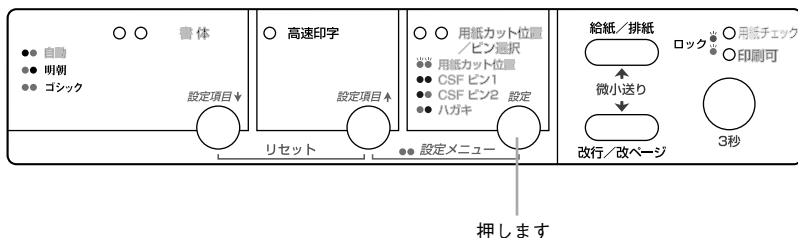
3. **プリンタに用紙をセットします。**
A4 縦の単票紙を 1 枚プリンタにセットしてください。
本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」
プリンタカバーを開けて、用紙先頭部分に「現在設定一覧を印刷しますか？」と印字されていることを確認してください。

4. **［設定］スイッチを押します。**
設定一覧が印刷されます。
出力された設定一覧を確認し、設定値を変更する必要がない場合は、［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチを同時に押して設定変更モードを終了します。

設定値を変更する場合は、以下の手順に進んでください。

設定値の変更方法

5. **［設定項目↑］または［設定項目↓］スイッチを押して、設定項目を選択します。**
選択された設定項目と現在の設定値が印字されます。

6 **設定値を変更する設定項目で、［設定］スイッチを押します。**

［設定］スイッチを押すごとに、設定値が変更されて印字されます。変更したい設定値が印字されるまで［設定］スイッチを押します。

ほかの設定項目の設定を変更する場合は、5 と 6 の手順を繰り返します。

7 **設定が終了したら、［設定項目↑］スイッチと［設定］スイッチを同時に押します。**

ブザーが鳴り、［用紙カット位置 / ピン選択］ランプが 2 つとも消灯したら、設定が記憶されます。

以上で設定値の変更方法は終了です。

操作パネルからの設定を制限する（パネルロックアウトモード）

操作パネルから設定した以下の項目を、誤って設定値を変更しないように設定項目をそれぞれロックすることができます。

設定をロックできる項目		
給紙機能	用紙カット位置機能	高速印字機能
排紙機能	ピン選択機能	印刷可機能
改行機能	微調整機能	リセット機能
改ページ機能	書体機能	設定メニュー機能

制限されている内容一覧の印刷

1 **［電源］スイッチをオフにします。**

2 **［改行 / 改ページ］スイッチと［印刷可］スイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**

3 **プリンタに用紙をセットします。**

A4 縦の単票紙を 1 枚プリンタにセットしてください。

本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」

プリンタカバーを開けて、用紙先端部分に「現在設定一覧を印刷しますか？」と印字されていることを確認してください。

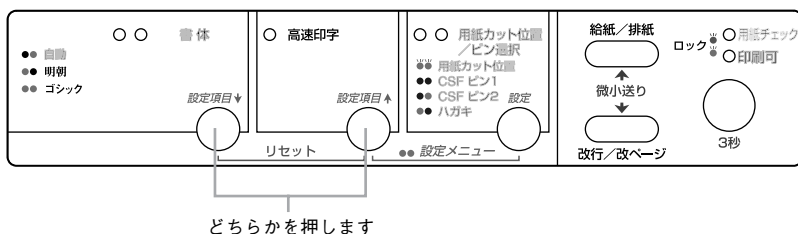
4 ［設定］スイッチを押します。

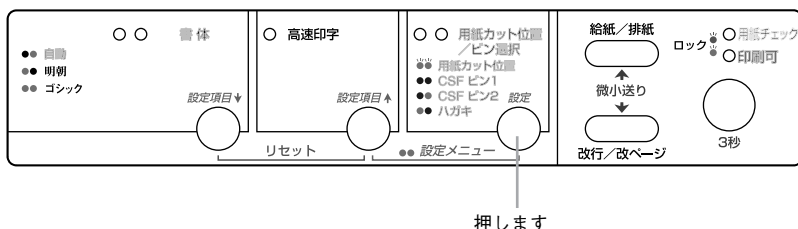
設定制限されている項目一覧が印刷されます。
出力された一覧表を確認し、設定値を変更する必要がない場合は、［電源］スイッチをオフにします。

設定値を変更する場合は、以下の手順に進んでください。

操作パネルの設定制限の変更方法

5 ［設定項目↑］または［設定項目↓］スイッチを押して、設定項目を選択します。

選択された設定項目と現在の設定が印字されます。

6 設定を変更する設定項目で、［設定］スイッチを押します。

［設定］スイッチを押すごとに、設定（オフ：無効 / ロック：有効）が変更されて印字されます。

ほかの設定項目の設定を変更する場合は、5 と 6 の手順を繰り返します。

7 設定が終了したら、［電源］スイッチをオフにします。

設定が記憶されます。
以上で操作パネルの設定制限の変更方法は終了です。

操作パネルからの設定制限（パネルロックアウト）をオン / オフする

操作パネルからの設定制限（パネルロックアウト）自体をオン（ロック）/ オフすることができます。
［給紙 / 排紙］スイッチと［印刷可］スイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。

16 進ダンプ印刷

16 進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷する機能です。正しくデータが送られているか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに便利です。

1. ［改行 / 改ページ］スイッチと［給紙 / 排紙］スイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。

2. 用紙がセットされていない場合は、ブザーが３回鳴り、［用紙チェック］ランプが点灯します。用紙をセットしてください。

3. コンピュータからプリンタへデータを送ります。
受信したデータは、16 進数とそれに対応する英数カナ文字で印刷されます。

- 印刷終了時プリンタ内に用紙が残った場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して排紙します。
- 印刷を中止する場合は、［印刷可］スイッチを押します。再度［印刷可］スイッチを押すと印刷を再開します。

4. ［電源］スイッチをオフにします。

- 用紙がなくなると印字を中断します。この場合は、［電源］スイッチをオフにしないで新しい用紙を給紙します。
- ［高速印字］スイッチ、［書体］スイッチは操作できません。

オプションと消耗品

オプションと消耗品の紹介

本製品で使用できる、オプション（別売品）と消耗品の紹介をします。以下の記載内容は 2005 年 7 月現在のものです。

インターフェイスケーブル

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、ご利用のコンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるケーブルは次の通りです。EPSON 純正品のご使用をお勧めします。

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備考
DOS/V系	EPSON IBM、富士通、 東芝、他各社	DOS/V 仕様機	PRCB4N	
	NEC	PC-98NX シリーズ		

ポイント

- NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/N シリーズは NEC 製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ (ハードウェアキー) などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、データ転送が正常にできない場合があります。

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本製品の USB インターフェイスを接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

型番	名　称
USBCB2	プリンタケーブル

ポイント

USB ハブ* を使用して接続する場合は、コンピュータに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続してご使用いただくことをお勧めします。また、お使いのハブによっては動作が不安定になるものがありますので、そのような場合はコンピュータの USB ポートに直接接続してください。

* ハブ（HUB）：複数のコンピュータをネットワークへ接続するための中継機。

インターフェイスカード

シリアルインターフェイスの転送方式でデータを送るときは、オプションのインターフェイスカードを取り付けます。

☞ 本書 150 ページ「インターフェイスカードの取り付け」

型　番	名　称
VPIF3	シリアル I/F カード

カットシートフィーダ

単票紙を連続して印刷することができます。カットシートフィーダの詳細については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 136 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」

型　番	名　称
VP880CSFA	カットシートフィーダ　単票紙用
VP880CSFB	カットシートフィーダ　ハガキ対応

トラクタユニット

標準のトラクタユニットと組み合わせて使用することにより、連続紙の紙送り精度を向上させます。トラクタユニットの取り付け方法などにつきましては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 94 ページ「トラクタユニットの付け替え」

型　番	名　称
VP880TU	トラクタユニット

リボンカートリッジ

リボンカートリッジは消耗品です。印字が薄くなったら新品と交換してください。

☞ 本書 131 ページ「リボンカートリッジの交換」

型　番	名　称
VP880RC	リボンカートリッジ（黒）

リボンカートリッジの交換

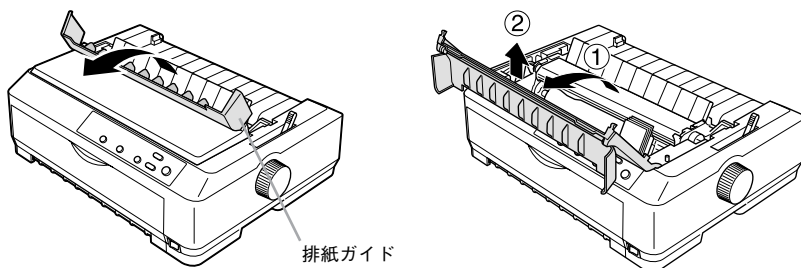
インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなった場合などには、次の手順に従ってリボンカートリッジを交換してください。

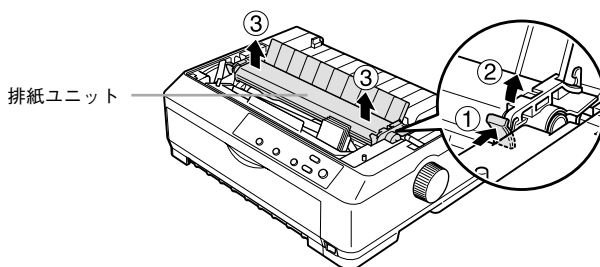
⚠注意
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。
- プリンタの電源がオンの状態でリボンカートリッジを交換すると故障の原因になりますので、必ず電源がオフの状態で行ってください。

リボンカートリッジは純正品（型番：VP880RC）をご使用になることをお勧めします。

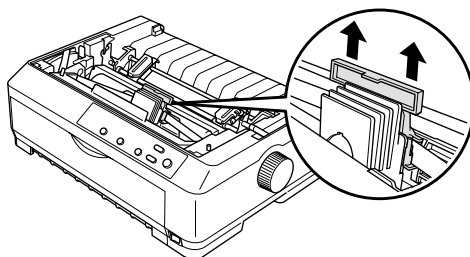
1 ［電源］スイッチをオフにします。

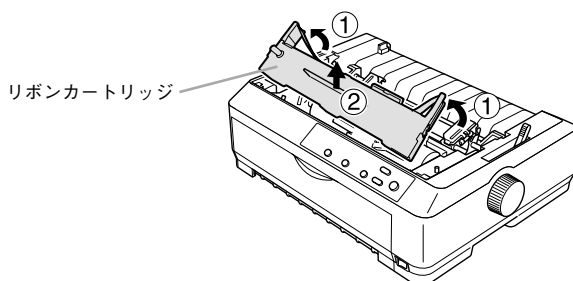
2 プリンタカバーを取り外します。

排紙ガイドを手前に倒してから、プリンタカバーを手前に起こして上に引き抜きます。

3 排紙ユニットを取り外します。

排紙ユニット両側のレバーを後方に押しながら、そのまま回転させるようにして取り外します。

⚠注意
プリンタを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

4 **リボンガイドをプリントヘッドから取り外します。**

リボンガイドを上部の両端を持ち、引き抜きます。

5 **リボンカートリッジを取り外します。**

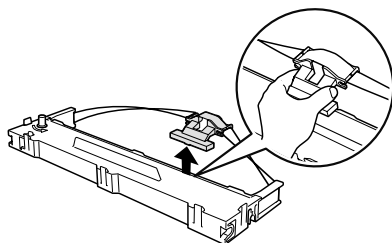
リボンカートリッジを持ち、手前に起こすようにして取り外します。

弊社では、環境保全活動の一環として、「使用済みカートリッジ回収ポスト」を全国の一部パソコンショップに設置し、使用済みカートリッジの回収、再資源化に取り組んでいます。使用済みリボンカートリッジは、ぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

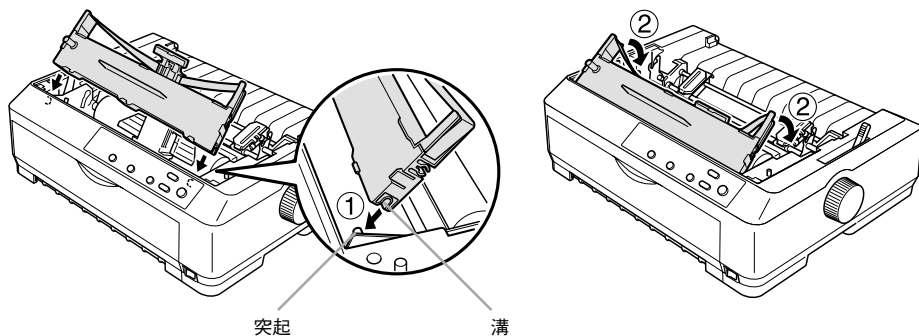
回収ポストの設置店は、以下のホームページ上で確認できます。

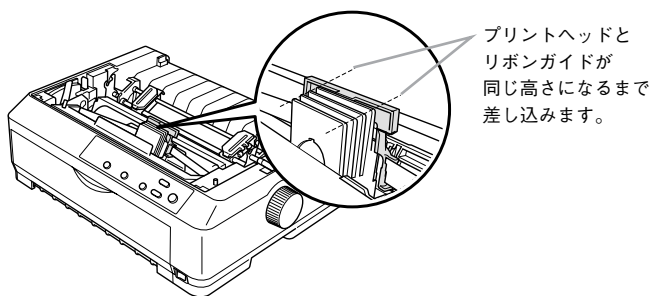
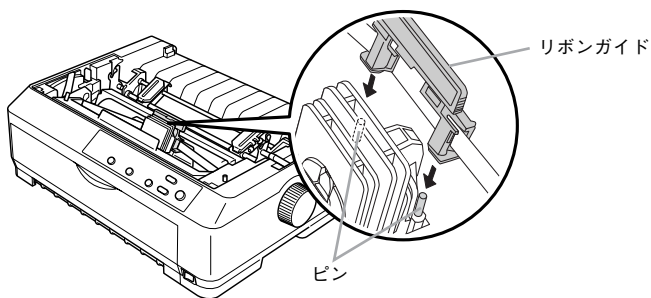
http://www.epson.jp

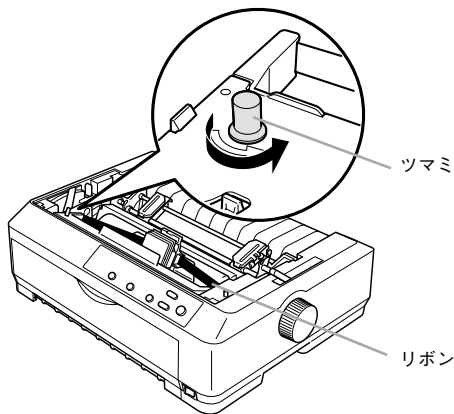
回収できないときは、ポリ袋などに入れて地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

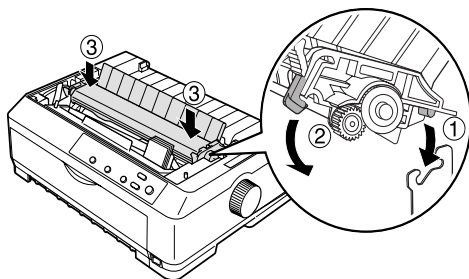
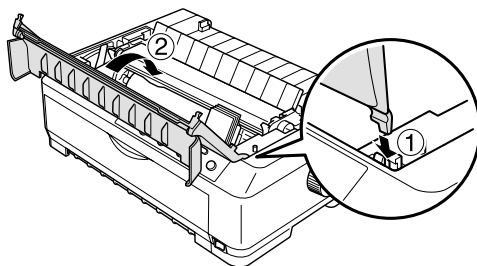
6 **新しいリボンカートリッジを袋から取り出して、リボンガイドを外します。**

リボンカートリッジに固定されているリボンガイドを下図のようにつまんで、カートリッジから外します（外すだけで取り外す必要はありません）。

7 **リボンカートリッジを取り付けます。**

プリンタ両側の突起にリボンカートリッジの溝を合わせて、合わせた部分を支点にして固定されるまで奥に倒し込みます。カートリッジの両端を軽く押して、傾き、がたつきのないことを確認してください。

8 **インクリボンのリボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。**

リボンガイドの穴をプリントヘッドの両側のピンに通して取り付けます。

9 **リボンのたるみを取ります。**

再びリボンカートリッジのツマミを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。

⑩ 排紙ユニットを取り付けます。

排紙ユニット両側のフックをプリンタ側にひっかけ、排紙ユニットの下部を押し込むようにして固定します。

⑪ プリンタカバーを取り付け、閉じます。

以上でリボンカートリッジの交換は終了です。

カットシートフィーダの取り付けと使い方

カットシートフィーダは、単票紙を連続して給紙することのできるオプションです。カットシートフィーダには以下の2種類があります。カットシートフィーダBはハガキにも対応しています。

- カットシートフィーダA（型番：VP880CSFA）
- カットシートフィーダB（型番：VP880CSFB）

仕様

使用できる用紙

カットシートフィーダ	紙種	用紙幅（mm）	用紙長（mm）	用紙厚（mm）	容量
VP880CSFA （単票専用）	上質紙 再生紙	182 ～ 216	210 ～ 364	0.07～ 0.14	最大 50 枚 （70kg/ 紙）
VP880CSFB （ハガキ対応）	上質紙 再生紙	100 ～ 216	100 ～ 364	0.07～ 0.14	最大 150 枚 （70kg/ 紙）
	ハガキ	100	148	0.22	50 枚以下 165kg 相当

外形寸法と重量

	外形寸法	質量
カットシートフィーダA装着時	414 x 445 x 386mm	約 7.7Kg
カットシートフィーダB装着時	414 x 434 x 378mm	約 8.4Kg
カットシートフィーダ A+B 装着時	414 x 564 x 408mm	約 9.0Kg

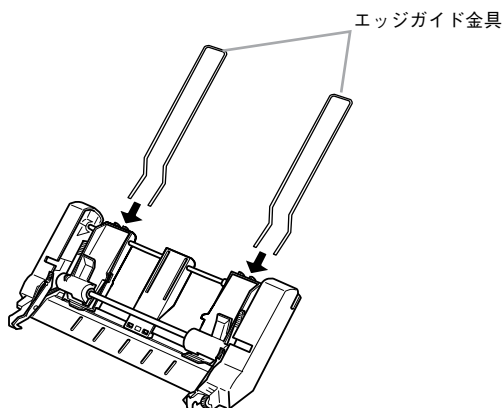
カットシートフィーダA：約 0.6Kg
カットシートフィーダB：約 1.3Kg

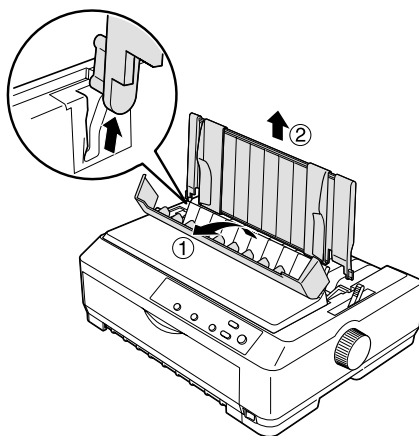
カットシートフィーダの取り付け

カットシートフィーダをプリンタに取り付けます。

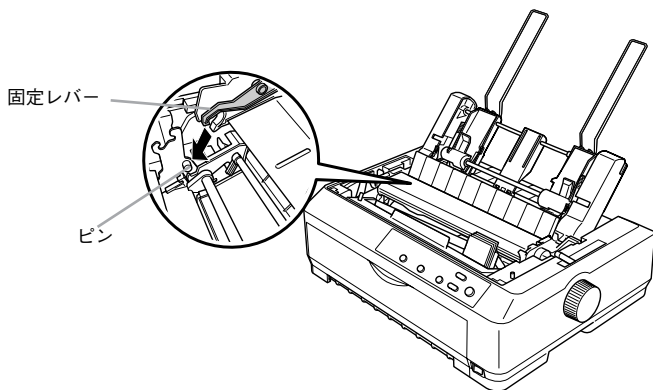
カットシートフィーダ A

1 **カットシートフィーダを組み立てます。**

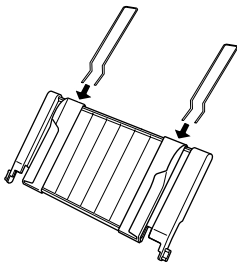
カットシートフィーダにエッジガイド金具を取り付けます。

2 **プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから、用紙ガイド（後）を取り外します。**

排紙ガイドを手前に倒し、用紙ガイド（後）を手前に倒してから上に引き抜きます。

- トラクタユニットがプルトラクタ位置にある場合は、取り外してください。
- リアトラクタで連続紙を使用する場合は、カットシートフィーダを取り付ける前に連続紙をセットします。

3 カットシートフィーダを取り付けます。

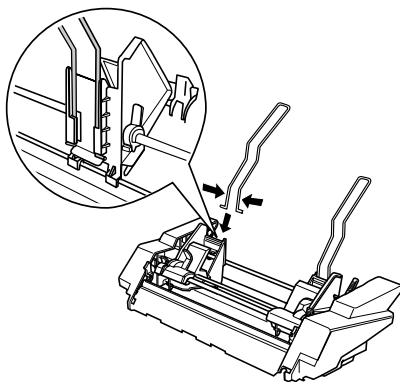
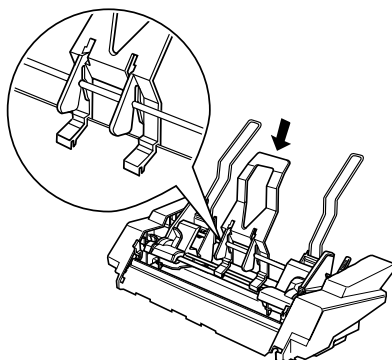
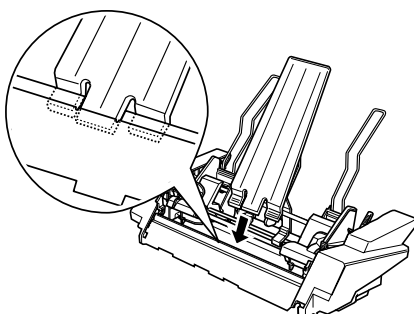
カットシートフィーダを両手で持ち、少し手前に傾けた状態で左右のカットシートフィーダ固定レバーの先端をプリンタ内部のピンに合わせて差し込みます。

カットシートフィーダを取り外すときは、プリンタの電源をオフにした後、取り付けと逆の順序で行ってください。

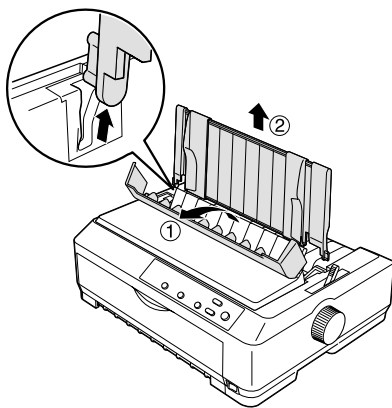
4 必要に応じて、用紙ガイド（後）にスタッカ金具を取り付けます。

カットシートフィーダ A に同梱されているスタッカ金具を取り付けます。

以上でカットシートフィーダ A の取り付けは終了です。

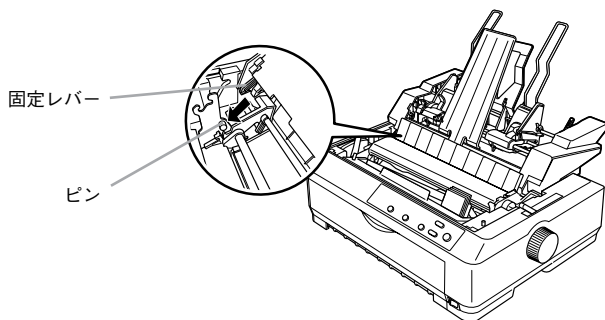
カットシートフィーダ B

1 カットシートフィーダを組み立てます。

①エッジガイド金具を少し内側に狭めて、左右のエッジガイドに取り付けます。

②用紙サポートを取り付けます。

③スタッカサポートを図のように取り付けます。

2 **プリンタの［電源］スイッチがオフになっていることを確認してから、用紙ガイド（後）を取り外します。**

排紙ガイドを手前に倒し、用紙ガイド（後）を手前に倒してから上に引き抜きます。

- トラクタユニットがプルトラクタ位置にある場合は、取り外してください。
- リアトラクタで連続紙を使用する場合は、カットシートフィーダを取り付ける前に連続紙をセットします。

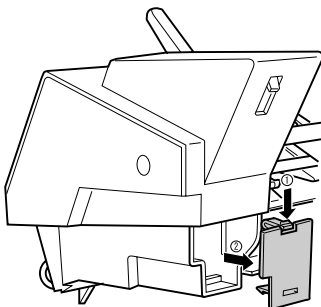
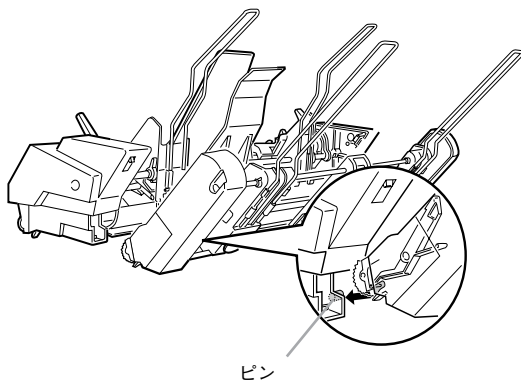
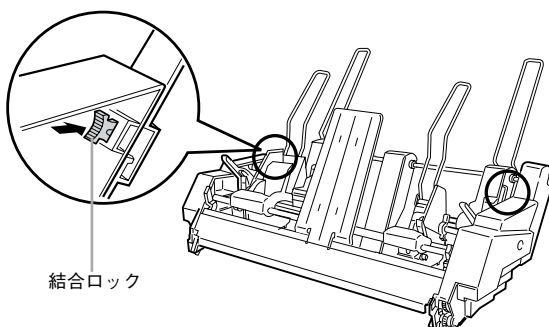
3 **カットシートフィーダを取り付けます。**

カットシートフィーダを両手で持ち、少し手前に傾けた状態で左右のカットシートフィーダ固定レバーの先端をプリンタ内部のピンに合わせて差し込みます。

カットシートフィーダを取り外すときは、プリンタの電源をオフにした後、取り付けと逆の順序で行ってください。

以上でカットシートフィーダＢの取り付けは終了です。

ダブルビンカットシートフィーダ

カットシートフィーダＡとカットシートフィーダＢの２つを組み合わせて使用することもできます。

1. カットシートフィーダＢの後ろのカバーを取り外します。

2. カットシートフィーダＢの後ろのピンにカットシートフィーダ Ａを取り付けます。

3 カットシートフィーダB にある左右の結合ロックを押し、2 つのカットシートフィーダを結合します。

4 ダブルビンカットシートフィーダを取り付けます。

プリンタへの取り付け方法は、カットシートフィーダB と同じです。

本書 137 ページ「カットシートフィーダの取り付け」

用紙のセット方法はそれぞれのカットシートフィーダと同じです。

本書 143 ページ「カットシートフィーダの使い方」

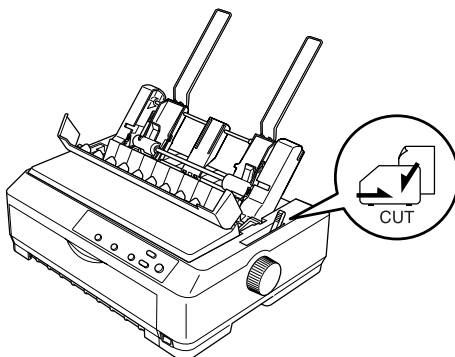
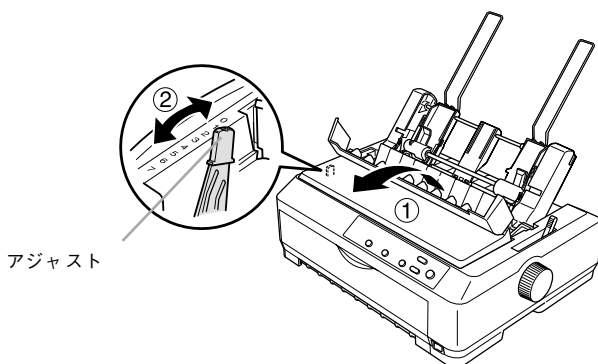
- 給紙装置の選択は、［用紙カット位置］スイッチまたはコントロールコードで行います。カットシートフィーダ A は［ビン 2］、カットシートフィーダ B は［ビン 1］となります。
- カットシートフィーダを取り外すときは、プリンタの電源をオフにした後、取り付けと逆の手順で行ってください。

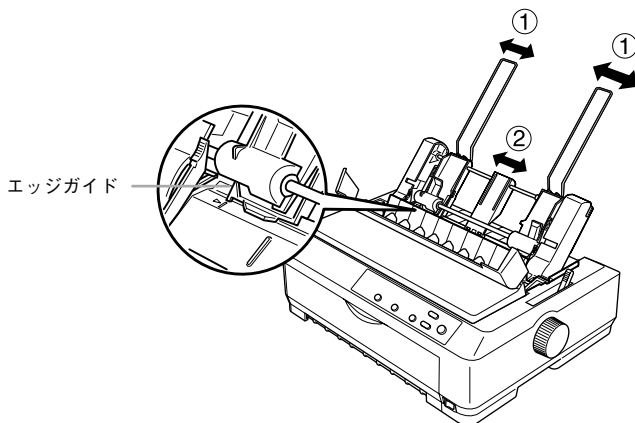
カットシートフィーダの使い方

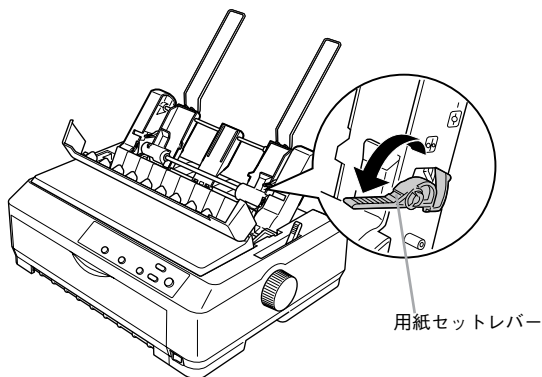
カットシートフィーダに単票紙やハガキをセットします。
カットシートフィーダ使用時でも連続紙を使用できます。
本書 115 ページ「連続紙（プッシュトラクタ）と単票紙の切り替え」

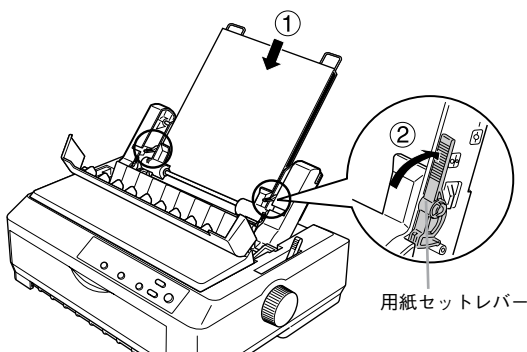
カットシートフィーダ A

カットシートフィーダ A には、単票紙を最大 50 枚（70kg/ 紙）セットできます。

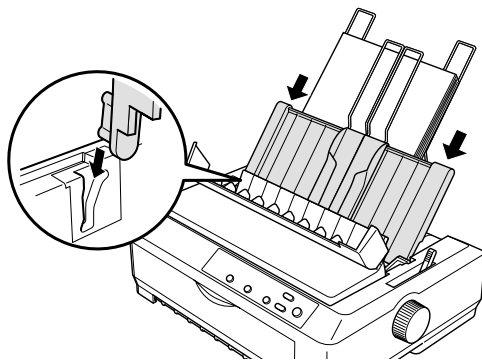
1. **プリンタの［電源］スイッチをオフにしてから、レリーズレバーを単票紙（CUT）位置に設定します。**

2. **プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。**
本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

3 カットシートフィーダのエッジガイドの位置を調整します。

カットシートフィーダのエッジガイド（左）の位置をマーク（ ）に合わせてからカットシートフィーダのエッジガイド（右）の位置を用紙の幅に合わせて移動します。

カットシートフィーダのセンターサポートは、用紙幅に合わせたエッジガイド（右）および（左）の中央に合わせてください。センターサポート位置が片寄っていると正しく給紙されないことがあります。

4 用紙セットレバーを手前に倒します。

5 **用紙をセットします。**

用紙はよくさばいてから用紙の端をそろえ、用紙をセットします。
カットシートフィーダのエッジガイド（右）を用紙の側面に軽くあて左右の用紙セットレバーを起こします。

用紙とカットシートフィーダのエッジガイドとの間にすき間がある場合は、カットシートフィーダのエッジガイド（左）を右へ動かしてすき間をなくしてください。カットシートフィーダのエッジガイドを用紙に強く押し付けた状態で給紙すると、給紙不良を起こすことがあります。

6 **用紙ガイドをカットシートフィーダに取り付けます。**

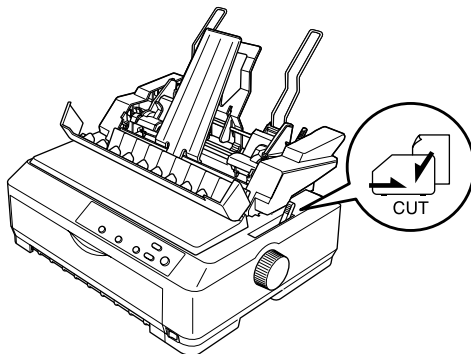
エッジガイドは中央に寄せてください。

カットシートフィーダから給紙された用紙は、用紙ガイド上に排紙されます。用紙ガイドで保持できる用紙枚数は、カットシートフィーダにセットできる用紙容量（紙厚 5mm 以下）の約半分の用紙枚数（紙厚 2.5mm 以下）です。

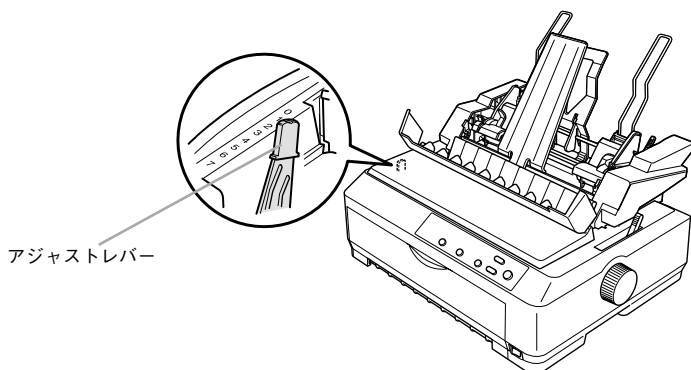
7 **［電源］スイッチをオンにします。**

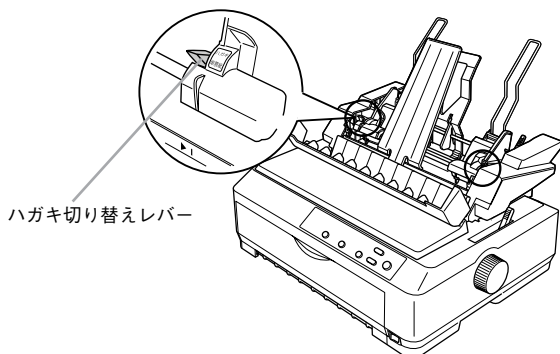
コンピュータからデータを送ると、自動的に給紙して印刷されます。給紙されない場合は、操作パネルのピン選択が合っているかを確認してください。

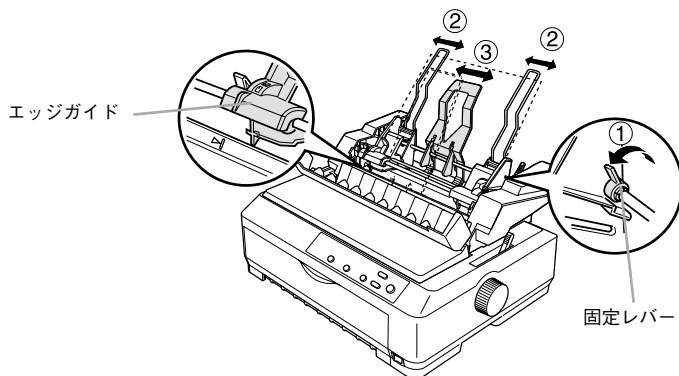
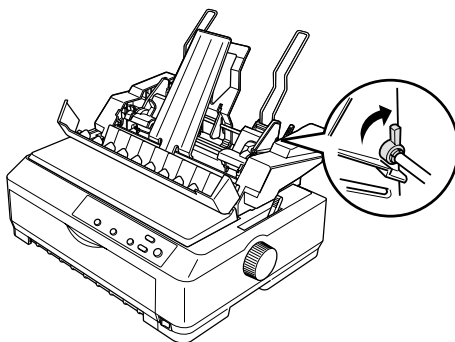
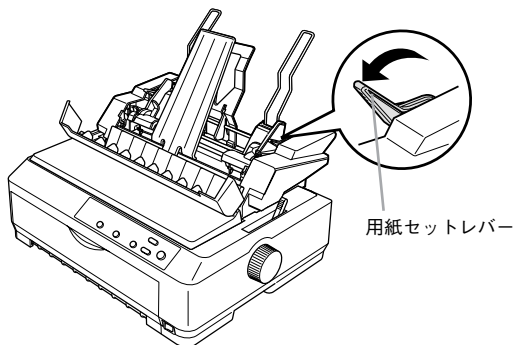
カットシートフィーダ B

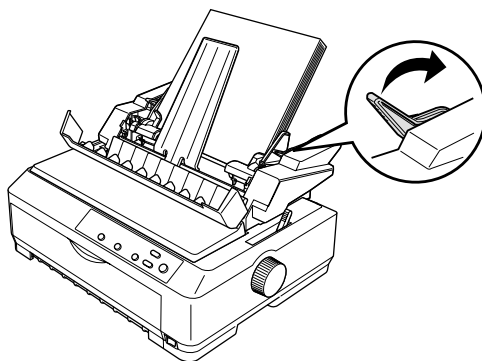
カットシートフィーダ B には、単票紙を最大 150 枚（70kg/ 枚）、ハガキを最大 50 枚（165kg 以下）セットすることができます。

1. ［電源］スイッチをオフにしてから、レリースレバーを単票紙（CUT）位置に設定します。

2. プリンタカバーを開け、使用する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。

本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

3 **エッジガイド左右のハガキ切り替えレバーの位置を確認します。**

切り替えレバーは、単票紙をセットする場合は「単票紙」、ハガキをセットする場合は「ハガキ」の位置にしてください。

4 **カットシートフィーダのエッジガイドの位置を調整します。**

固定レバーを手前に倒してから①、エッジガイド（左）の位置をマーク（▷|）に合わせ②、エッジガイド（右）の位置を用紙の幅に合わせて移動します③。

5 **固定レバーを後ろに倒して固定します。**

6 **用紙セットレバーを手前に倒します。**

7 **用紙をセットします。**

用紙はよくさばいてから用紙の端をそろえ、用紙をセットします。
カットシートフィーダのエッジガイド（右）を用紙の側面に軽くあて、左右の用紙セットレバーを後ろに倒します。

セットした用紙が多すぎると、用紙セットレバーを完全に閉じることができません。用紙枚数を減らしてください。

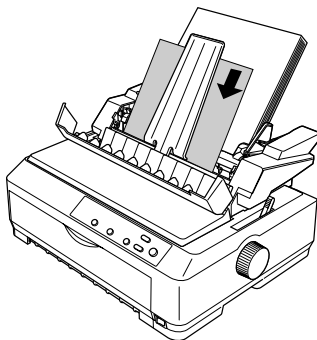
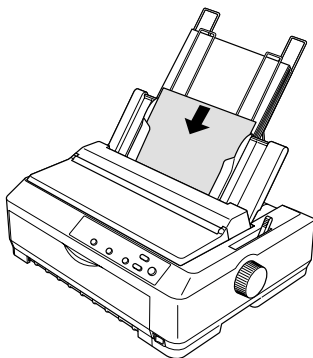
8 **［電源］スイッチをオンにします。**

コンピュータからデータを送ると、自動的に給紙して印刷されます。給紙されない場合は、操作パネルのビン選択が合っているかを確認してください。

カットシートフィーダ装着時の単票紙の手差し給紙

カットシートフィーダを取り付けたまま、単票紙を用紙ガイド（前）またはカットシートフィーダから手差し（1 枚ずつ）給紙することができます。用紙ガイド（前）からの給紙については、以下のページを参照してください。

本書 108 ページ「単票紙のセット」

- カットシートフィーダ A を取り付けたまま手差し給紙する場合は、用紙ガイド（後）を取り付けて用紙をセットしてください。
- カットシートフィーダ B を取り付けたまま手差し給紙する場合は、スタッカサポートとエッジガイドの間に用紙を 1 枚ずつセットしてください。

印刷が 1 枚を超える場合、2 枚目からは自動的にカットシートフィーダから給紙されます。2 枚以上の用紙を続けて手差し給紙するときは、カットシートフィーダの用紙セットレバーを手前に倒して、カットシートフィーダから給紙できないようにしてください。

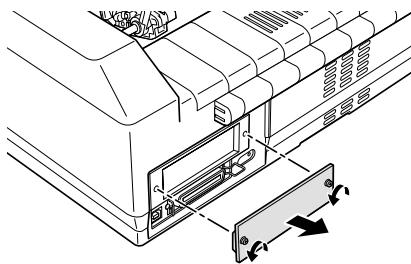
インターフェイスカードの取り付け

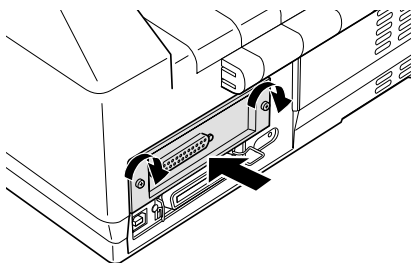
オプションのインターフェイスカードを取り付けます。

1 **［電源］スイッチをオフにしてから、電源プラグをコンセントから抜き、プリンタに接続されているインターフェイスケーブルを取り外します。**

プリンタの電源がオンの状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源をオフにして行ってください。

2 **オプションインターフェイス用のコネクタカバーを取り外します。**

プラスドライバでネジ（2 個）をゆるめてからカバーを外します。

3 **インターフェイスカードを差し込みます。**

インターフェイスカードのコネクタとプリンタ内部のコネクタを合わせるように差し込み、両端のネジでインターフェイスカードを固定します。

シリアルインターフェイスカードについて

本製品にシリアルインターフェイスカードを取り付けて使用する場合の転送速度、X-ON/OFF および DTR 送出タイミング、エラー処理は以下の通りです。

転送速度

300BPS、600BPS、1200BPS、2400BPS、4800BPS、9600BPS、19200BPS

X-ON/OFF および DTR 送出タイミング

X-OFF コードおよびDTR 信号の出力	入力データバッファの空き容量が 256 バイト以下になったとき。
X-ON コードおよび DTR 信号の出力	入力データバッファの空き容量が 512 バイト以下になったとき。

エラー処理

パリティエラーが発生した場合	" * " を印字します。
その他のエラーが発生した場合	オーバーランエラーやフレーミングエラーなどは無視します。

シリアルインターフェイスカードについて詳しくは、シリアルインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

困ったときは

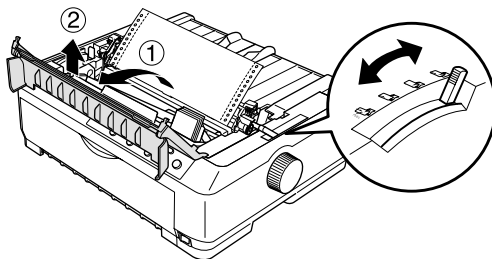
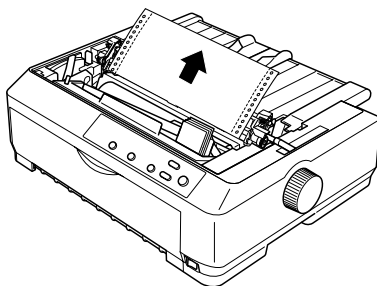
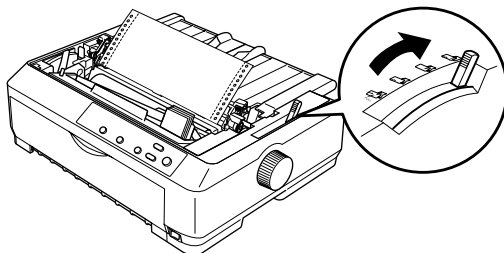
用紙が詰まったときは

プリンタ内部で用紙が詰まった場合は、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

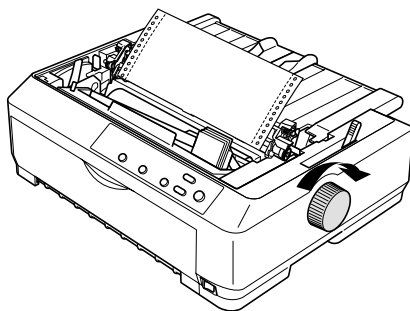
⚠注意	印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

連続紙の場合

1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. **プリンタカバーを開けて、給紙方法に合わせてレリースレバーを設定します。**
   細部をご覧いただくために、以降のイラストはプリンタカバーを取り外した状態のものを使用していますが、プリンタカバーを取り外す必要はありません。

3. **詰まっている用紙を取り除きます。**
   詰まっている用紙を完全に取り除いた場合は、6 へ進みます。上記の方法で取り除けなかった場合、またはプリンタ内に紙くずが残ってしまった場合は、4 に進んでください。

4 **レリースレバーを一旦単票紙（ ）位置に戻します。**

5 **紙送りノブを時計回りに回して用紙を取り除きます。**

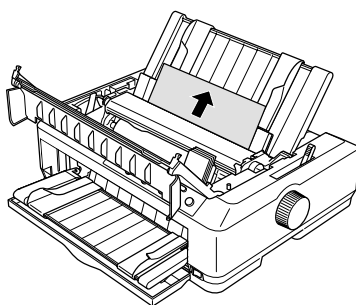
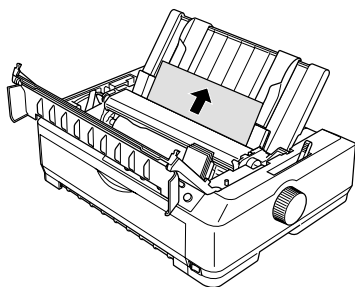
紙送りノブをゆっくりと回しながら、用紙を静かに引き抜きます。

- 紙送りノブを回すときは、必ず電源をオフにしてください。
- ラベル紙は給紙方向と逆方向に引き抜かないでください。ラベル紙がプリンタ内部に貼り付くことがあります。ラベル紙を取り除く場合は、ラベル紙がプリンタに給紙される手前で切り離してからノブを時計回りに回して用紙を送ってください。

6 **［電源］スイッチをオンにして、用紙をセットし直します。**

7 **プリンタカバーを閉じます。**

単票紙の場合

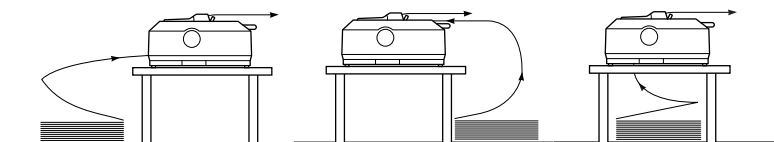
1. ［電源］スイッチをオフにします。

2. **詰まっている用紙を引き抜きます。**
プリンタカバーを開けて、プリンタ内部に用紙が残っていないか確認してください。ラベル紙を使用している場合は、ラベルが残っていないか確認してください。

3. プリンタカバーを元に戻します。

4. ［電源］スイッチをオンにして、用紙をセットし直します。

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、次の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
  本書 65 ページ「使用可能な用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。また、連続紙の置き方に注意してください。
  本書 78 ページ「連続紙のセットと排紙」
  本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」

- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- カットシートフィーダ（オプション）に用紙をセットするときは、用紙をよくさばき、端をそろえてセットしてください。
- 許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- カットシートフィーダからの連続給紙において、最後の1枚が給紙されないことがあります。カットシートフィーダの用紙が少なくなったら、残っている用紙を一旦取り出して、新しい用紙を足してセットし直してください。用紙が残っている状態で新しい用紙をセットすると、同時に複数枚の用紙が送られてしまい、用紙詰まりの原因となることがあります。
- 連続ラベル紙を使用する場合は、用紙がなるべく直線になるような給紙経路にしてください。
  本書 78 ページ「連続紙のセットと排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れていないことを確認してください。

ランプが点灯しない

[電源] スイッチをオンにしても操作パネルのランプが 1 つも点灯しないときは、次の 3 点を確認してください。

電源がコンセントから抜けていませんか?

電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。

コンセントがスイッチ付きの場合は、スイッチをオンにします。
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。

正しい電圧(AC100V、15A)のコンセントに接続していますか?

コンセントの電圧を確認して、正しい電圧で使用してください。

以上 3 点を確認の上で [電源] スイッチをオン(|)にしてもランプが点灯しない場合は、保守契約店または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては以下のページを参照してください。

本書 221 ページ「保守サービスのご案内」

ランプが点灯していても印刷できない

リボンカートリッジの取り付けを確認しましょう

リボンカートリッジが正しく取り付けられていますか？

以下のページを参照してリボンカートリッジを正しく取り付けてください。

本書 131 ページ「リボンカートリッジの交換」

プリンタとコンピュータの接続を確認しましょう

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

コネクタのピンが折れたりしていませんか？

コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本製品の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

本書 129 ページ「インターフェイスケーブル」

コンピュータとプリンタはケーブルで直接接続していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファおよび延長ケーブル、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）を使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できないことがあります。

プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直接接続し、正常に印刷できるか確認してください。

プリンタドライバが正しくインストールされているか確認しましょう

本製品用のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

本製品用の Windows（Windows 3.1/NT3.51 を除く）プリンタドライバがコントロールパネルやアプリケーションで、通常使うプリンタとして選択されているか確認してください。

①［スタート］メニューから［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダを開きます。

☞ 50 ページ

②使用するプリンタ名を選択し［ファイル］メニューを確認します。

［通常使うプリンタ］の設定になっているか確認します。

Windows 3.1/NT3.51 の場合は、プリントマネージャにプリンタが登録されていることを確認してください。

プッシュ / プルトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない

Windows NT4.0/2000/XP/Vista でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP /Vista の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本製品のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

エラーが発生していないか確認しましょう（プリンタ側）

［印刷可］ランプが点滅して印刷しない、あるいは印刷が突然止まった場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。

［印刷可］ランプが消えていませんか？

［印刷可］スイッチを押して［印刷可］ランプを点灯させてください。

用紙がなくなっていませんか？

用紙をセットしてください。用紙をセットし直したときは、一旦［電源］スイッチをオフにしてからしばらく待ち、再度［電源］スイッチをオンにしてください。

レリースレバーの設定が合っていますか？

レリースレバーの設定を確認してください。給紙する用紙に合わせて正しく設定してください。

本書 77 ページ「給紙経路の設定方法」

データを受信するインターフェイスの設定が合っていますか？

プリンタ設定値の I/F 選択は［自動］または接続しているインターフェイスの値に設定してください。

本書 121 ページ「操作パネルからの設定」

用紙やリボンや保護材などが詰まっていませんか？

［電源］スイッチをオフにし、プリンタカバーを開けて取り除いてください。

プリンタがハングアップ（異常な状態で停止）していませんか？

一旦［電源］スイッチをオフにしてからしばらく待ち、再度［電源］スイッチをオンにしてください。

エラーが発生していないか確認しましょう（コンピュータ側）

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先が合っていますか？

プリンタドライバの［接続ポート］の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

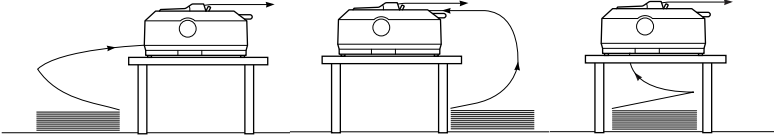
本書 55 ページ「プリンタ接続先の変更」

プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。印刷を開始するためには［一時停止］のチェック（✓）を解除するか［再開］を選択してください。

本書 29 ページ「印刷の中止方法」

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生していませんか？

以下の項目を確認してください。

- ［プリンタ］フォルダからプリンタドライバを開き、［詳細］タブの［印刷先のポート］が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- ［プリンタ］フォルダからプリンタドライバを開き、［詳細］タブの［スプールの設定］で［プリンタに直接印刷データを送る］の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- 本製品は ECP モードに対応しておりません。お使いのコンピュータがECP モードになっている場合は、BIOS 設定をノーマルまたはスタンダードモードに変更してください。BIOS 設定についての詳細は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません」「用紙がありません」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているか、用紙が正しくセットされているかを確認してください。インターフェイスケーブルについては、以下のページを参照してください。

本書 129 ページ「インターフェイスケーブル」

紙送りがうまくいかない

仕様に合った用紙を使用していますか？

用紙の厚さ、枚数や紙質など仕様に合った用紙を使用してください。
使用可能な用紙については以下のページを参照してください。

本書 65 ページ「使用可能な用紙」
本書 190 ページ「プリンタの仕様」

連続紙の置き場所に問題はありませんか？

連続紙が引っかからないように、連続紙の置き場所は、プリンタから 1m 以内の場所でプリンタに対してまっすぐ給紙される位置に置いてください。
連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

エッジガイドの間隔は適切ですか？

単票紙がスムーズに給紙できるよう、エッジガイドの間隔を調整してください。
エッジガイドの間隔が狭すぎると用紙が詰まることがあります。逆に広すぎると用紙が傾いて給紙されることがあります。

手差し給紙で、単票紙はしっかりと差し込まれていますか？

手差し給紙するときは、用紙ガイドに用紙をセットし、用紙の端部中央を指で押すように差し込んでください。

本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」

連続紙がトラクタから外れていませんか？

連続紙をトラクタに正しくセットし直してください。

本書 97 ページ「トラクタユニットへの連続紙のセット」

連続紙が傾いた状態でトラクタにセットされていませんか？

連続紙の両端の穴が左右ずれた状態でトラクタにセットされていると正常な紙送りが行えません。
左右のスプロケットのゴムピンの位置を揃えてからセットしてください。

連続紙をセットする際のスプロケットの間隔は適当ですか？

連続紙がたるんだり、強く張りすぎたりしないように左右のスプロケットの位置を調整してください。

☞ 本書 78 ページ「連続紙のセットと排紙」

アジャストレバーは適正な位置に設定されていますか？

アジャストレバーの設定が適正でないと、紙詰まりや斜めに給紙される原因となります。アジャストレバーを適正な位置に設定してください。

☞ 本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」

レリースレバーの設定が合っていますか？

レリースレバーの設定を確認してください。給紙する用紙に合わせて正しく設定してください。

☞ 本書 77 ページ「給紙経路の設定方法」

排紙が正常にできない

［改行 / 改ページ］スイッチを使用して排紙していませんか？

単票紙を排紙する場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを使用してください。

印刷が終わると急に紙送りされませんか？

自動ティアオフ機能が設定されています。設定を解除する場合は、操作パネルでプリンタ設定を変更してください。

本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」

ミシン目スキップ（25.4mm{1 インチ} 幅の空白行）が実際のミシン目とズレていませんか？

以下の 3 点を確認してください。

- プリンタ設定の［連続紙ページ長］をお使いの用紙サイズと合わせてください。
  本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」
- ソフトウェア上の用紙サイズまたはページ長（連続紙）と、実際に使用している用紙サイズまたは用紙の長さを合わせてください。
  本書 200 ページ「コントロールコード表」
- 給紙位置を調整してください。
  本書 104 ページ「用紙位置の微調整」

連続紙が排紙されずに給紙位置に残っていませんか？

排紙する前に印刷が終了している連続紙をミシン目で切り離してください。

ラベル紙が詰まったり引っかかったりしませんか？

ラベル紙を［給紙 / 排紙］スイッチで排紙（逆送り）すると、プリンタ内部にラベルが貼り付くことがあります。

印刷後のラベル紙を取り出すときは、［改行 / 改ページ］スイッチで排紙してください。

ラベル紙からほかの用紙に切り替えるときは、トラクタ側のミシン目で切り離し、ラベル紙を取り除いてください。再度ラベル紙を使用するときは、ラベル紙をセットし直してください。

プリンタ内部にラベル紙が貼り付いて正常に印刷できない場合は、無理に取り除かずに保守契約店（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては以下のページを参照してください。

本書 221 ページ「保守サービスのご案内」

印刷結果が画面表示と異なる

印刷される文字が画面表示と異なる

本書でご案内しているインターフェイスケーブルを使用していますか？

本書でご案内している推奨ケーブル以外のケーブルを接続に使用すると正常に印刷できない場合があります。

☞ 本書 129 ページ「インターフェイスケーブル」

文字が化けたり、記号がカタカナで印刷されていませんか？

文字コード表の選択が合っていますか？プリンタ設定の［文字コード表］の設定を確認してください。

☞ 本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」

ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC tn）により、文字コード表を選択してください。

☞ 本書 200 ページ「コントロールコード表」

特定の文字や記号が違う文字や記号に化けませんか？

国際文字の選択が間違っています。ソフトウェア側からコントロールコードを送るときは、コード（ESC Rn）により使用する国の文字に変更してください。

文字が混入したり、まったく違う文字記号に化けていませんか？

- PC-98 系コンピュータを使用しているときは、プリンタ設定の［ESC/P スーパー］を［オン］に設定してください。ソフトウェア上のプリンタ設定がエプソンプリンタのとき、または海外版ソフトウェアを使用しているときは、［ESC/P スーパー］を［オフ］に設定してください。
  ☞ 本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」
- コンピュータ側のパラレルインターフェイスの設定が［ECP モード］になっている場合は［ノーマルモード］または［スタンダードモード］に変更してください。設定変更の方法については、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

画面の表示が旧 JIS 漢字で表示されていませんか？

本製品で印刷する漢字は JIS X0208-1990 に準拠しています。旧 JIS との違いについては、以下のページを参照してください。

☞ 本書 213 ページ「旧 JIS（JIS C6226-1978）との違いについて」

EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用していますか？

端末エミュレータソフトウェアや自作ソフトウェアなど、Windows 環境でもプリンタドライバを経由しない特殊なソフトウェアからの印刷時に、EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用していると正常に印刷できない場合があります。このようなときは EPSON プリンタウィンドウ !3 をアンインストールしてから印刷を行ってください。またプリンタ設定値の「パケット通信」を［オフ］に設定してください。

印刷位置（結果）が画面表示と異なる

空白行が入ったり、改ページが正しく行われずに印刷されていませんか？

- プリンタドライバから用紙サイズを設定している場合は、正しい用紙サイズを選択してください。
  本書 18 ページ「プリンタドライバの設定項目」
- アプリケーションソフトやプリンタで設定しているページ長または用紙サイズと実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズが異なっています。
  アプリケーションソフトやプリンタの設定を実際に使用している用紙の長さまたは用紙サイズと合わせてください。
  連続紙のページ長は、プリンタ設定の［連続紙ページ長］で設定してください。
  本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」
- プリンタ設定の［ミシン目スキップ］が［オン］に設定されています。プリンタ設定の［ミシン目スキップ］を［オフ］に設定してください。
  本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」

Windows 環境の場合

- プリンタドライバで設定されている用紙サイズと使用している用紙のサイズを合わせてください。この際、用紙長が一致するサイズを選択してください。
  例えば、用紙幅 7 インチ、用紙長 4.5 インチの連続紙の場合は、用紙サイズの「10 x 4 1/2inch 連続紙」を選択します。
- 用紙の横方向のサイズに関係なく「10 x XXinch 連続紙」を選択し、右マージンはアプリケーションソフトの設定で行ってください。

行間隔が違っていませんか？

- 改行量の設定が不適切な場合は、行間隔が広くなったり狭くなったりします。アプリケーションソフトの改行量を正しく設定してください。
- すべての行間に空白行が追加される場合は、プリンタ設定の［自動改行］が［オン］に設定されている可能性があります。
  ソフトウェアから改行命令が送られるときは、自動改行する必要はありません。プリンタ設定の［自動改行］を［オフ］に設定してください。
  本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」

印刷データが残った状態で用紙を足してから印刷を再開していませんか？

連続紙の最終行は印字できない領域のため、最終行の印字データは次ページへ繰り越されます。このときに用紙を継ぎ足して印刷を再開すると、繰り越された行の分だけ印字位置が下がって印刷されてしまいます。コンピュータのプリントキューから印字データを削除した後、プリンタをリセットしてから印刷実行の操作をやり直してください。

エッジガイドの位置がガイドマークに合っていますか？

用紙ガイドまたはカットシートフィーダのエッジガイド位置は、単票紙の左マージン（余白）に影響します。
エッジガイド（右）をガイドマークに合わせてください。もう一方のエッジガイドは用紙の幅に合わせてください。
本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」
本書 143 ページ「カットシートフィーダの使い方」

連続紙の使用時、スプロケットの位置を確認してください。

連続紙の使用時、スプロケット（左）の位置は、左マージン（余白）に影響します。
スプロケットの位置を調整して印刷してください。
本書 78 ページ「連続紙のセットと排紙」

改行されずに重なって印刷されていませんか？

改行命令がコンピュータから送られていません。プリンタ設定の［自動改行］を［オン］に設定してください。
本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」

ミシン目付近に印刷されていませんか？

連続紙の実際のページ長とプリンタ設定の［連続紙ページ長］が異なっています。
アプリケーションソフトやプリンタ設定を実際に使用している用紙の長さと合わせてください。
本書 119 ページ「プリンタ設定の方法」

罫線がずれる

プリンタ設定値の印字方向が双方向に設定されていませんか？

プリンタ設定値の印字方向を［単方向］に設定してください。

本書 122 ページ「操作パネルからの設定」

罫線が切れたり、印刷がずれたりしていませんか？

アプリケーションソフトのプリンタ設定に問題があります。以下の内容を順番に確認してください。

① アプリケーションソフト上の用紙設定を、プリンタで使用する用紙と合わせてください。

② プリンタにカットシートフィーダを取り付けているときは、アプリケーションソフト上でカットシートフィーダが使用できるかどうか確認してください。
カットシートフィーダが使用可能なときは、ソフトウェア上でカットシートフィーダを使用する設定にしてください。
カットシートフィーダの記載がないときまたはプリンタ設定でPC-PR系のプリンタ(PC-PR201H など）を選択したときは、プリンタからカットシートフィーダを取り外してください。

変更したパネル設定値は有効になっていますか？

プリンタの設定値を印刷して現在の設定状態を確認してください。

本書 124 ページ「設定値の変更の方法」

設定と異なる印刷をする

パネル設定、プリンタドライバ、アプリケーションソフトから異なった条件で設定されていませんか？

印刷条件の設定は、パネル設定、プリンタドライバ、アプリケーションソフトそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、お使いの状況により異なりますので、設定と違う印刷を行う場合は、各設定を確認してください。
例えば、書体の選択をした場合、プリンタドライバやアプリケーションソフトによる書体の選択が優先され、パネル設定は無視されます。

印刷開始位置がずれる

プリンタの電源がオンのとき、用紙を引き抜いていませんか？

プリンタの電源がオンのとき用紙を引き抜くと、印刷開始位置がずれたり、用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。印刷後の用紙を排紙する場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 78 ページ「連続紙のセットと排紙」
☞ 本書 108 ページ「単票紙のセットと排紙」

詰まった用紙を取り除く場合は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 153 ページ「用紙が詰まったときは」

Windows 環境でプリンタドライバを経由して印刷していますか？

Windows 環境で本製品のプリンタドライバを経由して印刷している場合は、操作パネルで設定した印刷開始位置は無効になり、アプリケーションソフトでの設定値が適用されます。アプリケーションソフトの上余白設定値を印刷開始位置に合わせて設定してください。

印刷品質がよくない

印刷ムラがある・汚い

横一列にところどころ抜けていませんか?

プリントヘッドのピンが折れています。保守契約店(保守契約されている場合)または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。エプソンの修理窓口については以下のページを参照してください。

☞ 本書 220 ページ「サービス・サポートのご案内」

印字の下の部分が欠けていませんか?

リボンカートリッジが正しく取り付けられていません。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

☞ 本書 131 ページ「リボンカートリッジの交換」

斜めの線が入っていませんか?

リボンがたるんだり、ねじれたりしています。印刷を中止して、リボンカートリッジを取り付け直してください。

☞ 本書 131 ページ「リボンカートリッジの交換」

印刷が薄い

印刷が薄くなっていませんか?

- リボンのインクが薄くなっています。
  印刷を中止して、新しいリボンカートリッジと交換してください。
  ☞ 本書 131 ページ「リボンカートリッジの交換」
- アジャストレバーの設定が適切ではありません。
  アジャストレバーを紙厚に適した設定にしてください。
  ☞ 本書 75 ページ「アジャストレバーの設定」
- プリンタドライバの[印刷品質]の設定が[ドラフト]になっていませんか?
  [正式文書]に設定してください。
  ☞ 本書 23 ページ「グラフィックス、印刷品質の設定」
- DOS 環境下で高速印字が設定されています。
  操作パネルの[高速印字]スイッチを押して、高速印字の設定を解除してください。
  ☞ スタートアップガイド(紙マニュアル)「操作パネル」

プリンタドライバの使い方が分からない

用紙サイズの設定の仕方が分からない

プリンタドライバの用紙設定を確認してください。

定形紙	用紙サイズの一覧からクリックして選択します。一覧にない定形紙の場合は、ユーザー定義サイズで設定する必要があります。
定形外	ユーザー定義サイズで設定してください（連続紙は設定できません）。

本書 26 ページ「用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）の登録方法」

連続紙の場合は、以下の手順に従って設定してください。

① 用紙の横と縦（ミシン目とミシン目の間）のサイズを計ります。
② プリンタドライバ上では、inch　単位でサイズが表示されるため、計ったサイズを inch 単位に置き換えます（1inch は、約 25.4mm です。ここでは、仮に横 10 ×縦 4.5inch の用紙とします）。
③ プリンタドライバの [用紙サイズ] の一覧から、10 × 4.5inch に合うサイズを選択します（プリンタドライバ上では、4.5inch を 4 1/2inch と分数で表現しています）。

インストールの仕方が分からない

本製品に同梱のプリンタドライバをお使いください。

本製品に同梱のプリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM に Windows 用プリンタドライバが収録されています。以下のページを参照して、正しくインストールしてください。

本書 8 ページ「Windows でのセットアップ」

プリンタドライバの入手方法、ダウンロード方法

エプソンディスクサービスまたはエプソン販売のホームページをご利用ください。入手方法、ダウンロード方法について詳しくは、以下のページを参照してください。

本書 224 ページ「最新のプリンタドライバ入手方法」

プッシュ / プルトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない

Windows NT4.0/2000/XP/Vista でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP/Vista の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本製品のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 でのトラブル

本製品に同梱のプリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM に収録されている Readme ファイルに、EPSON プリンタウィンドウ !3 についての注意事項や制限事項などが記載されています。必ずお読みください。

通信エラーが発生する

プリンタの電源が入っていますか？

コンセントに電源プラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの［電源］スイッチをオンにします。

プリンタでエラーが発生していませんか？

操作パネルの印刷可ランプが点灯していることを確認してください。印刷可ランプが点灯していないときは、［印刷可］スイッチを押してください。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。

また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し替えてご確認ください）。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本製品の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認してください。

本書 129 ページ「インターフェイスケーブル」

Windows 共有プリンタ（ピアトゥピア接続）を使用していませんか？

Windows 共有プリンタが監視できない場合は、以下の設定を確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）のコントロールパネルにある［ネットワーク］アイコンを開き、[Microsoft ネットワーク共有サービス］が設定されていることを確認します。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に、本製品のプリンタドライバがインストールされ、共有プリンタの設定がされていることを確認します。
  本書 37 ページ「プリントサーバの設定（Windows 95/98/Me）」
- EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで、[共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていることを確認します。
  本書 32 ページ「[モニタの設定］ダイアログ」
- プリントサーバ側とクライアント側それぞれ、コントロールパネルにある［ネットワーク］アイコンを開き、[IPX/SPX 互換プロトコル］あるいは［TCP/IP プロトコル］が設定されていることを確認します（Windows 95/98/Me 使用時のみ）。

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？

Windows 95/98/Me の場合

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き［詳細］タブの［スプールの設定］ボタンをクリックします。
［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］にチェックが付いていることを確認します。

Windows NT4.0/2000/XP/Vista の場合

［プリンタと FAX］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、[ポート］タブの［双方向サポートを有効にする］にチェックが付いていることを確認します。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を削除（アンインストール）できない

ほかのアプリケーションソフトが起動していませんか？

ほかのアプリケーションソフトが起動しているとEPSON プリンタウィンドウ !3 は削除（アンインストール）できません。アプリケーションソフトの中には、実際の動作が画面に表示されていなくても起動している場合もありますので、各アプリケーションソフトの取扱説明書に従って終了させてください。

上記以外のトラブルについては、EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM に収録されている Readme ファイルを参照してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 で共有プリンタを監視できない

Windows XP/Vista で、[Windows セキュリティの重要な警告] 画面やファイアーウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする] や [遮断する] を選択しましたか？

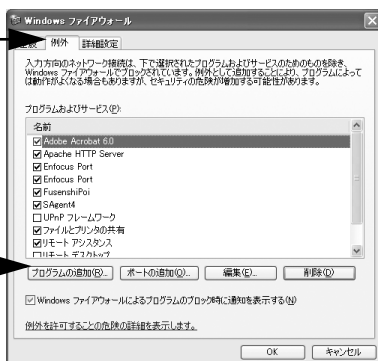
[ブロックする] や [遮断する] を選択すると、共有プリンタとの通信ができなくなるため EPSON プリンタウィンドウ !3 で共有プリンタを監視できません。
通信を可能にするには、Windows ファイアーウォールや市販のセキュリティソフトで例外アプリケーションとして登録してください。

ポイント

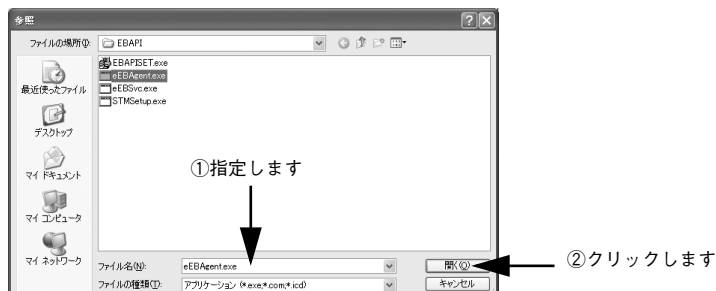
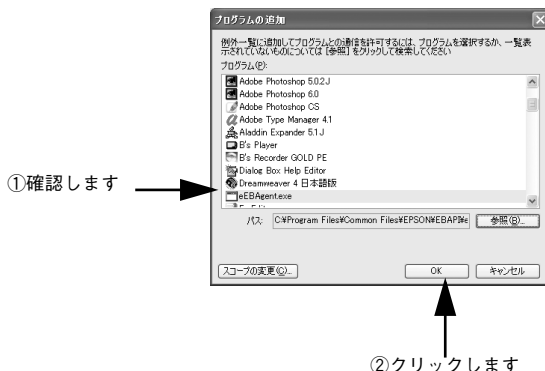
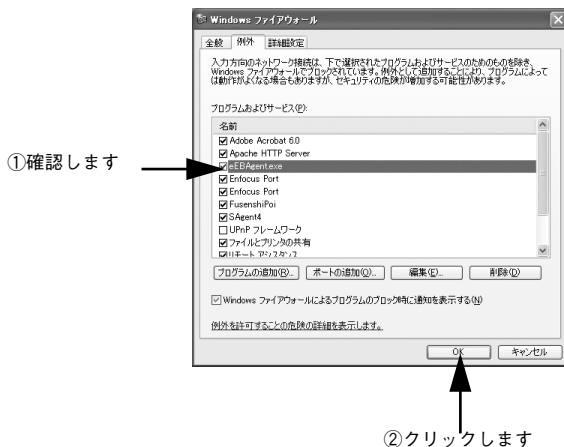
Windows ファイアーウォールに例外登録すると、登録されたプログラムが使用するポートが外部からの通信を受け付けられるようになります。これは、ネットワーク経由の攻撃などセキュリティ上の危険性を高めたポートとなることを意味します。具体的なリスクとしては、コンピュータウィルスの侵入などが考えられます。Windows ファイアーウォールの設定変更につきましては、このようなリスクなどもご確認の上、お客様の責任において実施していただきますようお願いいたします。弊社は、この設定変更によって生じた損害および傷害につきましては一切責任を負いません。

1. **[スタート] - [コントロールパネル] の順にクリックします。**

2. **[Windows ファイアーウォール] / [Windowsファイアーウォールの設定] 画面を開きます。**
   - Windows XP の場合
   ① [セキュリティセンター] をクリックします。
   ② [Windows ファイアーウォール] をクリックします。
   - Windows Vista の場合
   ① [Windows ファイアーウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
   ② [ユーザアカウント制御] 画面が表示されるので [続行] をクリックします。

3. **[例外] タブをクリックして、[プログラムの追加] をクリックします。**

4 ［参照］をクリックします。

5 ［eEBAgent.exe］を設定して［開く］をクリックします。

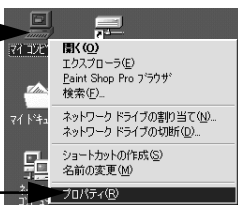
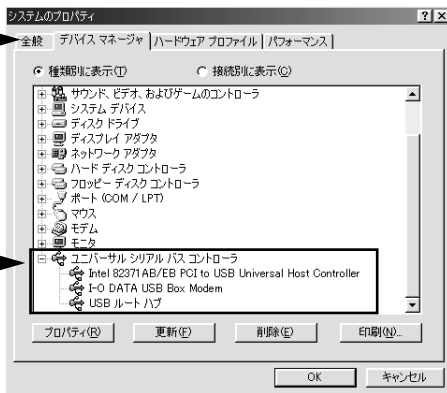
［eEBAgent.exe］は、Windows がインストールされているドライブの以下のフォルダに保存されています。
ドライブ名(Cなど):¥Program Files¥Common Files¥EPSON¥EBAPI¥eEBAgent.exe

6 リストに［eEBAgent.exe］が追加されていることを確認し、［OK］をクリックします。

7 ［プログラムおよびサービス］/［プログラムまたはポート］に［eEBAgent.exe］が追加され、チェックが付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

以上で終了です。

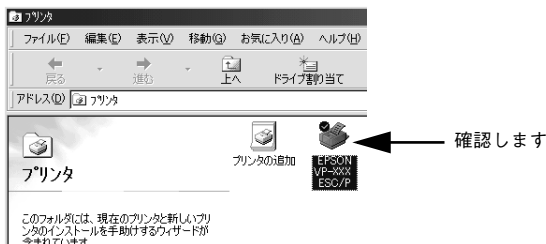
USB インターフェイスケーブル接続時のトラブル

インストールできない（Windows 98/Me/2000/XP/Vista）

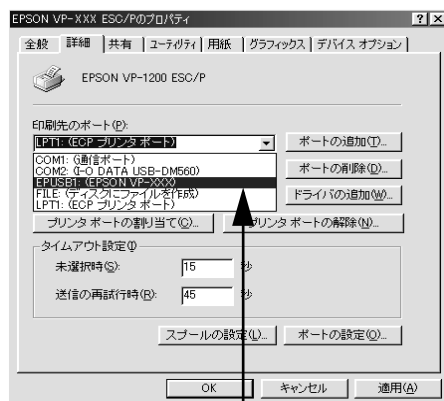
ご利用のコンピュータは、USB 接続するためのシステム条件を備えていますか？
本製品を USB インターフェイスケーブルで接続するためには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- Windows 98/Me/2000/XP/Vista のいずれかがプレインストールされているコンピュータ（購入時、すでにインストールされているコンピュータ）。または、プレインストールされていて Windows Me/2000/XP/Vista にアップグレードしたコンピュータ
- USB に対応していて、コンピュータメーカーによりUSB ポートの動作保証がされているコンピュータ

USB に対応したコンピュータであるか確認するには

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下に USB ホストコントローラと（USB ルートハブ）が表示されていれば USB に対応したコンピュータです。
ご利用のコンピュータが USB を使用できるかどうかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

［プリンタ］/［プリンタと FAX］フォルダに［VP-880 ESC/P］アイコンはありますか？

- ［VP-880 ESC/P］アイコンがある場合
  プリンタドライバはインストールされています。
  次項の［印刷先のポート］を確認します。
- ［VP-880 ESC/P］アイコンがない場合
  プリンタドライバが正常にインストールされていません。
  プリンタドライバをインストールし直してください。
  本書 8 ページ「Windows でのセットアップ」

［印刷先のポート］が［EPUSBx］になっていますか？

プリンタの［電源］スイッチをオンにして、印刷先のポートを確認します。

- ［EPUSBx］の表示がない場合
  USB デバイスドライバが正しくインストールされていません。
  プリンタドライバを削除してインストールし直してください。
  本書 58 ページ「プリンタソフトウェアの削除」
  本書 9 ページ「プリンタソフトウェアのインストール」
- ［EPUSBx］の表示がある場合
  ドライバは正常にインストールされています。
  ［EPUSBx：(EPSON VP-880)］が選択されていることを確認してからテスト印刷を実行して、印刷できるかご確認ください。

オプション関係のトラブル

カットシートフィーダで給排紙が正常にできない

給紙されなかったり、用紙チェックランプが点灯しませんか？

- カットシートフィーダが正しく取り付けられていません。
  カットシートフィーダがプリンタ本体に正しく取り付けられていることを確認してください。特に、プリンタ本体とカットシートフィーダのギアがうまくかみ合っていることを確認してください。
  本書 136 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- カットシートフィーダのエッジガイド間隔が不適切です。
  セットした用紙がなめらかに給紙するようにエッジガイドの間隔を狭すぎず、広すぎずに調整してください。
  本書 136 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- カットシートフィーダからの連続給紙において、最後の1枚が給紙されないことがあります。カットシートフィーダの用紙が少なくなったら、残っている用紙を一旦取り出して、新しい用紙を足してセットし直してください。用紙が残っている状態で新しい用紙をセットすると、同時に複数枚の用紙が送られてしまい、用紙詰まりの原因となることがあります。
- 用紙がブロッキング（くっついている状態）しています。
  セットする前に用紙をよくさばいてください。
- 使い古しの用紙や折り跡、しわのある用紙が使われています。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。

一度に 2 枚以上の用紙が給紙されませんか？

- カットシートフィーダにセットされている用紙の枚数が多すぎます。
  セットされている用紙の枚数を減らしてください。セットできる用紙の枚数は以下のページで確認してください。
  本書 136 ページ「カットシートフィーダの取り付けと使い方」
- 用紙がブロッキング（くっついている状態）しています。
  セットする前に用紙をよくさばいてください。
- 使い古しの用紙や折り跡、しわのある用紙が使われています。
  仕様に合った新しい用紙をお使いください。

レリースレバーが単票紙（ ）位置になっていますか？

- カットシートフィーダから給紙する時は、レリースレバーを単票紙（ ）位置に設定してください。
- レリースレバーが単票紙（ ）になっているにもかかわらず、連続紙が給紙されてしまったときは、連続紙が完全に後方へ排紙されていなかったことが考えられます。レリースレバーを切り替える前に、［給紙 / 排紙］スイッチを押して、連続紙をトラクタの位置まで完全に戻してからレリースレバーを切り替えてください。

プルトラクタユニットを使用して紙送りがうまくできない

プッシュトラクタ（後）とプルトラクタユニットの間で連続紙がたるんでいませんか？

連続紙のたるみを取り除いてから給紙してください。

プッシュ / プルトラクタ、カットシートフィーダから給紙しない

Windows NT4.0/2000/XP/Vista でプッシュトラクタまたはカットシートフィーダから給紙していませんか。

Windows NT4.0/2000/XP/Vista の給紙装置を［自動選択］に設定して、プッシュトラクタまたはカットシートフィーダを使用する場合は、［デバイスの設定］ダイアログでそれぞれの給紙方法に対して使用する用紙サイズを設定しないと給紙できません。［デバイスの設定］ダイアログは［プリンタ］（または［プリンタと FAX］）フォルダで本製品のアイコンを右クリックし［プロパティ］を選択して表示させます。

その他のトラブル

印刷中に印刷速度が遅くなった、途中で止まった

- 印刷中に［印刷可］ランプが点滅して印刷速度が遅くなったり、印刷が停止した場合は、ヘッドホット状態（プリントヘッドの温度が許容範囲を超えた高温になったために自動的に印刷が中断された状態）になっている可能性があります。プリントヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開しますので、しばらくそのままでお待ちください。
- 低温環境下でプリンタを動作させると、コールドモード（プリントヘッドの温度が許容範囲以下になっているために、自動的に印刷速度を低速にしている状態）になる可能性があります。プリントヘッドの温度が上がると、自動的に通常の印刷速度に戻りますので、しばらくそのままで印刷を継続してください。
  また、複写枚数の多い用紙や厚い紙などに印字する場合、印刷品質を確保するために印刷速度を落として動作することがあります。故障ではありませんので、安心してお使いください。

漏洩電流について

多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。このようなときには、本製品または本製品を接続しているコンピュータなどからアース（接地）を取ることをお勧めします。本製品からアースを取る場合には、エプソンの修理窓口までお問い合わせください。

どうしても解決しないときは

「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。
→動作確認実行

本製品は、プリンタの機能が正常に動作しているかを確認するための印字パターンをプリンタ内部に持っています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷機能に問題がないかを確認できます。

1. **［電源］スイッチをオフにし、インターフェイスケーブルを外します。**

2. **［改行 / 改ページ］または［給紙 / 排紙］どちらかのスイッチを押したまま、［電源］スイッチをオンにします。**

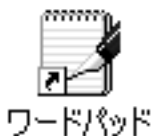
3. **単票紙をセットします。**

   自動的に用紙を給紙し、動作確認を開始します。印刷しないときは［電源］スイッチをオフにして 2 からやり直してください。

   正常に印刷できない場合
   保守契約（保守契約されている場合）または販売店またはエプソンの修理窓口へご相談ください。保守サービスについては、以下のページを参照してください。
   本書 221 ページ「保守サービスのご案内」

   正常に印刷できる場合
   プリンタは故障していません。続いて、プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。判断のしかたは、次のページを参照してください。

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows（3.1/NT3.51を除く）標準添付のワードパッドで簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

ワードパッドを起動した後、数文字入力してからファイルメニューの［印刷］を実行します。

正常に印刷できない場合

プリンタドライバのインストール・設定・バージョンなどに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。

正常に印刷できる場合

- プリンタドライバをバージョンアップすることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。
- お使いのアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合わせ先へご相談ください。

それでもトラブルが解決できない場合は、エプソンインフォメーションセンターへご相談ください。インフォメーションセンターの問い合わせ先は、スタートアップガイドの裏表紙にあります。
お問い合わせの際は、お使いの環境（コンピュータの型番、アプリケーションソフトの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称、製造番号をご確認の上、ご連絡ください。

付録

プリンタのお手入れ

プリンタをいつも良好な状態で使用できるように、定期的にプリンタのお手入れをしてください。

- ［電源］スイッチをオフにして、柔らかいブラシでほこりを払います。
- 汚れがひどいときには、水に中性洗剤を少量入れたものを用意します。そこに柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふきとります。最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

⚠警告　プリンタ内部に水気が入らないように、プリンタカバーは閉じてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートすることがあります。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- 固いブラシを使用しないでください。プリンタケースを傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油を注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油の補給が必要な場合には、販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。

プリンタの運搬

本製品を輸送する場合は、プリンタを衝撃から守るために十分注意して梱包してください。

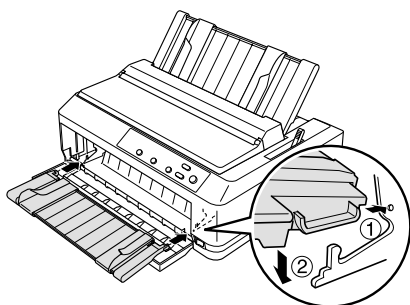
1 ［電源］スイッチをオフにします。

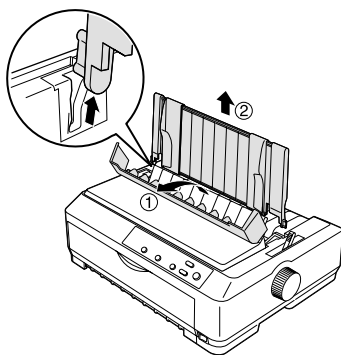
用紙がプリンタ内に残っている場合は、［給紙 / 排紙］スイッチを押して用紙を取り除いておきます。
カットシートフィーダを取り付けてある場合は、取り外します。

2 電源プラグとインターフェイスケーブルを外します。

電源プラグをコンセントから抜きます。インターフェイスケーブルをプリンタから取り外します。

3 用紙ガイド（前）/（後）を取り外します。

＜用紙ガイド（前）＞

用紙ガイド（前）を斜め上に引き抜きます。

＜用紙ガイド（後）＞

排紙ガイドを手前に倒し、用紙ガイド（後）を上に引き上げ、手前にずらして取り外します。

⚠注意	プリンタを使用した後は、プリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

4 プリンタカバーを開けて、リボンカートリッジを取り外します。

☞ 本書 131 ページ「リボンカートリッジの交換」

5 プリントヘッドが移動しないように、テープで固定します。

6 プリンタカバーを閉じます。

7 梱包材を取り付けて、プリンタを水平に梱包箱に入れます。

プリンタの輸送時には、上下を逆にしないでください。

以上で終了です。

プリンタの仕様

基本仕様

- 印字方式　：インパクトドットマトリクス
- ピン数 / ピン配列　：24 ピン /12x2 列
- 印字方向　：双方向最短距離印字（ロジカルシーキング付き）
- 印字桁数 / 印字速度

＜英数カナ文字＞

印字ピッチ	印字桁数（CPL*2）	印字速度（CPS*3）	
		ドラフト	高品位
10CPI*1	80	330	110
12CPI	96	396	132
15CPI	120	495	165
17CPI（10CPI 縮小）	137	559	187
20CPI（12CPI 縮小）	160	658	220

＜漢字＞

印字モード	印字桁数（CPL）	印字ピッチ（CPI）	印字速度（CPS）	
			高速	高品位
漢字全角	53	6.7	146	73
漢字半角	110［106］*4	13.8［13.3］	303［292］	151［146］
1/4 角文字	102［99］	12.8［12.4］	280［272］	140［136］

*1 CPI(Characters per inch) 25.4mm 当たりの文字数
*2 CPL(Characters per line) 1 行当たりの文字数
*3 CPS(Characters per second) 1 秒間当たりの印字文字数
*4 [　] 内は半角文字間スペース補正時

- 紙送り方式　：フリクションフィード（前、後）
  プッシュトラクタフィード（前、後）
  プルトラクタフィード（前、後、底面）
  プッシュ / プルトラクタフィード（前、後）
  カットシートフィーダ（オプション）
- 改行間隔　：初期設定 4.23mm ｛1/6 インチ｝
  （0.07mm{1/360 インチ } 単位に設定可能）
- 改行速度　：45ms/ 行（行間隔 4.23mm ｛1/6 インチ｝）
  0.127MPS（m/sec）＜ 5.0 IPS（inches/sec）＞連続紙送り時
- 入力データバッファ：約 128K バイト

文字仕様

	英数カナ文字	漢字
文字コード	カタカナコード 拡張グラフィックスコード マルチリンガルコード マルチリンガルユーロ イタリックコード	漢字コード （JISX0208-1990 準拠） ＜特殊文字”平成”を追加＞
文字種	英数カナ文字 グラフィック 拡張グラフィック 国際文字	第 1 水準 第 2 水準 特殊文字
書体	EPSON ROMAN EPSON SANS SERIF EPSON OCR-B	明朝 ゴシック

バーコード書体	JAN 準拠、JAN 短縮、Interleaved2of5、UPC-A、UPC-E、Code39、Code128、POSTNET、Code bar（NW-7）

用紙仕様

用紙仕様の詳細な説明は以下のページを参照してください。

☞ 本書 65 ページ「使用可能な用紙」

＜連続紙＞

項目	1 枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	101.6 ～254mm｛4～ 10 インチ｝	
ページ長	101.6 ～558.8mm｛4～ 22 インチ｝	
折り畳み長	101.6 ～558.8mm｛4～ 22 インチ｝	
用紙厚	0.065 ～0.1mm	0.1～ 0.39mm
用紙連量	45～ 70kg （坪量 52～ 82g/m^2）	34 ～50kg＜ 1 枚当たり＞ （坪量 40 ～ 58g/m^2）

* 連量：四方判（788x1091mm^2）の用紙 1000 枚の重量を kg で表したものです。

＜単票紙＞

項目		一般紙	複写紙
品質		上質紙、普通紙、PPC 用紙、再生紙	ノンカーボン紙
用紙幅	用紙ガイド（前）、	100 ～ 257mm｛3.9～ 10.1 インチ｝	
	用紙ガイド（後）	100 ～ 257mm｛3.9 ～ 10.1 インチ｝	―
	カットシートフィーダ A	182 ～ 216mm｛7.2 ～ 8.5 インチ｝	―
	カットシートフィーダ B	100 ～ 216mm｛3.9 ～ 8.5 インチ｝	―
用紙長	用紙ガイド（前 / 後）	100 ～ 364mm｛3.9～ 14.3 インチ｝	
	カットシートフィーダ A	210 ～ 364mm｛8.2 ～ 14.3 インチ｝	―
	カットシートフィーダ B	100 ～ 364mm｛3.9 ～ 14.3 インチ｝	―
用紙厚	用紙ガイド（前 / 後）	0.065 ～ 0.14mm	0.12～ 0.39mm
	カットシートフィーダ A/B	0.07 ～ 0.14mm	―
用紙重量（連量）	用紙ガイド（前 / 後）	45 ～ 78kg（坪量52 ～ 90g/m^2）	34～50kg<1枚当たり>（坪量 40～ 58g/m^2）
	カットシートフィーダ A/B	55 ～ 78kg（坪量64 ～ 90g/m^2）	―

＜複写紙の推奨組み合わせ＞
構成枚数と連量（Kg）は次の表の通りです。

	1P	2P	3P	4P	5P
1 枚目	45 ～ 70	50	50	43	43
2 枚目	―	43	34	34	34
3 枚目	―	―	43	34	34
4 枚目	―	―	―	43	34
5 枚目	―	―	―	―	43

＜ラベル紙＞

項目	詳細
品質	上質紙
台紙用紙幅	101.6 ～ 254mm｛4 ～ 10 インチ｝
台紙ページ長	101.6 ～ 558.8mm｛4 ～22 インチ｝
台紙折り畳み長	101.6 ～ 558.8mm｛4 ～22 インチ｝
用紙厚（台紙を含む）	0.16～ 0.19mm（台紙0.07 ～ 0.09mm）
ラベル連量	55kg（坪量62g/m^2）

＜ハガキ＞

項目		詳細	
品質		上質紙＜郵便ハガキ（通常ハガキ）＞	往復郵便ハガキ
用紙幅	用紙ガイド（前）	100 ～ 148mm｛3.9 ～ 5.8 インチ｝	―
	用紙ガイド（後）、カットシートフィーダ B	100 ～ 148mm｛3.9～ 5.8 インチ｝	
用紙長	用紙ガイド（前）	148mm｛5.8 インチ｝	―
	用紙ガイド（後）、カットシートフィーダ B	100 ～ 200mm｛3.9 ～ 7.8 インチ｝	
用紙厚		0.22mm	
用紙連量		165kg（坪量 192g/m^2）	

電気関係仕様

定格電圧	AC 100V
入力電圧範囲	AC 90～ 110V
定格周波数	50 ～ 60Hz
入力周波数範囲	49.5 ～ 60.5Hz
定格電流	1.1A（最大 2.5A）
消費電力	連続印刷時平均　　　　約 42W（ISO/IEC10561 レターパターン印刷時）

稼働音

稼働音	52dB（A）以下（ISO7779 パターン）

総合仕様

総印字量	4000万行（プリントヘッド寿命を除く）
プリントヘッド寿命	4億ストローク（ピン当たり）
温度	動作時：5～35℃ 15～25℃（再生紙、ハガキ、ラベルに印刷する場合） 保存時：－30～60℃
湿度	動作時：10～80%（非結露） 30～60%（再生紙、ハガキ、ラベルに印刷する場合） 保存時：0～85%（非結露）
一般室温環境	温度15～25℃、湿度30～60%（非結露）
プリンタ本体質量	約7.1kg
プリンタ本体外形寸法	幅437.5mm×奥行き374.8mm×高さ171.5mm
リボン寿命	約500万文字（1文字を48ドット構成とした場合）

環境基本仕様

消費電力	連続印刷時平均	約42 W（ISO/IEC10561レターパターン印刷時）
	低電力モード時	約4.5 W
	電源スイッチオフ時	0 W
省資源機能	Windows 2000/XP/Vistaでは「ページごとの印刷（割り付け印刷）」機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。	
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下をご覧ください。 本書221ページ「保守サービスのご案内」	
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後6年間	
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後6年間	

パラレルインターフェイス仕様

パラレルインターフェイス（フォワードチャネル）

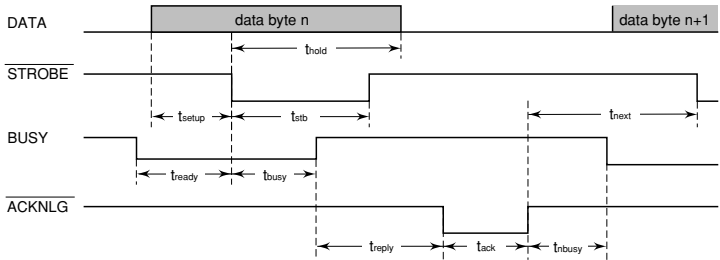
データ転送方式	8ビットパラレル
同期方式	外部供給STROBEパルス信号
ハンドシェイク	ACKNLGおよびBUSY信号
ロジックレベル	TTLレベル（IEEE-1284 Level 1 device）
適合コネクタ	57-30360（アンフェノール）の36ピンプラグまたは同等品（インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	STROBE	センタマシン	データを読み込むためのストローブパルスです。パルス幅は0.5μs以上必要です。定常状態は“HIGH”であり、“LOW”になった後にデータを読み込みます。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1”であり、“LOW”はデータが“0”であることを示します。
10	28	ACKNLG	プリンタ	“LOW”は、プリンタのデータ受け取り準備ができていることを表すパルス信号です。
11	29	BUSY	プリンタ	“HIGH”は、プリンタがデータを受け取れない状態であることを示します。“LOW”はデータを受け取れる状態であることを示します。“HIGH”になるのは次の状態のときです ①データエントリー中 ②エラー状態 ③バッファフル ④イニシャライズ中またはINIT信号が“LOW”の間 ⑤テスト印刷、設定モード中
12	28	PE	プリンタ	“HIGH”は、プリンタに用紙がないことを示します。
13	28	SLCT	プリンタ	常に“HIGH”状態。1.0KΩで+5Vにプルアップされています。
14	30	AUTO FEED XT	センタマシン	使用していません。
15	―	NC	―	使用していません。
16	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
17	―	Chassis	―	プリンタシャーシのグランド
18	―	Logic H	―	常時“HIGH”レベル、3.9kΩで＋5Vにプルアップされています。
19～30	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
31	30	INIT	センタマシン	パルス幅50μs以上の“LOW”パルスの入力ではプリンタは初期状態にセットされます。
32	29	ERROR	プリンタ	“LOW”はプリンタがエラー状態であることを示します。（フェイタルエラー、紙無しエラー、カバーオープンエラー）
33	―	GND	―	ツイストペアリターン用グランド
34	―	NC	―	使用していません。
35	―	＋5	―	常に“HIGH”状態。1.0kΩ、＋5Vにプルアップされています。
36	30	SLCT IN	―	使用していません。

- “LOW”アクティブ信号の場合には、信号名の上に横棒がついています。
- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側についても必ず接続します。
- さらに、このケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのシャーシグランドに接続することでノイズ対策に効果があります。
- インターフェイス条件は、すべてTTLレベルを基準とします。
- プリンタ出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：120nsec以下
- センタマシン出力の立ち上がり / 立ち下がり時間：200nsec以下
- ACKNLGまたはBUSY信号を無視してのデータ転送は行わないでください。（プリンタへのデータ転送は、ACKNLGを確認するか、BUSYが“LOW”状態のときに行ってください）

パラレルインターフェイスタイミングチャート

パラメータ	最小値	最大値
tsetup	500nsec	―
thold	500nsec	―
tstb	500nsec	―
tready	0	―
tbusy	―	500nsec
treply	―	―
tack	500nsec	10μs
tnbusy	0	―
tnext	0	―

パラレルインターフェイス（リバースチャネル）

データ転送方式	IEEE-1284 ニブルモード	
同期方式	IEEE-1284 準拠	
ハンドシェイク	IEEE-1284 準拠	
ロジックレベル	TTL レベル（IEEE-1284 Level 1 device）	
データ転送 タイミング	IEEE-1284 準拠	
拡張要求データ	拡張要求データ値が00Hまたは04Hの場合、要求を受けつける。それぞれの意味は次の通り。 00H：リバースチャネル転送をニブルモードで行うよう要求 04H：リバースチャネル転送のニブルモードを使用してデバイス ID を返すことを要求。	
デバイス ID	IEEE1284.4 が有効の場合 [00H][57H] MFG:EPSON; CMD:ESCP24J,PR201,ESCPSUPER,BDC,D4; MDL:VP-880; CLS:PRINTER; DES:EPSON[SP]VP-880;	IEEE1284.4 が無効の場合 [00H][54H] MFG:EPSON; CMD:ESCP24J,PR201,ESCPSUPER,BDC; MDL:VP-880; CLS:PRINTER; DES:EPSON[SP]VP-880;

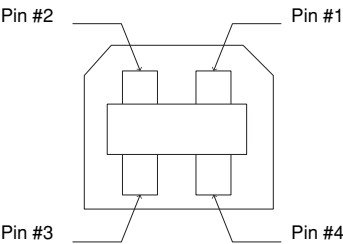
入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	センタマシン	ホスト側のクロック信号。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	センタマシン	各信号はパラレルデータの 1 ビット目から8ビット目までの情報を表します。“HIGH”はデータが“1” であり、“LOW” はデータが“0” であることを示します。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy/ DataBit-3,7	プリンタ	プリンタ側の BUSY 信号およびリバースチャネルでのデータビット 3 またはデータビット 7
12	28	AckDataReq/ DataBit-2,6	プリンタ	Acknowledgeデータ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット 2 またはデータビット 6
13	28	Xflag/ DataBit-1,5	プリンタ	X-flag 信号およびリバースチャネルでのデータビット 1 またはデータビット
14	30	HostBusy	センタマシン	ホスト側の BUSY 信号
15	---	NC	---	使用していません。
16	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
17	---	Chassis	---	プリンタのシャーシのグランド
18	---	Logic H	プリンタ	“HIGH” はプリンタが出力するすべての信号が有効であることを示します。
19～30	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
31	30	INIT	センタマシン	使用していません。
32	29	Data Avail/ DataBit-0,4	プリンタ	Data available 信号およびリバースチャネルでのデータビット 0 またはデータビット 4
33	---	GND	---	ツイストペアリターン用グランド
34	---	NC	---	使用していません。
35	---	+5V	プリンタ	常に “HIGH” 状態。1.0kΩ で +5V にプルアップされています。
36	30	1284-Active	センタマシン	1284 active 信号

USB（Universal Serial Bus）インターフェイス仕様

規格	Universal Serial Bus Specification Revision 1.1 Universal Serial Bus Device Class Definition for Printing Device Version 1.1
転送速度	12Mbps（Full Speed Device）
データフォーマット	NRZI
適合コネクタ	USB Series B
許容ケーブル長	2m

入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号の説明）

ピン番号	ピン名	入力 / 出力	機能
1	VCC	―	ケーブル電源、最大電流 100mA
2	-Data	双方向	データ
3	+Data	双方向	データ、1.5KΩ の抵抗を経由して +3.3V にプルアップ
4	Ground	―	ケーブルグラウンド

初期化

次の 2 通りの方法で初期化（イニシャライズ）されます。ただし、いずれの初期化の場合も、操作パネルで設定した初期設定値になるとともに操作パネルの設定で変更された値は保持されます。

	ハードウェア初期化	ソフトウェア初期化
方法	電源を再投入あるいはプリンタがパラレルインターフェイスからINIT信号を受信	ソフトウェアによりESC@コード（プリンタの初期化）を送る
初期化内容	•プリンタメカニズム •入力データバッファ •ダウンロード文字、外字 •プリントバッファ	•プリントバッファ •デフォルト値の設定

コントロールコード表

本プリンタはEPSON ESC/P™ のESC/P24-J84に準拠したコントロールコードで動作します。以下に使用できるコントロールコードの一覧を示します。各コントロールコードの詳細は、別売の「EPSON ESC/P リファレンスマニュアル」を参照してください。

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
印字・紙送り	印字復帰	CR	
	改行	LF	
	改ページ	FF	
	n/180インチ順方向紙送り	ESC J n	0 ≦n≦ 255 （n/180インチ）
印字領域設定	行単位ページ長設定	ESC C n	1 ≦n≦ 127 （n行）
	インチ単位ページ長設定	ESC C 0 n	1 ≦n≦ 22 （nインチ）
	ミシン目スキップ設定	ESC N n	1 ≦n≦ 127 （n行）
	ミシン目スキップ解除	ESC O	
	右マージン設定	ESC Q n	1 ≦n≦ 255 （n：桁数）
	左マージン設定	ESC l n	0 ≦n≦ 255 （n：桁数）
改行量設定	1/8インチ改行量設定	ESC 0	
	1/6インチ改行量設定	ESC 2	
	n/180インチ改行量設定	ESC 3 n	0 ≦n≦ 255 （n/180インチ）
	n/360インチ改行量設定	ESC + n	0 ≦n≦ 255 （n/360インチ）
タブ設定	水平タブ位置設定	ESC D [n]$_k$ NUL	1 ≦n≦ 255 （n：桁数） 1 ≦ $_k$ ≦ 32 （k：タブ数）
	垂直タブ位置設定	ESC B [n]$_k$ NUL	1 ≦n≦ 255 （n：桁数） 1 ≦ $_k$ ≦ 16 （k：タブ数）
	水平タブ実行	HT	
	垂直タブ実行	VT	
	絶対水平位置指定	ESC ＄ n_1 n_2	0 ≦（n_1 ＋ n_2 ×256）≦右マージン位置 （n_1 ＋ n_2 ×256：ドット数） （n_1：ドット数を256で割った値の余り） （n_2：ドット数を256で割った値の商）
	相対水平位置指定	ESC ￥ n_1 n_2	左マージン位置≦（n_1 ＋ n_2 ×256）≦右マージン位置 （n_1 ＋ n_2 ×256：ドット数） （n_1：ドット数を256で割った値の余り） （n_2：ドット数を256で割った値の商）

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字セット	文字品位選択	ESC x n	n＝0，1
	書体選択	ESC k n	n＝0，1，5
	プロポーショナル文字指定/解除	ESC p n	n＝0，1
	10cpi 指定	ESC P	
	12cpi 指定	ESC M	
	15cpi 指定	ESC g	
	スーパー／サブスクリプト指定	ESC S n	n＝0，1
	スーパー／サブスクリプト解除	ESC T	
	ライン付き文字選択	ESC (- n_1 n_2 m d_1 d_2	n_1＝3 n_2＝0 m＝1 d_1＝1，2，3 （d_1：線位置） 0 ≦ d_2 ≦ 255 （d_2: 線種）
	自動解除付き倍幅拡大指定	SO	
	縮小指定	SI	
	縮小解除	DC2	
	自動解除付き倍幅拡大解除	DC4	
	アンダーライン指定／解除	ESC - n	n＝0，1
	縦倍拡大指定／解除	ESC w n	n＝0，1
	国際文字選択	ESC R n	0 ≦ n ≦ 12 （n: 国際文字の番号）
	文字コード表選択	ESC t n	n＝1，3

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
文字定義	ダウンロード文字定義	ESC＆ 0 n m [a_0 a_1 a_2 p $_1$...p_k]m-n+1	32 ≦ n ≦ m ≦ 127 0 ≦ a_0 ≦ 127 0 ≦ a_1 ≦ 37 − 128 ≦ a_2 ≦ 127 0 ≦ p $_1$...p_k ≦ 255 （m − n ＋ 1：登録文字数） （n：開始コード） （m：終了コード） （a_0：左スペース） （a_1：文字幅） （a_2：右スペース） （p_1...p_k：データ）
	ダウンロード文字セット指定/解除	ESC ％ n	n ＝ 0，1
	文字セットコピー	ESC : 0 n S	n ＝ 0 s ＝ 0
	文字間スペース量設定	ESC SP n	0 ≦ n ≦ 127 （n：ドット数）
	イタリック指定	ESC 4	
	イタリック解除	ESC 5	
	強調指定	ESC E	
	強調解除	ESC F	
	二重印字指定	ESC G	
	二重印字解除	ESC H	
	文字スタイル選択	ESC q n	n ＝ 0，1，2，3
	倍幅拡大指定／解除	ESC W n	n ＝ 0，1
	一括指定	ESC ! n	0 ≦ n ≦ 255 （n：指定または解除の値の和）
漢字文字セット	漢字モード指定	FS ＆	
	漢字モード解除	FS .	
	漢字書体選択	FS k n	n ＝ 0，1
	自動解除付き倍幅拡大指定	FS SO	
	半角文字指定	FS SI	
	半角文字解除	FS DC2	
	自動解除付き倍幅拡大解除	FS DC4	
	1/4 角文字指定	FS r n	n ＝ 0，1
漢字文字定義	外字定義	FS 2 a_1 a_2 $[d]_k$	a_1 ＝ 77_H 21_H ≦ a_2 ≦ $7E_H$ 0 ≦ d ≦ 255 $_k$ ＝72 （a_1,a_2：外字コード） （a_1：第 1 バイト） （a_2：第 2 バイト） （$[d]_k$：データ）

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
漢字ピッチ調整	全角文字スペース量設定	FS S n_1 n_2	0 ≦ n_1 ≦ 127 0 ≦ n_2 ≦ 127 （n_1：左スペース量（n_1/180 インチ）） （n_2：右スペース量（n_2/180 インチ））
	半角文字スペース量設定	FS T n_1 n_2	0 ≦ n_1 ≦ 127 0 ≦ n_2 ≦ 127 （n_1：左スペース量（n_1/180 インチ）） （n_2：右スペース量（n_2/180 インチ））
漢字装飾	漢字縦書き指定	FS J	
	漢字横書き指定	FS K	
	半角縦書き２文字指定	FS D [d]$_k$	$_k$ ＝4
	４倍角指定／解除	FS W n	n＝0，1
	漢字アンダーライン指定／解除	FS - n	n＝0，1，2
	漢字一括指定／解除	FS ! n	0 ≦n≦ 255 （n：指定または解除の値の和）
ビットマップ イメージ選択	ビットイメージ選択	ESC * m n_1 n_2 [d]$_k$	m＝0～4,6,32,33,38～40 0 ≦ n_1 ≦ 255 0 ≦ n_2 ≦ 19 j＝ 1，3 $_k$ ＝(n_1 ＋ n_2 × 256) × j （m：選択するビットイメージ） （n_1 ＋ n_2 × 256：水平方向ドット数） （n_1：水平方向ドット数を256 で割った値の余り） （n_2：水平方向ドット数を256 で割った値の商） （[d]$_k$：データ）
	ビットイメージリピート選択	ESC * m r_1 r_2 n_1 n_2 [d]$_k$	m ＝167 0 ≦ r_1 ≦ 255 0 ≦ r_2 ≦ 19 0 ≦ n_1 ≦ 180 n_2＝ 0 j＝3 k ＝ (n_1 ＋ n_2 × 256) ×j （m：選択するビットイメージ） （r_1＋r_2 × 256：ビットイメージを繰り返す回数） （r_1：回数を 256 で割った値の余り） （r_2：回数を 256 で割った値の商） （n_1 ＋ n_2 × 256：ビットイメージを繰り返す回数） （n_1：回数を 256 で割った値の余り） （n_2：回数を 256 で割った値の商） （[d]$_k$：データ）
初期化	初期化	ESC ＠	
キャリッジ制御	単方向印字指定/ 解除	ESC U n	n＝0，1
	漢字高速印字指定/ 解除	FS x n	n＝0，1
CSF 制御	カットシートフィーダ制御	ESC EM n	n＝ “1” ，“2” ，“R”

	機能	コントロールコード	パラメータの範囲
その他	半角文字スペース量補正	FS U	
	半角文字スペース量補正解除	FS V	
	ページ長設定	ESC (C n_1 n_2 m_1 m_2	$n_1 = 2$ $n_2 = 0$ 0 ＜(m_1 ＋ m_2 × 256) ×基準ユニット≦ 22 インチ
	ページフォーマット設定	ESC (c n_1 n_2 tL tH bL bH	$n_1 = 4$ $n_2 = 0$ 0 ≦ (tL ＋ tH × 256) ×基準ユニット＜ (bL ＋bH× 256) ×基準ユニット≦ 22 インチ
	バーコード印字	ESC (B n_1 n_2 j m s v_1 v_2 c [d]$_k$	0 ≦ n_1 ≦ 255 0 ≦ n_2 ≦ 127 0 ≦ j ≦ 8 2 ≦ m ≦ 5 -3 ≦ s ≦ 3 45 ≦ (v_1 ＋ v_2 ×256) ≦ 3960 0 ≦ c ≦ 255 $_k$=n_1 ＋ n_2 × 256 (n_1 ＋ n_2 × 256：データ数＋ 6) (j：バーコード種) (m：最小モジュール幅) (s：白バー微調整) (v_1 ＋ v_2 × 256：高さ) (c：付加,印字等) ([d]$_k$：データ)

英数カナ文字コード表

カタカナコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	`	p	▁	┴		ー	タ	ミ	═	×
1			!	1	A	Q	a	q	▂	┬	。	ア	チ	ム	╞	円
2		DC2	"	2	B	R	b	r	▃	┤	「	イ	ツ	メ	╪	年
3			#	3	C	S	c	s	▄	├	」	ウ	テ	モ	╡	月
4		DC4	$	4	D	T	d	t	▅	▔	、	エ	ト	ヤ	◢	日
5			%	5	E	U	e	u	▆	─	・	オ	ナ	ユ	◣	時
6			&	6	F	V	f	v	▇	│	ヲ	カ	ニ	ヨ	◥	分
7			’	7	G	W	g	w	█	▕	ァ	キ	ヌ	ラ	◤	秒
8			(	8	H	X	h	x	▏	┌	ィ	ク	ネ	リ	♠	〒
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	▎	┐	ゥ	ケ	ノ	ル	♥	市
A	LF		*	:	J	Z	j	z	▍	└	ェ	コ	ハ	レ	♦	区
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	▌	┘	ォ	サ	ヒ	ロ	♣	町
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	¦	▋	╭	ャ	シ	フ	ワ	●	村
D	CR		−	=	M	]	m	}	▊	╮	ュ	ス	ヘ	ン	○	人
E	SO		.	>	N	^	n	~	▉	╰	ョ	セ	ホ	゛	╱	▒
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	┼	╯	ッ	ソ	マ	゜	╲	

拡張グラフィックスコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL			0	@	P	`	p	Ç	É	á	░	└	╨	α	≡
1			!	1	A	Q	a	q	ü	æ	í	▒	┴	╤	β	±
2		DC2	"	2	B	R	b	r	é	Æ	ó	▓	┬	╥	Γ	≥
3			#	3	C	S	c	s	â	ô	ú	│	├	╙	π	≤
4		DC4	$	4	D	T	d	t	ä	ö	ñ	┤	─	╘	Σ	⌠
5		§	%	5	E	U	e	u	à	ò	Ñ	╡	┼	╒	σ	⌡
6			&	6	F	V	f	v	å	û	ª	╢	╞	╓	µ	÷
7			’	7	G	W	g	w	ç	ù	º	╖	╟	╫	τ	≈
8			(	8	H	X	h	x	ê	ÿ	¿	╕	╚	╪	Φ	°
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	ë	Ö	⌐	╣	╔	┘	θ	∙
A	LF		*	:	J	Z	j	z	è	Ü	¬	║	╩	┌	Ω	·
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	ï	¢	½	╗	╦	█	δ	√
C	FF	FS	,	<	L	\	l	¦	î	£	¼	╝	╠	▄	∞	η
D	CR		−	=	M	]	m	}	ì	¥	¡	╜	═	▌	φ	²
E	SO		.	>	N	^	n	~	Ä	Pt	«	╛	╬	▐	∈	■
F	SI		/	?	O	_	o	DEL	Å	ƒ	»	┐	╧	▀	∩	

国際文字

	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
フランス	#	$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	β
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
デンマーク1	#	$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
イタリア	#	$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
スペイン1	₧	$	@	¡	Ñ	¿	^	`	¨	ñ	}	~
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
デンマーク2	#	$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
スペイン2	#	$	á	¡	Ñ	¿	é	`	í	ñ	ó	ú
ラテンアメリカ	#	$	à	¡	Ñ	¿	é	ü	í	ñ	ó	ú

漢字コード表

この漢字コード表は JIS X0208-1990 に準拠しています。

漢字コード表

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
20																															
21		、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
22	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓												∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
23																０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
24	ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
25	ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
26	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
27	А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
28	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	
2E																															
2F																															
30	亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
31	院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
32	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
33	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
34	粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
35	機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
36	供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
37	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
38	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3A	此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3B	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3C	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3D	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3E	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3F	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
40	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
41	繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
42	臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
43	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
44	帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
45	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
46	董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
47	如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
48	函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
49	鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4A	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4B	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4C	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4D	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4E	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4F	蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
20																																
21	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
22	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃												∠	⊥	⌒	∂
23		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
24	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
25	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
26		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
27	Ю	Я																а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
28	┼																															
29																																
2A																																
2B																																
2C																																
2D	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡									㍻
2E																																
2F																																
30	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
31	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
32	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
33	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
34	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
35	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
36	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
37	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
38	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
39	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
3A	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3B	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3C	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3D	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3E	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3F	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
40	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
41	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
42	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
43	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
44	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
45	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
46	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
47	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
48	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
49	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4A	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4B	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4C	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4D	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4E	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4F	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾	碗	腕												

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
20																															
21	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇
22	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬								Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯
23		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z				
24	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ	ゐ	ゑ	を	ん											
25	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ								
26																															
27	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я													
28																															
29																															
2A																															
2B																															
2C																															
2D	〝	〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿	∵	∩	∪		
2E																															
2F																															
30	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭
31	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応
32	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改
33	樫	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱
34	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄
35	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京
36	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈
37	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲
38	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向
39	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込
3A	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷
3B	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時
3C	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周
3D	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償
3E	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾
3F	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾
40	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線
41	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎
42	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只
43	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵
44	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓
45	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到
46	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入
47	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦
48	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美
49	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服
4A	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋
4B	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満
4C	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒
4D	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃
4E	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯
4F																															

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
50	弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
51	僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
52	辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
53	咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
54	圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
55	奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
56	屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
57	廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
58	悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
59	戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5A	據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5B	曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5C	椦	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5D	檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5E	沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5F	漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
60	燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
61	瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
62	癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
63	磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
64	筐	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
65	紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
66	罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
67	隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
68	茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
69	蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6A	蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6B	襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6C	譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6D	蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6E	遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6F	錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
70	陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
71	顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
72	髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
73	鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
74	堯	槇	遙	瑤	凜	熙																									
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
50	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
51	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
52	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
53	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
54	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
55	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
56	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
57	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
58	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
59	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5A	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5B	杳	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5C	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5D	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5E	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5F	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
60	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
61	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
62	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
63	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
64	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
65	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
66	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
67	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
68	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
69	蘋	藾	蘭	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6A	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6B	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6C	貎	貔	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6D	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6E	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6F	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
70	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
71	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
72	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
73	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																
7F																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
50	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲
51	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨
52	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨
53	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉
54	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩
55	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓
56	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏
57	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚
58	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛
59	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼
5A	昃	昊	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼
5B	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍
5C	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣
5D	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾
5E	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌
5F	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼
60	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱
61	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰
62	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬
63	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐
64	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆
65	縲	縺	繆	繃	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺
66	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋
67	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙
68	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈
69	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙
6A	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞
6B	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫
6C	豬	走	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊
6D	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸
6E	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮
6F	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞
70	鞋	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰
71	驃	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷
72	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈
73	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															
7F																															

旧 JIS（JIS C6226-1978）との違いについて

本製品では、JISX0208-1990 に準拠した漢字コードを搭載しています。
JIS 漢字コードは、改訂によって字形を変更したり、字形を追加したり、または位置を変更したりしているため、使用するコンピュータやソフトウェアによっては画面に表示される字形と印刷される字形が異なる場合があります。ここでは、プリンタに搭載している JIS 漢字コード（新 JIS コード）と、旧 JIS コードの違いについて説明します。

JIS X0208-1990 で追加された字形

（JIS X0208-1983 に追加）

16 進	JIS X0208-1983
7425	凜
7426	熙

JIS X0208-1983 で字形を変更

（旧 JIS（JIS C6226-1978）から字形を変更し、旧 JIS の字形を新たに追加）

変更された字形			追加された旧JISの字形	
16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983
3646	尭	堯	7421	堯
4B6A	槙	槇	7422	槇
4D5A	遥	遙	7423	遙
6076	瑶	瑤	7424	瑤

JIS X0208-1983で第１水準と第２水準を変更した漢字

第１水準			第２水準		
16進	JIS X0208 -1983	旧JIS	16進	JIS X0208 -1983	旧JIS
3033	鯵	鰺	724D	鰺	鯵
3229	鴬	鶯	7274	鶯	鴬
3342	蛎	蠣	695A	蠣	蛎
3349	撹	攪	5978	攪	撹
3376	竃	竈	635E	竈	竃
3443	潅	灌	5E75	灌	潅
3452	諌	諫	6B5D	諫	諌
375B	頚	頸	7074	頸	頚
395C	砿	礦	6268	礦	砿
3C49	蕊	蘂	6922	蘂	蕊
3F59*	靭	靱	7057*	靱	靭
4128	賎	賤	6C4D	賤	賎
445B	壷	壺	5464	壺	壷
4557	砺	礪	626A	礪	砺
456E	梼	檮	5B6D	檮	梼
4573	涛	濤	5E39	濤	涛
4676*	迩	邇	6D6E*	邇	迩
4768	蝿	蠅	6A24	蠅	蝿
4930	桧	檜	5B58	檜	桧
4B79	侭	儘	5056	儘	侭
4C79	薮	藪	692E	藪	薮
4F36	篭	籠	6446	籠	篭

*第１水準と第２水準の位置を変え、字形も変更した文字

JIS X0208-1983で字形を変更した漢字

16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983	旧JIS
3022	唖	啞	3737	祁	祁	3E25	哨	哨
3029	逢	逢	3745	慧	慧	3E33	廠	廠
3032	芦	芦	374E	稽	稽	3E3F	梢	梢
303B	飴	飴	3752	繋	繫	3E55	蒋	蔣
306E	溢	溢	3755	荊	荆	3E5F	醤	醬
3073	鰯	鰯	3764	隙	隙	3E64	鞘	鞘
307C	淫	淫	3771	倦	倦	3F2A	蝕	蝕
312A	迂	迂	3779	嫌	嫌	3F60	逗	逗
3135	欝	欝	377E	捲	捲	3F69	翠	翠
3139	厩	廐	3834	鹸	鹼	4022	摺	摺
313D	噂	噂	3841	諺	諺	4042	逝	逝
3142	餌	餌	392B	巷	巷	4066	蝉	蟬
316B	焔	焔	3937	昂	昻	4071	撰	撰
3228	襖	襖	3942	溝	溝	4072	栓	栓
322A	鴎	鷗	396D	麹	麴	4079	煎	煎
3260	迦	迦	3974	鵠	鵠	407A	煽	煽
327A	恢	恢	3979	甑	甑	4127	詮	詮
327D	拐	拐	3A53	釆	釆	4139	噌	噌
3322	晦	晦	3A63	冴	冴	414C	遡	遡
3335	概	槪	3A67	榊	榊	414F	創	創
3365	喝	喝	3A74	柵	柵	415F	掻	搔
336B	葛	葛	3B27	薩	薩	4169	痩	瘦
3373	鞄	鞄	3B2A	鯖	鯖	423D	遜	遜
337A	噛	嚙	3B2B	捌	捌	424D	騨	驒
3442	澗	澗	3B2C	錆	錆	425C	腿	腿
344D	翰	翰	3B39	珊	珊	4263	黛	黛
3465	翫	翫	3C48	屡	屢	426F	啄	啄
352B	徽	徽	3C57	遮	遮	4275	濯	濯
3540	祇	祇	3C5D	杓	杓	4276	琢	琢
3622	侠	俠	3C5E	灼	灼	427D	蛸	蛸
362A	卿	卿	3D2B	繍	繡	4327	巽	巽
364F	僅	僅	3D36	酋	酋	4329	辿	辿
366D	躯	軀	3D6C	曙	曙	432A	棚	棚
3674	喰	喰	3D6D	渚	渚	432D	鱈	鱈
367B	櫛	櫛	3D72	薯	薯	432E	樽	樽
367D	屑	屑	3D73	藷	藷	433D	箪	簞

16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983	旧JIS	16進	JIS X0208-1983	旧JIS
4370	註	註	4824	箸	箸	4E7B	煉	煉
4375	瀦	瀦	482E	溌	潑	4F21	蓮	蓮
437C	凋	凋	4830	醗	醱	4F31	榔	榔
443D	捗	捗	4854	挽	挽	4F39	蝋	蠟
4448	槌	槌	4862	扉	扉	513D	兔	兔
444A	鎚	鎚	4875	樋	樋	5147	冉	冉
444D	塚	塚	4922	柊	柊	514B	冕	冕
444F	掴	摑	4923	稗	稗	514D	冤	冤
4454	辻	辻	492F	逼	逼	5330	唹	唹
4522	鄭	鄭	4932	媛	媛	533A	唳	唳
4527	擢	擢	4935	謬	謬	535E	嘲	嘲
452E	溺	溺	4940	廟	廟	536B	嚥	嚥
4536	填	塡	494E	瀕	瀕	5444	堋	堋
453F	顛	顚	4951	頻	頻	553D	媾	媾
4548	堵	堵	4A43	蔽	蔽	5563	寃	寃
454B	屠	屠	4A4D	瞥	瞥	5622	屏	屏
4551	菟	菟	4A5A	娩	娩	5824	悗	悗
4552	賭	賭	4A79	庖	庖	5960	捩	捩
4564	塘	塘	4B22	泡	泡	596C	搆	搆
4578	祷	禱	4B29	蓬	蓬	5A39	攅	攢
463E	鴇	鴇	4B4B	頬	頰	5A4D	斃	斃
4642	涜	瀆	4B70	鱒	鱒	5B45	枦	枦
4654	瀞	瀞	4B78	迄	迄	5B4A	枴	枴
4655	噸	噸	4C4D	麺	麵	5B6B	梛	梛
465B	遁	遁	4C59	儲	儲	5B74	梍	梍
465C	頓	頓	4C5F	餅	餠	5E50	湮	湮
4661	那	那	4C62	籾	籾	6026	爨	爨
4666	謎	謎	4C7A	鑓	鑓	605F	珎	珎
4667	灘	灘	4C7C	愈	愈	612B	甄	甄
466A	楢	楢	4C7E	癒	癒	6130	甍	甍
4729	禰	禰	4D32	猷	猷	6131	甕	甕
4739	嚢	囊	4D50	熔	熔	622B	皓	皓
4757	牌	牌	4D54	耀	耀	626F	硼	硼
4767	這	這	4D69	莱	萊	634A	稱	稱
4769	秤	秤	4E4B	遼	遼	6354	穐	穐
476D	剥	剝	4E7A	漣	漣	6439	箙	箙

16進	JIS X0208 -1983	旧JIS	16進	JIS X0208 -1983	旧JIS
6464	粐	粐	7075	頤	頤
646E	粮	粮	722D	鬮	鬮
6539	綛	綛	723C	鮗	鮗
653B	綮	綮	724E	鯵	鰺
6546	綟	綟	7351	麪	麪
6646	翔	翔	737D	龜	龜
6764	舮	舮			
6769	芎	芎			
6772	苒	苒			
6834	蓂	蓂			
683B	葱	葱			
6874	蔗	蔗			
6961	蛛	蛛			
6A27	螂	螂			
6A3D	蟒	蟒			
6A6F	褊	褊			
6B32	覯	覯			
6B66	諞	諞			
6B76	譁	譁			
6C69	跚	跚			
6C74	踉	跟			
6D4E	輓	輓			
6D6C	迪	迪			
6E29	遘	遘			
6E3D	扈	扈			
6E57	釁	釁			
7045	霤	霤			
7051	靠	靠			

PC-98 系コンピュータでお使いになる場合

エプソンPCシリーズおよびNEC PC-98シリーズのコンピュータと接続して使用する場合、次の点に注意してください。

ハードコピー

- BASICプログラム中でのCOPY命令は使用しないでください。
- ハードコピーはNEC PC-PR201Hに比べ、縦方向に約8/9倍になる場合があります。

リスト出力

「漢字が印刷されない」または「英数カナ文字と漢字の比が1：2にならない」ことがあります。

ポイント

MS-DOSのバージョンにより、漢字と英数カナ文字の比率を設定できるものがあります。設定はコンピュータのメモリスイッチで行います。しかし、DISK-BASICでは漢字と英数カナ文字の比を変更することはできません。

PC-PR201H との違い

PC-PR201Hとは、最小分解能と漢字構成ドットが次のように違うため、印刷結果が多少異なる場合があります。

相違点	PC-PR201H
最小分解能（インチ）	1/160
漢字構成ドット（縦×横）	22 × 22

画面ハードコピー、縦罫線、グラフィックなどの縦方向の連続印刷は、PC-PR201Hに比べて約8/9倍になることがあります。しかし、プリンタのページ長には影響はありません。

サービス・サポートのご案内

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

「MyEPSON」

「MyEPSON」とは、EPSON の会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設 *1 してお役に立つ情報をどこよりも早く、また、さまざまなサービスを提供いたします。

*1「MyEPSON」へのユーザー登録には、インターネット接続環境（プロバイダ契約が済んでおり、かつメールアドレスを保有）が必要となります。

例えば、ご登録いただいたお客様にはこのようなサービスを提供しています。

- お客様にピッタリのおすすめ最新情報のお届け
- 愛用の製品をもっと活用していただくためのお手伝い
- お客様の「困った！」に安心＆充実のサポートでお応え
- 会員限定のお得なキャンペーンが盛りだくさん
- 他にもいろいろ便利な情報が満載

すでに「MyEPSON」に登録されているお客様へ
「MyEPSON」登録がお済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いいたします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。

「MyEPSON」への新規登録、「MyEPSON」への機種追加登録は、どちらも同梱の『EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM』から簡単にご登録いただけます。*2

*2 インターネット接続環境をお持ちでない場合には、同梱のお客様情報カード（ハガキ）にてユーザー登録をお願いいたします。ハガキでの登録情報は弊社および関連会社からお客様へのご連絡、ご案内を差し上げる際の資料とさせていただきます。（上記「専用ホームページ」の特典は反映されません。）今回ハガキにてご登録いただき、将来インターネット接続環境を備えられた場合には、インターネット上から再登録していただくことで上記「専用ホームページ」の特典が提供可能となります。

インターネット

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、プリンタドライバも提供されています。

アドレス	http://www.epson.jp

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間および電話番号につきましてはスタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

エプソン製品の使い方、活用の仕方を講習会形式で説明する初心者向けのスクールです。カラリオユーザーには“より楽しく”、ビジネスユーザーには“経費削減”を目的に趣味にも仕事にもエプソン製品を活かしていただけるようにお手伝いします。詳細はエプソンのホームページにてご確認ください。

アドレス	http://www.epson.jp

マニュアルデータのダウンロードサービス

製品に添付されておりますマニュアル（取扱説明書）の PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。マニュアルを紛失してしまったときなどにご活用ください。

アドレス	http://www.epson.jp

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

＊改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

連絡先	スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付日時	午前 9:00 ～午後 5:30 月曜日～金曜日（土日・祝祭日および弊社指定の休日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。
• 修理のつど発生する修理代·部品代* が無償になるため予算化ができ便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。
* 消耗品（リボン、用紙等）は保守対象外となります。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後、そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金 + 修理代）</td></tr>
</table>

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、インターネットを使用して、以下のホームページから入手できます。

アドレス	http://www.epson.jp
サービス名	ダウンロードサービス

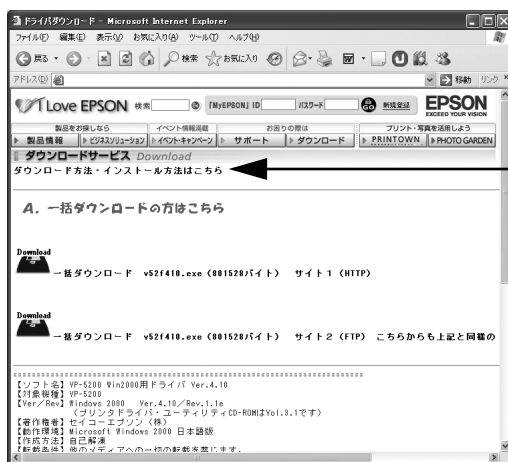
郵送にて CD-ROM をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。「エプソンディスクサービス」について詳しくは、スタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

また、ホームページに掲載されているプリンタドライバは圧縮ファイルとなっていますので、次の手順でファイルをダウンロードし、解凍してからインストールしてください。

1. **ホームページ上のダウンロードサービスから対象機種を選択します。**

ドライバの最新情報については、[Windows 対応情報] を参照してください。

2. **プリンタドライバをハードディスク内の任意のディレクトリへダウンロードし、解凍してからインストールを実行してください。**

手順については、ホームページ上の [ダウンロード方法・インストール方法はこちら] をクリックしてください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソンのホームページへ接続した場合です。

Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバについて

Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバは、本製品に同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM には収録されていません。Windows 3.1/NT3.51 で本製品をお使いになる場合は、「最新のプリンタドライバ入手方法」と同様の方法で Windows 3.1/NT3.51 のプリンタドライバを入手してお使いください。

本書 224 ページ「最新のプリンタドライバ入手方法」

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスで実費にて承っております。エプソンディスクサービスについてはスタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

索引

く

こ

さ

し

せ

そ

た

て

と

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。